

官報號

號外

大正八年二月二十一日 金曜日

印刷局

局

第四十一回 衆議院議事速記録第十五號

帝國議會 大正八年二月二十日(木曜日)午後一時十四分開議

議事日程 第十四號 大正八年二月二十日

午後一時開議 第一 輸出羽二重精練業法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(報告長)

第二 未成年者飲酒取締法案(根本正君外三名提出)

第三 辨理士法案(鈴木富士彌君外一名提出)

第一讀會

第四 司法代書人法案(鈴木富士彌君外一名提出)

第一讀會

第五 水產業統一機關設置ニ關スル建議案(唐端清太郎君外二名提出)

第一讀會

第六 國立榮養研究所設立ニ關スル建議案(河野徹志君外十四名提出)

第一讀會

第七 濃越鐵道速成ニ關スル建議案(西田鉄吉君外四名提出)

第一讀會

第八 日肥鐵道建設ニ關スル建議案(長峰與一君外三名提出)

第一讀會

第九 織物業組合及葉煙草耕作組合ニ交付金下付ニ關スル建議案(小林源藏君外十三名提出)

第一讀會

第十 葉煙草耕作組合ニ交付金下付ニ關スル建議案(高田恵平君外一名提出)

第一讀會

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ガアリマス

(原田書記官朗讀)

一去十八日政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

精神病院法案

一去十五日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

水産業統一機關設置ニ關スル建議案

提出者 唐端清太郎君 佐々木平次郎君

鶴澤 宇八君

國立榮養研究所設立ニ關スル建議案
提出者 河野 徹志君 中村 靜興君

四國海岸循環鐵道建設ニ關スル建議案外二件委員
委員長 林 穀陸君 理事 高島 兵吉君

大林森次郎君 佃 安之丞君

羽越横斷鐵道建設ニ關スル建議案外一件委員
委員長 小林 源藏君 理事 石川 玄三君

金杉英五郎君 八木 逸郎君

水產講習所内ニ淡水科特設ニ關スル建議案委員
委員長 小田 切磐太郎君 理事 古川 清君

我如古樂一郎君 伊東 重君

山根 正次君 紀一君

秋山 金也君 土谷 全次君

齊藤 壽雄君 齊藤 紀一君

土屋清三郎君

中村啓次郎君

木津川治水ニ關スル建議案 提出者 齊藤 珍次君

小田切磐太郎君

長田 桃藏君

一昨十九日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

社會主義取締ニ關スル質問主意書 提出者 鈴木富士彌君

○議長(大岡育造君) 御異議アリマセヌカ

一昨十九日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

○議長(大岡育造君) 御異議アリマセヌカ

高知縣郡部選出議員工學博士白石直治君去十七日死去セリ

○議長(大岡育造君) 御異議アリマセヌカ

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ

一去十五日財政整理ニ關スル臨時調查機關設置ノ建

議案委員古島一雄君辭任ニ付其ノ補闕トシテ鈴木

梅四郎君ヲ、時局ノ影響ニ因ル地方稅制限擴張ニ關

スル法律案委員則元由庸君辭任ニ付其ノ補闕トシ

テ中倉万次郎君ヲ孰レモ議長ニ於テ選定セリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ許可致シマ

ス——豫算委員長齊藤珪次君ヨリ、本會議中ニ委員會ヲ

開會致シタキ旨申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌ

ス、本會議中ニ同委員會ヲ開會致シタキ旨申出ガアリマ

カ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ許可致シマ

ス——朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案委員長一宮房次郎君

ヨリ、本會議中ニ同委員會ヲ開會致シタキ旨申出ガアリマ

ス、許可シテ御異議ナシト呼フ者アリ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ是モ許可致シマ

ス——伊萬里、佐世保間鐵道建設ニ關スル建議案委員

委員長 中倉万次郎君 理事 大内 暢三君

ヨリ、本會議中ニ同委員會ヲ開會致シタキ旨申出ガアリマ

ス、許可シテ御異議ナシト呼フ者アリ

ス——曰程第一、輸出羽二重精練業法中改正法律案第
一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長松井文太郎君

第一 輸出羽二重精練業法中改正法律案政府
提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)(確定議)

(松井文太郎君登壇)

(拍手起ル)

○松井文太郎君 輸出羽二重精練業法中改正法律案
ノ委員會ノ經過並ニ結果ノ御報告ヲ致シマス、本案ハ最
近發達致シマシタ輸出縮緬並ニ輸出壁等ノ絹織物ニ對シ
テ、精練業者ヲ取締ル爲メニ此法律ヲ出シタノデアリマス、
即チ海外需要地ノ信用ヲ高メ、益其輸出額ヲ増大ナラシ
メント云フ趣旨ノ案デゴザイマス、至極簡單ナル案ノヤウデ
ゴザイマスルガ、併ナガラ此法律ノ運用如何ニ依リマシテハ、
斯業ノ發展上重大ナル關係ヲ有シマシテ、或ハ輸出絹織
物ノ最モ多額ヲ占メマスル所ノ從來ノ羽二重ノ精練業法
統一ニ影響ヲ來ス虞ガアリマス爲メニ、委員會ニ於キマシテ
ハ、政府ニ對シマシテ種々質問應答ヲ致シマシタ、其要點ヲ
二三茲ニ御報告ヲ致シマス、我國ノ輸出織物ハ漸次發展
ヲ告ゲマシテ、昨年即チ大正七年度ニ於キマシテ、羽二重ガ
約一億万圓、輸出縮緬並ニ輸出壁等ニ於キマシテ約三
千餘万圓、其他ノ絹織物ヲ合計致シマスト、大正七年度ニ
於キマシテハ、一億五六千万圓ノ輸出ヲ見ルヤウナ盛況ヲ
來シタノデアリマス、是等ノ原因ニ就キマシテハ種々アラウト
存ジマスルガ、是等ノ製品ニ對シマシテ検査ヲ厲行シ、若クハ
精練業法ヲ發布致サレテ精練業者ヲ取締ルト云フガ如ク、
即チ我國ニ於キマスル所ノ海外貿易品ニ對シマシテ、何時
モ粗製濶造若クハ不正ノ行爲ヲ防遏シマシタ所ノ效果ガ、
最モ與テ力アルモノト信ズルノデアリマス、併シ是等ノ精練
業法ヲ發布セラレマシタ當時ニ於キマシテハ、營業者間、即
法杯ヲ發布セラレマシタ當時ニ於キマシテハ、營業者間、即
チ直接ノ利害ヲ持チマス所ノ精練業者並ニ之ヲ委託致シ
マスル所ノ機業者間ニ於キマシテハ、非常ナル反対ヲ唱ヘマ
シテ、政府ガ此法律ヲ實施致サレルニ就キマシテハ、數多ノ
苦心ト努力ヲ費サレタノデアリマス、即チ福井縣ノ如キハ六
箇年、石川縣ノ如キハ十箇年ノ歲月ヲ要シマシテ、漸クニシ
テ所期ノ目的ヲ達シマシテ、羽二重精練業ノ統一ヲ圖ラレ
タノデアリマス、斯様ニ其實施ノ當時ニ於キマシテハ、其等ノ
當業者ガ種々ナル苦情ヲ唱ヘマシテ、反対ヲ致シマシタケレ

ドモ、今日ハ其效果甚大ナリト認メマシテ、却テ當業者ヨリ
是等ノ希望ヲ以テマシテ、最近ニ於テ勃興致シマシタ所ノ
即チ今回政府ガ發案ヲ致サレマシタ所ノ輸出縮緬並ニ輸
出壁等ノ絹織物ニ對シマシテ、検査ノ實施並ニ精練業法
ノ改正ヲ、各生産地ノ同業組合若クハ日本輸出同業組合
聯合會ヨリモ、政府ニ再三申請ヲ致シタノデアリマス、斯ク
申請致シマスト同時ニ、從來ノ羽二重ノ精練業法ニ依クテ、
精練業者即チ製產額ニ伴ハス所ノ多數ノ精練業者ヲ統
一スルト云フコトノ意味ニ於テ、改正ヲ要望シタノデアリマ
ス、而シテ是等ノ輸出縮緬並ニ輸出絹杯ノ織物ニ對シマシ
テハ、昨年ノ七月ヨリ検査ヲ實行致サレマシテ、今復タ茲ニ
此法律ノ改正ヲ見ルコトニナツタノデアリマス、併ナガラ此精
練業法ヲ實施致サレマスニ際シマシテ、單ニ法規ニ規定シ
テアリマス所ノ設備サヘ備ンテ居リサヘスレバ、之ヲ許可スル
ト云フコトニナリマシタナラバ、多年苦心ヲ致シマシタ所ノ、
羽二重ノ精練ノ統一マデモ破壊スル虞ガアルノデアリマス、
即チ輸出縮緬並ニ輸出絹等ノ織物ハ、羽二重ヨリハヨリ
以上ノ高尚ナル織物デアリマスニ依クテ、是等ノ機械ヲ以テ
精練致シマスレバ、自然ニ羽二重ヲモ精練シ得ル設備ニナ
ルノアリマスルニ依クテ、茲三十數年間苦心ヲ致サレマシタ
所ノ、政府ノ苦心ヲ水泡ニ歸スル虞ガアリマス爲メニ、委員
會ニ於キマシテハ、是等ノ法律ヲ實施セラレル上ニ於テモ、
其運用上從來ノ羽二重ノ精練業法ヲ發布サレマシタ當時
ノ主旨ヲ以テ、政府ハ實施致サレルヤ否ヤト云フコトヲ政府
ニ御尋ラシタノデアリマス、政府ハ之ニ答ヘラレマシテ、生產
地ノ狀況ノ如何ニ依クテ取捨按排ヲシテ、依然羽二重ノ精
練業法ヲ實施致シタ當時ノ方針ヲ以テ、之ヲ實施致スノデ
アルト云フコトヲ御答ニナツタノデアリマス、又年額五百万圓
以上ヲ產出致シマスル絹紡ヲ以テ製織致シマス所ノ、即チ
絹紡若クハ柞蠶絲ヲ以テマシテ造リマス所ノ絹紡若クハ
紡績絲ヲ以テ造リマス所ノ富士絹等ニ對シマシテモ、此精
練法ヲ適用スルト云フ意味ニ於テ、修正ノ意見ヲ持タレタ
委員モアッタノデアリマス、政府ハ之ニ對シテ、是等ノ織物ニ
對シテハ其検査ヲ實施シテ目下行ハレツ、アル所ノ不正
手段ヲ防遏スル意志デアルト云フコトヲ御答ニナツタノデア
リマス、又此法律ハ是が發布ノ日ヲ勅令ヲ以テ定メルト云
コトヲ得ス

○岩崎動君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告
ノ通り可決確定セラレントコトヲ希望ニマス
○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセ
スカ
〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告
ノ通り可決確定セラレントコトヲ希望ニマス
○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセ
スカ
〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ、讀會ノ順序ヲ省
略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第二、未
成年者飲酒取締法案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者根本
正君

〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 未成年者ハ酒類ヲ飲用スルコトヲ得ス
未成年者其ノ自用ニ供スル爲酒類及器具ヲ所持ス
ルトキハ行政ノ處分ヲ以テ之ヲ沒收ス

○議長(大岡育造君) 未成年者ハ酒類ヲ供給スル者ハ未成年者ニ酒類
ヲ飲用セシメ又ハ其ノ自用ニ供スルコトヲ知リテ之ヲ
販賣若ハ給與スルコトヲ得ス

○議長(大岡育造君) 第二條 営業上酒類ヲ供給スル者ハ未成年者ニ酒類
ヲ飲用セシメ又ハ其ノ自用ニ供スルコトヲ知リテ之ヲ
販賣若ハ給與スルコトヲ得ス

○議長(大岡育造君) 第三條 前條ニ違反シタル者ハ十圓以下ノ科料ニ處ス
第四條 営業上酒類ヲ供給スル者ハ家族、雇人其ノ他
ノ從業者ニシテ未成年者ニ酒類ヲ飲用セシメ又ハ其
ノ自用ニ供スルコトヲ知リテ之ヲ販賣若ハ給與シタル
トキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルル
コトヲ得ス

○議長(大岡育造君) 第五條 営業上酒類ヲ供給スル者ニシテ未成年者又
ハ禁治產者ナルトキハ本法ニ依リ之ニ適用スヘキ罰
則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年
者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ
在ラス

第六條 法人ノ代表者其ノ他ノ從業者法人ノ業務

ニ關シ 本法ニ違反シタルトキハ其ノ罰則ヲ法人ニ適用ス

法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ
被告人トス

附 則

本法ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔根本正君登壇〕

〔拍手起立〕

○根本正君 未成年者飲酒取締法案ノ理由ヲ申上ダマス、本案ニ就キマシテハ、既ニ諸君ノ御承知ノ事アリマスカラ、極ク簡単ニ述ベマシテ、之ニ關スル参考其他ノ書類ハ、議長ノ御許可ヲ得テ、例ノ通り之ヲ速記録ニ載セテ演説ニ代フルコトニ致シタイト思ヒマス、昨年提出致シマシタ法案ハ僅ニ一箇條デアリマシタガ、本案ハ極ク最初此法案ヲ提出シマシタ時ニ立返テ、尙ホ詳シク取締法ヲ書イタノアリマス、是ハ貴族院ニ於キマシテ、昨年モ委員會ニ於テ否決ニハナリマセヌデ完全ナル法ニ致シタイ、斯ウ云フヤウナ委員會ノ意見アリマシタカラシテ、本案ハ六箇條ニ涉ル所ノ法文ニ致シタノアリマス、是ハ諸君ノ御手許ニ上ダテアリマスカラ、別段一々述ベマセヌ、全體未成年者禁酒法案ナルモノハ、學生徒弟未成年者ヲ保護スル所ノ意味ヲ以テ成立ラタ所ノモノニアリマス、其第一ノ理由トスル所ハ、我ガ帝國ノ教育ノ方針ト云フモノガ明治三十二年一月二十三日ニ帝國議會ニ建議ガ現レマシテ、其建議ハ小學校ノ授業料ヲ全廢セナケレバナラヌ、立憲政治ノ最モ大切ナルモノハ、後來ノ父タリ母タル者ヲシテ、健康ニ且ツ常識アル所ノ國民タラシメナケレバナラスト云フノテ、歐米先進國ニ做ヒマシテ、授業料ヲ全廢シナケレバナラスト云フ建議ガ本院ニ出タノアリマス、其建議ガ二月十五日ニ通過シマシテ、其結果トシテ、即チ單ニ建議ノミナラズ、法律ヲ以テ助法案ガ同月ノ二十三日ニ可決確定サレマシク、ソレ故ニ授業料ト云フモノガ明治三十二年マデハ小學校デ徵收サレマシタケレドモ、其以來地方費トナリ、國庫トナリ、即チ此法案ノ結果、國庫ヨリ二百万圓宛毎年出シタコトアリマス、而シテ何レノ先進國ニ於キマシテモ、小學校授業料——即チ小學校費用ト云フモノ、半分、或ハ七分、八分

ト云フモノハ國庫デ出シテ居ルカラシテ、僅ニ二百万圓充

デハ足ラヌト云フノデ、年々歲々諸君ノ贊成ヲ得テ當議會ニ建議シテ、即チ昨年ヨリ其ニ二百万圓ナルモノガ、一千万圓

二增加シタノアリマス、其他小學校ノ費用ニ付キマシテハ、後トノ殘リノ六千万圓ト云フモノガ地方費ニナッテ居ルノアル、兎毛角モ明治三十一年マデハ、此小學校生徒ノ教育ト云フモノハ、父兄ノ意ニ委シテ、サウシテ授業料ヲ取テ

居ラタコトデアリマスル、授業料ヲ取ル故ニ、貧者ハ學校ヘ送ルコトが出來ズシテ、或金ノ有ル者ノミガ學問ソシ、智識ヲ得、國民タル資格ヲ持ツヤウナコトニナッテ居ラタコトデアル、

ソレデハ宣シクナサイ、ドウシテモ國民教育ト云フ名ノ下ニ、租稅ヲ以テシナケレバナラヌト云フコトデ、諸君ノ御贊成ヲ得テ、三十二年ノ一月二十三日ニ可決シテ、ソレヨリ國費トナリ、或ハ地方費トナタコトデアリマス、斯ノ如ク法律ヲ

以テ學齡兒童ノ教育ト云フモノヲスル以上ニハ、之ニ對スル所ノ取締ガナケレバナラヌト云フノガ、即チ此禁酒法ノ出ル所以アリマス、デ御承知ノ通リ此未成年者喫煙禁止法ト云フモノガ、明治三十三年ニ出マシタ、其理由ヲ以テ

喫煙禁止法ト云フモノガ速ニ通過サレデ、今日ハ法律ニナッテ居ルノアリマス、然ルニ此酒ノ方ニ至ツテハ、如何ナル理

由アリマスルカ、過ル二十箇年ノ間ニ——衆議院ハ明治四十一年ヨリ八回通過サレマシタ、而シテ貴族院ニ於キマ

シテハ、幾度モ否決ノ運命ヲ見ルニ至リマシタケレドモ、昨年ハ即チ貴族院ニ於キマシテ是ハ否決シタンデナリ、十分

ナル即チ完全ナル所ノ法律ヲ提出スルヤウニト言テ、政府

ヘ迫タ譯アリマスル、デスノ如キ理由ヲ以テ、第一ニ此

未成年者飲酒取締法ヲ提出スルコトニナシタノアリマス

ル、第二ニハ御承知ノ通り、此提出ノ理由書ニ書イテアル

通リ、未成年者ハ洵ニ育ツ時ニ於テ酒ヲ飲ミマスルナラバ、

實ニ健康ヲ害シ、心臓ヲ損シ又ハ筋其他發育ヲ惡クシテ、

其青年ハ衰弱セシメラレルト云フノガ一ソアリマス、或ハ

其青年ノ血管ト云フモノハ、若モ酒ヲ飲ムナラバ、酒精ノ作

用ニ依リマシテ、質ヲ變化スル、サウシテ病氣ニナルト云フ

コトガ、完全ニ理學上確メラレタ所アリマス、又第三ニハ

身體ハ衰ヘ、或ハ肺臟ヨリ湧出ル所ノ炭酸ノ量ト云フモノハ減ジ、其他種々ノ害ヲ來ス、第四ニ於キマシテハ、或ハ腎

臓實質ヲ脂肪性ニ變ジ、老廢物ヲ排除スルコト能ハサルヤ

ウニナル、或ハ肝臟ヨリ肥大ナラシメテ、サウシテ青年ノ發育ヲ害スル、其他消食器ヲ惡クスル、或ハ血管ノ運動ヲ縮メ

ルト云フヤウナ種々ナ弊害ガアルノアリマス、故ニ第二ニ

學生ノ健康ヲ害スルノデアリマス、單ニ學生ノミナラズ、徒弟オハ其他勞働ニ關係スル所ノ子弟ト云フモノ、發育ヲ、

大ニ害スルヤウナコトニナル譯アリマス、又倫理道德ノ方ヨリ

酒ト云フコトニ就キマシテハ、最早今日ニ於キマシテハ、此議場ノ討論問題ノ範圍ヲ脫シマシテ、具體的ニ實行法案ヲ出ス

ト云フ譯ニナッタノアリマス、又倫理道德ノ方ヨリ

進ミマシテ、國家ノ政治問題トナツテ、今日ハ大ニ之ヲ考へ

ナケレバナラヌ譯アリマス、アエミ利加ノ法律ハ今ヲ去ルコト三十七年前ニ、未成年者飲酒取締法ト云フモノガ

出来テ居ル、英吉利ニ於キマシテハ十九年前ニ出來テ此法案ノ如キモ、丁度英吉利ニ法律ガ出來ル時分ニ提出サレ

マシタケレドモ、英吉利デハ通過シマシタガ、日本ニ於キマシタケレドモ、殊ニ此學生ノ時代三酒ヲ飲ミマシテ、此害ヲ受ケ

シテハ、今日マデ之ヲ通過スルコトが出來ナイ故ニ、第一健

康ニ害ヲスル、或ハ經濟ノ點ニモ害ヲスルト云フヤウナ譯アリマスル、殊ニ此學生ノ時代三酒ヲ飲ミマシテ、此害ヲ受ケ

シテハ、今日マデ之ヲ通過スルコトが出來ナイ故ニ、第一健

選舉區ノ區民ガ大ニ世界ノ大勢ヲ知ッテ、酒飲議員ヲ當選サセナイ所ノ結果デアラウト思フノアリマス「ノウ」ト呼フ者アリ拍手笑聲起ル是ハ事實デアリマス、若シモ證明シヤウト思フナラバ、證明スルコトガ出來ルノデアル、山口縣ノ兩君ノ如キ、佐々木安五郎君ノ如キ（伊東知也君ノ如キト呼フ者アリ）小河源一君ノ如キハ、寔ニ悲ムベキ哉逝去サレマシタ、其他（幾ラモアルデハナイカ）ト呼フ者アリ伊東君ハ是ハ又特別ナ御方デアリマスカラ、私ハ茲ニ申上ダマセヌケレドモ、諸君、此問題ハ決シテ輕ミシイ問題デ

ハナイノデアリマス、我日本帝國ノ後來益、世界列強ト共ニ大ニ競争シナケレバナラス時節ニ於キマシテ、酒ヲ飲ム所ノ子弟ガアリマシタナラバ、是ヨリ二十年三十年過ギタナラバ、我帝國ノ盛運、或ハ衰運、此盛衰ヲ如何ニトスルコトガ出來ルカト云フコトハ、私ハ爰ニ證據立テルコトガ出來ル、

今日歐洲ノ講和會議ニ於テ、ドウ云フ人ガ牛耳ヲ執テ居ルカト云フト、亞米利加ノ大統領「ウヰルソン」ニアリマセウ、又此世界ノ動亂ヲ起シタ所ノ獨逸ト云フモノハ、ドウ云ア譯カト云フト、麥酒ノ結果デアル、麥酒ノ飲ンダ所ノ、即チ傲慢無禮ノ精神ヲ持テ居ルカラ、獨逸ト云フモノハ亡ビタノデアリマス（拍手起ル）亞米利加ハ何故ニ今日澤山ノ金ガ出來、交通機關ガ備ヘリ、普通教育ノ爲メニ六七億圓ノ金ヲ費スヤウニナッタハ何デアルカト云フナラバ——酒ヲ飲マナイデ、三十七年前ニ未成年者ノ禁酒ガ行ハレマシタカラ、今日ハ五十六年ニナッタガ、即チ國會議員ニモナッテ居ルカラ、亞米利加ノ四十八州ト云フモノガ、三十六州マデ禁酒國ニナッテ居ルノデハナイカ、斯ノ如ク即チ亞米利加ノ國ガ今日金ガアル、或ハ僅カ數月間二百五十万ノ兵ヲ出シ、五百億ノ金ヲ持ヘルト云フヤウナコトハ、何ノ爲メデアルカト云フナラバ、四五十年間禁酒主義ヲ其國ニ擴張シテサコトガ證明ガ出來ルノデアル、是ハ伊東君モ御贊成デアラウト思ヒマス（伊東知也君「贊成デアリマセヌ」ト呼フ）ナケレバマア貴方ハ恐らく貧乏スルカモ知レナイ（伊東知也君「シナイト呼フ」諸君、其趣意ヲ以テ本案ハ決シテ輕ミシク諸君ガ思フ所ノ問題デハアリマセヌ、諸君ノ子孫、日本ノ後來ニ向シテノ盛衰ノ決マル所デアリマシテ、若シモ國民教育ト云フモノガ國庫支辨ニ非ズ、昔ノ通リデアッタナラバ、ドウナラ居リマセウカ、今日ハドウシテモ子供ガ馬鹿ニナッタナラバ諸君ノ御損デアル、諸君ノ御子サンが假リニ無イトモ、教育費

ト云フモノハ出シテ居ルノデアリマス、法律ヲ以テ、此國稅ヲ以テ、或ハ地方費ヲ以テ教育費ヲ出シテ行クナラバ、其子弟ヲ取締シテ、此國民ト云フモノヲ立派ニスルト云フノガ、即チ我日本帝國ノ國是デアルト云フコトハ、私ハ斷言シテ憚ラヌ事ニアリマス（拍手起ル）ドウカ諸君、此問題ハ黨派ニ依ラズ、正義公道ノ問題トシテ、滿場一致ヲ以テ篤ト御審議ノ上、通過アランコトヲ希望シマス

〔拍手起ル〕

未成年者飲酒取締法案理由書

未成年者ノ身體各部ノ組織ハ未タ安全セサルヲ以テ之ヲ成年者ニ比スレハ「アルコール」浸害ヲ受クルコト一層多大ニシテ其ノ最悪フヘキモノハ全國幾萬ノ學生カ飲酒ノ爲其ノ目的タル學業ヲ成ス能ハサルニアリ是レ文明諸國カ幼者ノ飲酒取締ニ關シ特ニ嚴重ナル規定ヲ設クル所以ナリ

英國ニ於テハ一千九百一年八月十七日議會ヲ通過シ其ノ翌年一月一日ヨリ施行セル幼者酒類賣取締法アリ又米國ニ於テハ一千八百八十二年ヨリ一千九百二年三至ル二十年間ニ各州相前後シテ未

成年人者ニ酒類ヲ販賣スルコトヲ禁止スルノ法律ヲ實施シ千八百九十年ヨリ一千九百九年ニ至ル十年間ニ於テ合衆國ノ人民ノ壽命ハ平均ノ年十十分ノーフ仲暢セリトハ米國教育協會ハント氏ヨリ

先年菊池前文部大臣ヘノ通信ニ確報セラレタル所ナリ殊ニ近來米國ニ於テハ倍々酒害ノ國家經濟及國民ノ衛生上ニ及ボス影響ノ甚大ナルヲ憂ヒ全國禁酒法ヲ制定セムトスルノ時ニ當リ我國ニ於テモ大ニ酒害ノ研究ニ勉メサルヘカラス今青年ニ對スル飲

酒ノ害タル大要ヲ擧クレハ左ノ如シ

一 心臓ノ神經又ハ筋肉ヲ刺殺シテ之ヲ衰弱シムルノミナラス其ノ筋質ヲナシテ脂肪ニ變セシメ終ニ其ノ作用ヲ完

全ニ營ムコトヲ能ハサラシム

二 血管ハ酒精ノ作用ニ依リテ變質シ血壓ノ爲ニ往々破裂スルコトアリ彼ノ卒中症ノ如キハ全ク腦血管ノ破裂ニ依ルモノナリ

三 身體衰エ肺臟ヨリ呼出スル炭酸ノ量ヲ減シ炭酸ノ排泄減シスレハ即チ體内ノ酸化作用妨害セラル其ノ結果體溫減シ

四 腎臟實質ヲ脂肪性ニ變シ老廢物ヲ排除スルコト能ハサラシム

第五 肝臟ヲ肥大セシメテ當形ノ二倍ト爲スニ至ルノミナラス

脾臟ヲ肥大セシメテ綠色ト爲シ甚シキハ黑色ト爲スニ至ル

第六 消食器ノ粘膜ヲ害シ血管ノ彈力性ヲ變弱シム

第七 血管運動神經ニ痙攣ヲ起スル以テ血管劇張シ血行活潑ト爲リ諸器官ハ一時興奮シ從テ脳ノ制力ヲシテ錯雜ナラシメ興奮ノ爲諸器官活動激ト爲リシ後尙欲酒ヲ持続スレハ

先ツ小腸侵入爲ニ筋肉ヲ指揮スルノ力減弱シ僅ニ増進シタル體溫忽チ減退シ身體寒冷ト爲ルヘシ

放ニ孰レノ點ヨリ觀察スルモ酒ノ人身ニ有害無益ノ毒物タルヤ明ナリ吾人國民ハ將來ノ良民ト爲ルヘキ未成年者ニ對シテ最愛ナル親權ヲ施行シ之ヲ監督養成スヘキ大責任ヲ負擔スルカ故ニ法律ニ依リ未成年者ノ飲酒ヲ取締ルハ決シテ干済ニ過クルモノニ非サルナリ偶本案實行ノ困難ヲ説ク者アルモ其ノ困難ハ獨り本案ノミニ限ラルヘキニ非ス若之レフ口實トシテ本案ノ廢棄ヲ唱フル者アラハ是レ強竊盜盡キサルノ故ヲ以テ之ヲ自由ニ放任スヘシト說キ其ノ取締ノ全廢ヲ主張スル者ト何ソ擇フ所アラムヤ是レ其ノ制定ヲ必要トスル所以ニシテ茲ニ本案ヲ提出スル所以ナリ

〔參照〕

茲ニ歐米各國ノ法典中ヨリ 幼者ノ飲酒禁止ニ關スル條項ヲ摘載シ以テ參稽ニ資セムトス

○「カリホリニア」州ノ法律

カリホリニア州ハ一千八百九十二年三月十一日ヲ以テ幼者飲酒禁止法ヲ制定セリ

幼者飲酒禁止法

第一條 溝十八年以下ノ幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與シタル者ニ溝十八年以下ノ幼者ヲ來客トシテ出入セシメタル飲酒店料理店等ノ店主ハ失行罪トシテ之ヲ處分シ二百圓以上六百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罰金ヲ賦納シ得サル者ハ地方監獄ニ於テ百日以上ノ禁錮ニ處ス

第二條 此ノ法律ニ抵觸スル法律規則ハ總テ之ヲ廢棄ス

第三條 此ノ法律ハ議定ノ當日ヨリ有效ナルモノトス

○「メリラン」州法律

酒類取締法

第八十九條第二項 溝二十一年以下ノ幼者年齡ヲ僞テ成年者ト稱シ酒類販賣者ヨリ酒類ヲ購求シタルトキハ該幼者ヲ二圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處シ五日以上三十日以下ノ禁錮ニ處ス

同第三項 溝二十一年以下ノ幼者ノ爲メ酒類ヲ購求シタル者ハ四十圓以上一百圓以下ノ罰金ニ處シ三十日以上九十日以下ノ禁錮ニ處ス

○英國幼者酒類賣取締法（明治三十四年八月十七日可決）

英國皇帝陛下ハ貴族院及衆議院ノ協賛ヲ經タル幼年酒類賣取締法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 千八百八十六年ニ發布セラレタル幼者酒類賣取締法ハ之ヲ廢棄ス

第二條 酒類賣取締法免許ヲ有スル者酒類ノ何タルヲ問ハス情ヲ知テ溝十四年以下ノ幼者ニ之ヲ賣賣者ハ交付スルトキ又ハ人ヲシテ該幼者ニ賣賣者ハ交付セシムルトキハ四十志以下ノ罰金ニ處シ再犯以上ハ五磅以下ノ罰金ニ處ス但シ購

買者ノ住宅又ハ執業勞働所ニ於テ賣賣者ハ交付スル場合竝ニ酒類賣賣ノ場所以外ノ地ニ於テ消費セラレムカ爲メ一平（三百五十二匁）以上ノ分量ヲ器物ニ入レ該器物ニ栓ヲ爲シ且封印シテ賣賣者ハ交付スル場合ハ此限ニ在ラス

何人タルヲ問ハス酒類ヲ得ヘキ目的ヲ以テ酒類ヲ販賣セラ
レ若ハ交付セラレ又ハ配賦セラルル場所ニ情ヲ知テ備十四
年以下ノ幼者ヲ使ニ送ルコトヲ禁ス此ノ禁ヲ犯ス者ハ前項
ノ罰金ニ處ス但シ販賣交付又ハ配賦セラルヘキ酒類若ハ前
項ノ如ク器物中ニ封印セラレタル場合ニ此ノ限ニ在ラス
第三條 酒類販賣營業免許法有スル者ハ酒類ノ交付者トシテ
家族、僕婢雇人等ヲ使用スルコトヲ得
第四條 此ノ法ノ下ニ訴訟ノ起リタル場合ニ於テハ此ノ法ハ
英國ニ於テハ一千八百七十二年ヨリ同七十四年マテ施行セラ
レタル酒類免許条例蘇格蘭ニ於テハ一千八百二十八年ヨリ同
九十七年マテ施行セラレタル酒類免許条例愛蘭ニ於テハ一千
八百三十三年ヨリ千九百年マテ施行セラレタル酒類免許條
例ト同一ノモノトシテ解釋セラルヘキモノトス
第五條 此ノ法ニ於テ「栓」ト稱スルハ塞子ノ種類ノ本タルト
其ノ他ノ物體タルヲ問ハス總テ之ヲ栓ト稱スルモノトス
封印ト稱スルハ其ノ物ノ何タルヲ問ハス之ヲ破壞セサレハ
栓ヲ引抜ク能ハサルモノト云フ
第六條 此ノ法ヲ稱シテ一千九百一年ノ幼者酒類買賣取經法ト
云フ

第七條 此ノ法ハ一千九百二年一月一日ヨリ施行ス

英國幼者酒類買賣禁止法案ノ提出

英國衆議院議員「クロムビー」氏ヨリ同院ニ提出セル幼者酒類買

賣禁止法案ハ一千九百一年九月四日ヲ以テ同院ノ議事日程ニ上

リ同三月二十日其第一讀會ハ開カレタリ

是ヨリ先ギ同法案ハ「サト、ジョセフ、リース」氏ヨリ議院ニ提出ス

ヘキ答ニテ氏ハ多年衆議院議員トシテ議場ノ経験三富ミタル老

練家ナルカ故ニ議院内外ノ禁酒主義者ハ深ク氏ニ望ラ嘱シ氏モ

亦法案提出ノ件ニ付大ニ斡旋スル所アリシカ不幸ニシテ病ニ罹

リ到底同案提出ノ如キ重大ナル責任ヲ負擔スヘカラサルモノア

リ依テ氏ハ後援者トシテ「クロムビー」氏ヲ推薦シ同主義者モ亦一

般ニニ同意ヲ表セラフ以テ氏ハ則チ「クロムビー」氏ニ後事ヲ託

シ政界ノ煩悶ヲ避ケ暫ク閑地ニ靜養セリ

「クロムビー」氏ハ新進ノ政治家ナレトモ其ノ技術ノ非凡ナルハ既

ニ世人ノ認識セル所ナレハ氏ハ議院内外ノ輿望ニ依テ愈々繁榮

法案ノ提出者トナリ左記ノ諸氏ハ贊成者トシテ同法案ニ署名セ

リ前國務大臣「アスケス」氏

「ヘンリー、フーラー」氏

「ハーリー」氏

「サー、ウイリアム、ホール」氏

「トリトン」氏

「エードマス」氏

「ドーグラス」氏

「ウイリアム、ジョンストン」氏

「ペール」氏

一千九百一年三月二十日午後零時ヲ以テ禁酒法案ノ第一讀會ハ

開カレタリ此日傍聽席ハ開會前既ニ滿員シ近年稀ナ爾盛況ヲ呈

シタリシカ原案提出者「クロムビー」氏ハ滿堂喝采拍手ノ裡ニ起立

シテ左ノ如ク演説セリ

「クロムビー」氏 潘堂ノ諸君、余ハ原案提出ノ榮譽ヲ得タルコ

トヲ諸君ニ感謝スルト同時ニ豫メ諸君ニ願望スヘキ一事カアル

其レハ外ノ事ナニ元來此ノ原案提出者ノ知名ノ人物ナ

(謙遜タバト呼フ者マリ)提出者カ有名ノ人士テナイカラト云フテ

併テ原案其物ヲ輕く見ラレヌ様様メ希望ス、併テ是ヨリ本法律案

ニ就キ鄙見ヲ開陳セソニ抑々本案ハ三個ノ性格ヲ具備シテ居ル、

則チ第一ニ本案ハ黨派問題ニ非サルコト(拍手喝采)第二ニ本案ハ

時勢ノ必要ニ適合シテ居ルコト第三ニ本案ハ禁酒主義ヲ温和ニ

應用セルモノナルコト、此ノ三個テアルカ温和ナル禁酒主義ニ對

シテ本院中何人モ反対ハアラサルヘシ、否ナ溫和ナル禁酒主義ハ

満堂諸君ノ歡迎セラレル所ナラン(セヤー)回顧スルニ禁酒主

義者ト其ノ反対者ハ近年マテ相共ニ極端ニ走テ水炭相容レス前

者ハ法律ヲ以テ一國ノ酒類ヲ全滅根絶セオト説キ後者ハ酒類ノ

賣買ノコト竝ニ之ヲ飲ムトカ云フ様ナコトハ一切法律

ヲ以テ干涉スヘカラスト論シ雙方共買ニ非常ノ極端主義ヲ固執

シタリシカ爾來世ノ風潮全ク一變シテ復ダスル極端主義ヲ主張

スルコトヲ止メ雙方共ニ中正穩和ノ意見ニ依テ酒類問題ヲ解釋

斯ルニ至レリ余輩ハ國家ノ爲之ヲ祝セサルヲ得ス(セヤー)今

ヤ酒類問題ハ抽象的討論問題ノ範圍ヲ脱シテ具體的實行問題ト

ナリ、倫理道德問題ノ域ヨリ進ミテ國家生存問題トナレリ(喝采

拍手)然リ酒類問題ハ國家ノ生存ニ大關係ヲ有ス實際問題ナ

リ、請フ試三世界進化ノ大勢ヲ見ヨ、列國間ニ於ケル生存競争ハ

年一年ニ激烈ノ度ヲ加フルニアラス、此ノ激烈ナル競爭易程

ニ立テ優勝ノ位置ヲ占ム者ハ必ス心身ノ強健ナル國民ナル

ヘク、劣敗ノ悲境ニ落入ル者ハ體格ノ軟弱ナル人民ナラム是レ

明々白々ナル自然ノ數ニシテ而シテ酒ハ人人ノ體格ヲ軟弱ナラ

シムル諸原因中實ニ其ノ絶大ナルモノニ非スマ(大喝采)果シ

テ然ラハ酒類害毒ノ蔓延ヲ防禦セムカ爲相當ノ取締ヲ爲ス

ハ國家當然ノ義務ナルヘシ(大喝采)夫レ然リ酒類ノ害毒ハ之

ヲ防止セサルヘカラス、但シ現代人民ノ飲酒ニ山テ生スル所ノ

細大ノ弊害ハ嚴重ナル取締ニ依テ一切之ヲ掃蕩シ得ヘキカ

之ハノ疑問テアル、激烈嚴密ノ法律ヲ設テ之ヲ厲行スルトキ

ハ現代國民飲酒ノ弊害ヲ恐ク除却スルコトヲ得ヘキヤ否、之

ハ疑問テアル、而シテ余ハ今茲ニ之カ解説フ試ミサルヘシ、余ハ過

去現在ノ國民ニ就ハ茲ニ喋セサルヘシ、然リト雖將來ハ吾人

ノ眼前ニ在リ今ノ幼者ハ將來ノ國民ナリ、此ノ將來ノ國民ハ今日

ニ比シ數層激甚ナル世界列國生存競爭場裡ニ立タントスル者ナ

ルカ故ニ彼等ノ心身ヲ強健ナラシムルハ彼等ノ父母タル吾人

民ノ一大責任ニ非スマ(喝采)若夫レ本案ノ

セシムルハ當代ノ國民タル吾人ノ一大義務ニ非スマ(喝采)

果シテ然リトセハ吾人ハ酒類害毒ノ幼者ニ傳染スルヲ豫防セサ

ルヘカラス、是レ余輩同志者カ本案ヲ提出シテ諸君ノ贊同ヲ求

所以ナリ(拍手大喝采)而シテ酒類ニ關スル現時ノ狀態ハ如何、彼

ノ飲酒店及酒類販賣店ノ形況ハ如何、余固ヨリ是等ノ營業其ノ

民トシテ國家ヲ貢納スヘキ少年子弟カ是等ノ營業店ニ出入スル

コトニ關シテハ金策絕對の反對セサルヲ得ス(セヤー)精確
ナル統計ニヨレハ是等酒店ニ往來スル者ノ中ニテ少ナカセ其ノ
割四分ハ幼者ニシテ是等ノ幼者ハ其ノ初メハ父兄ノ爲ニ酒
賣フニ過キサルニモセヨ屢々酒店ニ出入スルニ從ヒ幼者自カ
ヲ飲酒ノ惡習ニ感染スルコトナキ保シ難シ、否ナ酒氣ヲ帶ヒ
タル少年ヲハ吾人ハ途上ニ於テ往々目撃スルコトアリ、尤モ從來
ノ法律モ幼者ノ飲酒ヲ禁止セサルニ非ス即チ酒類ノ營業者ハ其
ノ販賣ノ場所ニテ飲用セラレルモノト知リタル以上ハ幼者ニ賣
渡スコトヲ禁止セラレ、酒ニ醉フタル幼者ハ警察官ニ依テ拘留ノ
刑ニ處セラレ去レト、此ノ現行法ハ實地格別ノ效用ヲナサルト
云フ其ノ次第ハ成ルボト、販賣ノ場所ニ於テ幼者ハ飲用スルコト
ヲ得セレトモ其ノ場所以外ノ地ナラハ幼者ハ現行法ノ下ニテ自
由ニ酒ヲ飲ミ得ルナリ、又酒ニ醉フタル少年ハ現行法ニヨリ拘留
ノ處分ヲ受クルト雖之ハ酩酊セラル少年力警察官ニ反抗シテ
ノ命ニ眼セサル等ノ如キ場合ニ限ラレタルニ似タリ故ニ余ハ現
行法ヲ評シテ同法ハ幼者ノ飲酒ヲ制止スヘキ効力ヲ有セサルモ
ノト斷言スルヲ憚ラズ、是レヨリ先キ政府ハ幼者飲酒弊害ノ漸ク
大ナラムトスルヲ見テ即チ調査委員ヲ任命シ少年ニ酒ヲ賣ル
コトニ賛テ生スル所ノ弊害ノ度如何ヲ審査セシメタルニ其ノ審
査ノ結果ハ幼者ニ酒ヲ賣ルコトノ大害アル事實ヲ充分ニ證明セ
リ、但シ二十餘名ノ委員ハ自他ノ間多少見解ヲ異ニシ從テ其ノ調
査報告書モ多數者ノ意見及少數者ノ意見ナリ、二種ニ分レ即チ多
數者ハ酒ヲ幼者ニ賣ル者ト酒賣ヒニ幼者ヲ遣ル父母トヲ併セ
テ罰スヘシト報告シ少數者ハ酒ヲ幼者ニ賣ル者ノミ罰スヘシト
報告セリ、少數者ハ更ニ附記シテ曰ク法律ハ與論ニ適合セサルヘ
カラス而シテ幼者ニ酒ヲ賣ハシタル父母ヲ罰スルハ與論ノ贊
成スル所ニ非ス故ニ酒ヲ賣リタル者ノミ罰スレハ足レリト、去
レハ父母ヲ罰スヘキヤ否ノ件ニ付ナハ多數少數ニ派テ調査委員ハ政府
ノ代表者ニシテ而シテ本案ハ同委員全部ノ意見ニ符合スルハナ
リ且又本案カ本院ニ提出セラレテヨリ以來或ハ個人ノ資格ヲ以
テ或ハ團體ノ資格ヲ以テ本院ニ宛テタル袁詔請願書竝ニ各議員
ニ宛テタル勸告狀ハ其ノ數實ニ幾萬通ナルヲ知ルヘカラス
シテ其ノ大部分ハ本案ノ通過ヲ懇請スル者ニ在ラサルハ無シ亦
以テ本案カ與論ヲ代表セルノ明證ナラム(大喝采)若夫レ本案ノ
各條項ニ至リテハ其ノ字句中多少ノ修正ヲ要スルモノアルヘ
シ本案ノ提出者ハ一字一句ノ修正ヲモ施スヘカラサル議案トシ
テ之ヲ本院ニ提供セラルニハ非ス、即チ幼者ニ酒類ヲ賣ルコトヲ
禁止セムトスルヲ以テ本案ノ目的トナス(セヤー)此ノ目的ヲ
達スルコトヲ得ハ即チ足レリ、仰キ願クハ本案ヲシテ此目的ヲ貫
徹セシメヨ(拍手大喝采)

「クロムビー」氏ノ演説ハ之ニテ終了シ夫レヨリ討論ニ入ル
「ボーザウース」氏(保守黨議員)余ハ本案ヲ贊成ス法案ニ對
シテ熱心ナル同情ヲ表ス

「ゼーモソン」氏 余ハ本案ニ反対ナリ、併シ酒屋ト何カ關係カア
ルカラ反対スルト看做レテハ迷惑ナリ、余ハ飲酒店ニ何等ノ關
係ヲ有セス(此トキ)ジョンストン氏積合ヨリ皮肉ノ質問ヲ試ミ
「火酒醸造所」ニ至關係ナキヤト尋ナタリ之ニハ「ゼーモソン」氏頗
ル閉口シタリト云フ、其ノ譯ハ氏ハ「ダブリン」市ニ於ケル有名ナ
ル火酒醸造所ノ大株主ナレハナリ(余ハ決シテ自カラ爲メニスル
所アツテ反対スル譯アハナイ、本案ハ結構ナ者テアルカモ知ラヌ
カ併シ本案ニ由テ却テ祕密ニ酒ヲ飲ム弊害カ增長シヨウト思ハ
レル

「タリー」氏 余モ亦本案ニ反対ス、尤モ余ハ幼者ノ飲酒スルコト
ヲ大ニ嫌惡スレモ併シ法律ノ力ニ依テ此ノ弊害ヲ制止スルコ
トハ到底出來マイト思フ、是レ余カ本案ニ反対スル所以テアル

「ルーカス」氏 本案ニ反対

「トムキンソン」氏 本案ニ賛成

「フーリー」氏 本案ニ賛成

「ラーショーネシー」氏 本案ニ賛成(同氏ハ愛蘭ヨリ選出セラレ
タル少壯議員ニシテ熱心ナル賛成演説ヲ爲シテ議場ニ非常ノ感
動ヲ與ヘタリ)

「ミードルモーア」氏 斯ル法案ニハ反対セサルヲ得ス、斯ル法案ハ
破壊セサルヘカラズ

「ハルデーン」氏 本案ニ賛成ス而シテ余ハ本案ニ反対スル政府ノ意
向ヲ尋問セムト欲ス

(此トキ政府委員席ニ在リタル内務次官「コリング」氏ハ直ニ起
て左ノ如ク答辯セリ)

「コリング」氏(内務次官) 内務大臣「リッチー」氏カ所勞ノ故ヲ以
テ本日出席セラレサルハ余ノ深ク悲ム所テアル、併シ大臣カ居ラ
サルニモセヨ余ハ大臣ニ代リ責任ヲ以テ答辯スルコト出來ル、
元來政府ハ本案ニ對シテ干渉スルコトヲ欲セス、本案ノ取捨ハ全
く之ヲ議員各自由意思ニ放任スルコトニ政府ハ決定シテ居ル、本
案ニシテ第二讀會ヲ開クコトナラ内務大臣ハ其ノ時意見ヲ
述ヘラルテアロウカ併シ大臣ハ本案ノ幼者年齡十六年ヲ改
メテ滿十四年トナスヘキト豫豫テ申テ居ラレタ、又本案第二條中ニ
「情ヲ知テ」ナル文字ヲ插入スヘシト申シテ居ラレタ、此意見ニハ
余モ同感テアル(コリング)氏ハ斯ク答辯シテ演説ノ局ヲ結ヒタ
リシカ其ノ終局ニ當リテ暗々裡ニ本案ニ對シテ同情ヲ表セザル
カノ如干口調ヲ漏シタリ)

(ハーコート氏(白山薦前内閣内務大臣) 只今内務次官ハ其ノ
答辯ノ結果ニ於テ 酒類問題ニ關シ法律ニ依テ幼者ヲ制裁スルハ
不都合テアルカノ如キ口調ヲ漏サレタルカ併シ若之ヲ不都合ナ
リトスレハ普通教育問題ニ關シ法律ニ依テ幼者ノ就學ヲ制裁ス
ルコトモ亦之ヲ是認ス(キ篤テアル)故ニ余ハ政府カ本案
ニ對シテ出來得ル限り便宜ヲ與ヘ以テ本案ノ成立ヲ贊助セムコ
トヲ希望ス、又余ハ本案ヲ法律調査委員會ニ付託セムコトヲ希望
ス、何トナレハ本案ヲ全民委員會ノ議事付託キハ本案ハ恐ラ
ク破碎スヘケレハナリ)

「パートレー」氏(倫敦市ノ選出議員) 余ハ大ニ本案ニ反対ス、余
ハ本案ノ破滅ヲ熱望ス

「サンドーソン」氏 余ハ本案ニ大賛成ナリ余ノ選出地ナル愛蘭ノ
人民ハ其ノ政派宗派及階級ノ何何タルヲ問ハス國民一般ニ本案
ニ對シテ深厚ナル同情ヲ表シ本案ノ通過ヲ熱望セリ(拍手喝采)

(サンドーソン氏) ノ演説ヲ了リタルハ午後五時過ナリシカ雖
テ原案提出者ナル「クロンビー」氏ヨリ討論終結ノ動議ヲ提出セ
リ)

○討論終結

議長 只今「クロンビー」氏ノ提出セル討論終結ノ動議ニ就キ採決
スヘシ

討論終結ヲ可トスル者
討論終結ヲ非トスル者

三百七十二人 四百〇七人 三十人

○採決

「可」ト云フ者
「否」ト云フ者

五百四人 五百三十二人

議長 次ニ第二讀會ヲ開ク可キヤ否ヤニ付キ採決スヘシ、之ヲ開
クヲ可トスル者ハ則チ「可」ト云ヒ之ヲ開クヲ否トスル者ハ則チ
「否」ト云フヘシ

「否」ト云フ者
五百四人 五百三十二人

依テ本案ハ非常ノ大多数ヲ以テ第二讀會ヲ開クコトニ確定セラ
レタリ

「否」ト云フ者
五百三十二人

是レヨリ先半議長カ第二讀會ヲ「可」トスル者過半數ナリト宣告
スルヤ本案ノ反対者ナル「ゼーモソン」「タリー」諸氏ヨリ異議

ヲ提出シテ「否」トスル者多數ナリト主張シ之レカ爲メ議場ハ一
時混雜ヲ極メタルカ議長カ最後ニ「可」、「否」兩派議員ニ起立ラ
シ衆議院書記官ヲシテ其ノ頭數ヲ精算セシムルニ及ヒ前記ノ如
キ結果ヲ得タルナリ

次ニ「クロンビー」氏ヨリ本案ヲ法律調査委員會付託スヘシトノ
動議ヲ提出シ全院委員會ノ議事付託ノ不可ナル理由ヲ簡明ニ演説シタリシカ時恰モ閉場時刻ニ接近セルヲ以テ當
日ハ之ニテ閉場セラタリ

又右ノ「可」三百七十二人ト「否」五十四人ヲ政黨ニ類別スレハ左
ノ如シ

「トリニダット」(幼者年齡十二年以下罰金五磅以下)

「ターキス、アイラ」(幼者年齡十六年以下罰金二磅以上十磅以下)

「ヴィクトリア」(幼者年齡十六年以下罰金二十磅以上)

「セーチルス」(幼者年齡十五年以下罰金十磅再犯以上八磅)

「クライペック」(幼者年齡十六年以下罰金三十磅)

「ワード島」(罰金二十弗酒類販賣營業六箇月停止再犯ハ

「オントリヨー」(幼者年齡二十一年以下罰金十弗以上五十弗以下)

「クリンス、エド」(未成年者罰金三十弗酒類販賣營業六箇月停止再犯ハ)

「ワード島」(罰金三十弗酒類販賣營業六箇月停止再犯ハ)

「セーチルス」(幼者年齡十五年以下罰金十磅再犯以上八磅)

「タスマニア」(幼者年齡十六年以下罰金十磅以下)

「トリニダット」(幼者年齡十二年以下罰金五磅以下)

「ターキス、アイラ」(幼者年齡十六年以下罰金二十磅以上)

「ヴィクトリア」(幼者年齡十六年以下罰金三十磅以上)

「セーチルス」(幼者年齡十五年以下罰金二十磅以上)

但シ自由黨ノ出席議員中「否」ニ賛成シタル者ハ一人モ無ク、則
チ自由黨員ハ全部賛成ナリト知ルヘシ

又右表中ノ統一黨ハ「チャムバレン」氏「デボンシャイア」公等

未成年者ノ身體各部ノ組織ハ未タ完成セサルヲ以テ之ヲ老者ニ比スレハ「アルコール」ノ侵害ヲ受クルコト一層多大ナリ其ノ最患フヘキモノハ全國都鄙殊萬ノ學生力飲酒ノ爲其ノ目的タル學業ノ成ス能ハサルニアリ是文明諸國カ幼者ノ飲酒取締ニ關シ特ニ嚴重ナル規定ヲ設クル所以ナリ

酒ハ人身ノ機能ヲ損傷シ血液ヲ汚敗シ腦髓ヲ侵害シ神經ヲ麻痺ス

酒ハ疾病貧困犯罪等社會百害ノ最大原因ナリ

酒ハ國家ノ資力ヲ減殺シ國民ノ元氣ヲ消耗セシム酒ノ原質ハ酒精即チ「アルコール」ナリ然ルニ「アルコール」ハ「モルヒネ」又ハ「クロロホルム」等ニ均シキ毒藥ニシテ專門醫家ノ外ハ濫ニ之ヲ使用スヘキモノニアラス

「アルコール」ノ血管ニ入ルヤ血液中ノ酸素ヲ奪取シ水分ヲ減少シ蛋白質ヲ凝固セシメ以テ血液ノ作用ヲ失ハシム

「アルコール」ハ肝臓腎臟心臓等ニ危險ナル脂肪變化ヲ起シ肺臓ヲ侵害ス

「アルコール」ハ神經及腦髓ヲ刺激シ殊ニ知覺感情ノ司府タル後

脳部ハ「アルコール」ノ爲損傷セラルコト最大ナリ

故ニ何等ノ點ヨリ觀察スルモ酒ノ人身ニ有害無益ノ毒物タルヤ

明ナリ或ハ飲酒家人肥満ヲ見テ健康ノ表觀ナリト云フ者アレトモ事實ハ正シク反對ニシテ其ノ肥満ハ即チ不健康ノ證左ナリ蓋シ不淨ナル脂肪ノ繁殖スルハ身體ニ害アリテ益ナケレハナリ或ハ酒ハ體溫ヲ增進スト云フ者アレトモ是亦誤謬ノ見解ナリ酒ヲ飲ムトキハ其ノ刺激ニ由リテ體内ノ溫度外部ニ發出スルヲ以テケレハ馬ハ唯々益疲勞スルノミ

皮膚ノ神經ハ體溫ノ增加ヲ感スト雖其ノ實外部ノ增加ハ内部ノ減少ニ由來スルヲ以テ全體ノ溫度ハ寧ロ幾分カ減退スルモノトス或ハ又酒ハ勇氣ヲ鼓舞シ氣力ヲ振興スト云フ者アレトモ其ノ鼓舞振興タルヤ恰モ鞭ノ馬ニ於ケルカ如ク鞭ヲ加フル愈々激シ

害毒ハ阿片ニ比スレハ數倍甚シキモノアレハナリ之ヲ病憲ニ喰

フレハ阿片ハ「コレラ」「ペスト」如ク酒ハ肺病、微毒ノ如シ肺病一家親子ノ關係ト毫毛異ナルナク即チ吾人國民ハ將來ノ良民トナルヘキ未成年者ニ對シテ嚴重ナル親權ヲ施行シ之ヲ監督運動

歟ト疑惑スル者アレトモ現代ノ老者ト現代ノ未成年者トノ關係ハ一家親子ノ關係ト毫毛異ナルナク即チ吾人國民ハ將來ノ良民

トナルヘキ未成年者ニ對シテ嚴重ナル親權ヲ施行シ之ヲ監督運動成スヘキ大貢任ヲ負擔スルモノナリ此ノ理ヲ了解スレハ前記ノ疑惑ハ自カラ水解セム或ハ又幼者禁酒法實行ノ困難ヲ說ク者ア

レトモ其ノ困難ハ獨り同法ニ限ラルヘキニ非ス若シ之ヲ口實トシテ同法ノ廢棄ヲ唱フル者アラハ是強盜盜犯キサルノ故ヲ以テ之ヲ自由ニ放任スヘシト說キ責注絶ヘサルノ故ヲ以テ之カ

取締ヲ全般スヘシト唱フル者ト何ソ擇フ所アラム茲ニ北米合衆國諸州ノ法典中ヨリ幼者ノ飲酒取締ニ關スル條項ヲ摘載シ以テ參稽ニ資セムトス

「アイラワ」州ノ法律

第二千四百三條 父母又ハ後見人若ハ醫者ノ保證狀ヲ有セサル幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與シタル者ハ二百圓ノ罰金ニ處ス但シ罰金ノ一半ハ該罪狀ノ告發者ニ賦與シ一半ハ該罪化機ノ調和ヲ破リ且胃液中消化ニ必要ナル「ペプシネ」ノ作用ヲ妨害ス

「アルコール」ノ血管ニ入ルヤ血液中ノ酸素ヲ奪取シ水分ヲ減少シ蛋白質ヲ凝固セシメ以テ血液ノ作用ヲ失ハシム

「アルコール」ハ肝臓腎臟心臓等ニ危險ナル脂肪變化ヲ起シ肺臓ヲ侵害ス

「アルコール」ハ神經及腦髓ヲ刺激シ殊ニ知覺感情ノ司府タル後

脳部ハ「アルコール」ノ爲損傷セラルコト最大ナリ

故ニ何等ノ點ヨリ觀察スルモ酒ノ人身ニ有害無益ノ毒物タルヤ

明ナリ或ハ飲酒家人肥満ヲ見テ健康ノ表觀ナリト云フ者アレトモ事實ハ正シク反對ニシテ其ノ肥満ハ即チ不健康ノ證左ナリ蓋シ不淨ナル脂肪ノ繁殖スルハ身體ニ害アリテ益ナケレハナリ或ハ酒ハ體溫ヲ增進スト云フ者アレトモ是亦誤謬ノ見解ナリ酒ヲ飲ムトキハ其ノ刺激ニ由リテ體内ノ溫度外部ニ發出スルヲ以テケレハ馬ハ唯々益疲勞スルノミ

皮膚ノ神經ハ體溫ノ增加ヲ感スト雖其ノ實外部ノ增加ハ内部ノ減少ニ由來スルヲ以テ全體ノ溫度ハ寧ロ幾分カ減退スルモノトス或ハ又酒ハ勇氣ヲ鼓舞シ氣力ヲ振興スト云フ者アレトモ其ノ鼓舞振興タルヤ恰モ鞭ノ馬ニ於ケルカ如ク鞭ヲ加フル愈々激シ

害毒ハ阿片ニ比スレハ數倍甚シキモノアレハナリ之ヲ病憲ニ喰

フレハ阿片ハ「コレラ」「ペスト」如ク酒ハ肺病、微毒ノ如シ肺病一家親子ノ關係ト毫毛異ナルナク即チ吾人國民ハ將來ノ良民トナルヘキ未成年者ニ對シテ嚴重ナル親權ヲ施行シ之ヲ監督運動

歟ト疑惑スル者アレトモ現代ノ老者ト現代ノ未成年者トノ關係ハ一家親子ノ關係ト毫毛異ナルナク即チ吾人國民ハ將來ノ良民

トナルヘキ未成年者ニ對シテ嚴重ナル親權ヲ施行シ之ヲ監督運動成スヘキ大貢任ヲ負擔スルモノナリ此ノ理ヲ了解スレハ前記ノ疑惑ハ自カラ水解セム或ハ又幼者禁酒法實行ノ困難ヲ說ク者ア

第四千二百四十六條 飲酒店ノ營業者幼者ヲ登店セシムルトキハ失行罪トシテ之ヲ處分ス

又同州ノ酒類取締法中ニ左ノ節アリ

酒類販賣營業免許ノ出願者ニ對シ當該官廳ハ之ニ免許狀ヲ下付スル前豫メ誓約書ヲ差出シムルコトヲ要ス

該誓約書中ニハ該出願者滿二十一年以上ノ幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與シタルトキハ償金七千圓ヲ差出スヘキコトヲ記載セシムルモノトス

「オレゴン」州ノ法律

第二千四百三條 父母又ハ後見人若ハ醫者ノ保證狀ヲ有セサル幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與シタル者ハ二百圓ノ罰金ニ處ス但シ罰金ノ一半ハ該罪狀ノ告發者ニ賦與シ一半ハ該罪化機ノ調和ヲ破リ且胃液中消化ニ必要ナル「ペプシネ」ノ作用ヲ妨害ス

「アルコール」ノ血管ニ入ルヤ血液中ノ酸素ヲ奪取シ水分ヲ減少シ蛋白質ヲ凝固セシメ以テ血液ノ作用ヲ失ハシム

「アルコール」ハ肝臓腎臟心臓等ニ危險ナル脂肪變化ヲ起シ肺臓ヲ侵害ス

「アルコール」ハ神經及腦髓ヲ刺激シ殊ニ知覺感情ノ司府タル後

脳部ハ「アルコール」ノ爲損傷セラルコト最大ナリ

故ニ何等ノ點ヨリ觀察スルモ酒ノ人身ニ有害無益ノ毒物タルヤ

明ナリ或ハ飲酒家人肥満ヲ見テ健康ノ表觀ナリト云フ者アレトモ事實ハ正シク反對ニシテ其ノ肥満ハ即チ不健康ノ證左ナリ蓋シ不淨ナル脂肪ノ繁殖スルハ身體ニ害アリテ益ナケレハナリ或ハ酒ハ體溫ヲ増進スト云フ者アレトモ是亦誤謬ノ見解ナリ酒ヲ飲ムトキハ其ノ刺激ニ由リテ體内ノ溫度外部ニ發出スルヲ以テケレハ馬ハ唯々益疲勞スルノミ

皮膚ノ神經ハ體溫ノ增加ヲ感スト雖其ノ實外部ノ增加ハ内部ノ減少ニ由來スルヲ以テ全體ノ溫度ハ寧ロ幾分カ減退スルモノトス或ハ又酒ハ勇氣ヲ鼓舞シ氣力ヲ振興スト云フ者アレトモ其ノ鼓舞振興タルヤ恰モ鞭ノ馬ニ於ケルカ如ク鞭ヲ加フル愈々激シ

害毒ハ阿片ニ比スレハ數倍甚シキモノアレハナリ之ヲ病憲ニ喰

フレハ阿片ハ「コレラ」「ペスト」如ク酒ハ肺病、微毒ノ如シ肺病一家親子ノ關係ト毫毛異ナルナク即チ吾人國民ハ將來ノ良民トナルヘキ未成年者ニ對シテ嚴重ナル親權ヲ施行シ之ヲ監督運動

歟ト疑惑スル者アレトモ現代ノ老者ト現代ノ未成年者トノ關係ハ一家親子ノ關係ト毫毛異ナルナク即チ吾人國民ハ將來ノ良民

トナルヘキ未成年者ニ對シテ嚴重ナル親權ヲ施行シ之ヲ監督運動成スヘキ大貢任ヲ負擔スルモノナリ此ノ理ヲ了解スレハ前記ノ疑惑ハ自カラ水解セム或ハ又幼者禁酒法實行ノ困難ヲ說ク者ア

「アラバマ」州ノ法律

第三千五百二十一條 酒類販賣ノ免許ヲ出願スル者ハ幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與セサルヘキ旨ヲ嚴正ニ宣誓シタル誓約書ヲ當該官廳ニ差出スコトヲ要ス

第二千六百三十五條 葡萄酒、麥酒等苟玉多少ノ酒精ヲ含有スル飲料ヲ幼者ニ賣與シタル者ハ無免許審賣罪ニ伏ス此ノ條項ニ背反シタル店主、店主等ハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二千六百三十五條 葡萄酒、麥酒等苟玉多少ノ酒精ヲ含有スル飲料ヲ幼者ニ賣與シタル者ハ無免許審賣罪ニ伏ス此ノ條項ニ背反シタル店主、店主等ハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二千六百三十五條 葡萄酒、麥酒等苟玉多少ノ酒精ヲ含有スル飲料ヲ幼者ニ賣與シタル者ハ無免許審賣罪ニ伏ス此ノ條項ニ背反シタル店主、店主等ハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三千九條 父母又ハ監督者又ハ後見人ノ記名セル酒類購求書ヲ當該官廳ニ差出スコトヲ要ス

西「ウラジロ」州ノ法律

第四千二百四十五條 何人ニ限ラス幼者ニ酒類ヲ販賣シ又ハ給與シタル者ハ失行罪トシテ之ヲ處分シ百圓以上四百圓以下ノ罰金ニ處ス

二處シ三箇月以下ノ禁錮ニ處ス

「七」

セラレタリ即チ原案ニ於テハ「酒類賣買ノ場所ニ於テ該酒類ノ消費セラルルト否トヲ問ハス幼者ニ酒類ヲ賣ルコトハ一切之ヲ禁止スルノ法案ナリシニ修正案ハ酒類賣買ノ場所ニ於テ該酒類ノ消費セラルヘキ場合ニ限り之ヲ幼者ニ賣ルコトヲ禁止スルコトトセルカ故ニ幼年ハ父兄等ノ爲メニ酒類ヲ買テ之ヲ持チ去ルコトヲ得ルナリ斯ル不完全ノ修正案ニテハ固ヨリ有志家ノ目的ヲ達スルコトヲ得サル以テ禁酒同盟會希望協會其他ノ同志者ハ一致シテ貴衆兩院各議員ニ意見書ヲ送リ「ヨーローピール氏」原案ヲ復活セシメントヲ請求シテアリ斯ル不完全ノ修正案通り可決セリ即チ左ノ如シ
酒類取締法(修正案)一千八百八十六年可決

酒類販賣營業免許ヲ有スル者情ヲ知テ満十三年以下ノ幼者ニ各團體ノ運動、希望協會禁酒同盟會幼者飲酒禁止同盟會等ノ諸團體ハ一千八百九十二年十月更ニ二百萬部ノ禁酒意見書ヲ印刷シテ之ヲ全國ニ配布シ酒類ノ弊害ヲ國民ニ知悉セシメ輿論ノ力ニ依テ前記「ヨーローピール氏」原案ヲシテ議會ニ通過セシメントセリ然レトモ今同モ亦議會ニ於テ否決セラレタ」
「ハルデン氏」議案 同氏モ亦一千八百九十六年ヲ以テ幼者飲酒禁止法案ヲ議會ニ提出シタレトモ是亦成功セサリキ
其後ノ形況 是レヨリ先キ禁酒ヲ主張スル各種團體ニ慈善社之類ノ運動、希望協會禁酒同盟會幼者飲酒禁止同盟會等ノ諸團體ハ一千八百九十二年十月更ニ二百萬部ノ禁酒意見書ヲ印

刷シテ之ヲ全國ニ配布シ酒類ノ弊害ヲ國民ニ知悉セシメ輿論ノ力ニ依テ前記「ヨーローピール氏」原案ヲシテ議會ニ通過セシメントセリ然レトモ今同モ亦議會ニ於テ否決セラレタ」
「ハルデン氏」議案 同氏モ亦一千八百九十六年ヲ以テ幼者飲酒禁止法案ヲ議會ニ提出シタレトモ是亦成功セサリキ

等ハ一方ニ於テ政府及議會ニ於テ禁酒運動ヲナスト同時ニ他方ニ於テハ「酒屋運動」ヲ開始シ全國ノ酒類販賣營業免許ヲ有スル者ヲ訓戒シテ幼者ニ酒類ヲ賣ルヘカラサル理由ヲ説示セリトヲ得ルナリ斯ル不完全ノ修正案ハ酒類賣買ノ場所ニ於テ該酒類ノ消費セラルヘキ場合ニ限り之ヲ幼者ニ賣ルコトヲ禁止スルコトトセルカ故ニ幼年ハ父兄等ノ爲メニ酒類ヲ買テ之ヲ持チ去ルコトヲ得ルナリ斯ル不完全ノ修正案ニテハ固ヨリ有志家ノ目的ヲ達スルコトヲ得サル以テ禁酒同盟會希望協會其他ノ同志者ハ一致シテ貴衆兩院各議員ニ意見書ヲ送リ「ヨーローピール氏」原案ヲ復活セシメントヲ請求シテアリ斯ル不完全ノ修正案通り可決セリ即チ左ノ如シ
酒類取締法(修正案)一千八百八十六年可決

酒類販賣營業免許ヲ有スル者情ヲ知テ満十三年以下ノ幼者ニ各團體ノ運動、希望協會禁酒同盟會幼者飲酒禁止同盟會等ノ諸團體ハ一千八百九十二年十月更ニ二百萬部ノ禁酒意見書ヲ印

刷シテ之ヲ全國ニ配布シ酒類ノ弊害ヲ國民ニ知悉セシメ輿論ノ力ニ依テ前記「ヨーローピール氏」原案ヲシテ議會ニ通過セシメントセリ然レトモ今同モ亦議會ニ於テ否決セラレタ」
「ハルデン氏」議案 同氏モ亦一千八百九十六年ヲ以テ幼者飲酒禁止法案ヲ議會ニ提出シタレトモ是亦成功セサリキ
其後ノ形況 是レヨリ先キ禁酒ヲ主張スル各種團體ニ慈善社之類ノ運動、希望協會禁酒同盟會幼者飲酒禁止同盟會等ノ諸團體ハ一千八百九十二年十月更ニ二百萬部ノ禁酒意見書ヲ印

刷シテ之ヲ全國ニ配布シ酒類ノ弊害ヲ國民ニ知悉セシメ輿論ノ力ニ依テ前記「ヨーローピール氏」原案ヲシテ議會ニ通過セシメントセリ然レトモ今同モ亦議會ニ於テ否決セラレタ」
「ハルデン氏」議案 同氏モ亦一千八百九十六年ヲ以テ幼者飲酒禁止法案ヲ議會ニ提出シタレトモ是亦成功セサリキ

等ハ一方ニ於テ政府及議會ニ於テ禁酒運動ヲナスト同時ニ他方ニ於テハ「酒屋運動」ヲ開始シ全國ノ酒類販賣營業免許ヲ有スル者ヲ訓戒シテ幼者ニ酒類ヲ賣ルヘカラサル理由ヲ説示セリトヲ得ルナリ斯ル不完全ノ修正案ニテハ固ヨリ有志家ノ目的ヲ達スルコトヲ得サル以テ禁酒同盟會希望協會其他ノ同志者ハ一致シテ貴衆兩院各議員ニ意見書ヲ送リ「ヨーローピール氏」原案ヲ復活セシメントヲ請求シテアリ斯ル不完全ノ修正案通り可決セリ即チ左ノ如シ
酒類取締法(修正案)一千八百八十六年可決

酒類販賣營業免許ヲ有スル者情ヲ知テ満十三年以下ノ幼者ニ各團體ノ運動、希望協會禁酒同盟會幼者飲酒禁止同盟會等ノ諸團體ハ一千八百九十二年十月更ニ二百萬部ノ禁酒意見書ヲ印

刷シテ之ヲ全國ニ配布シ酒類ノ弊害ヲ國民ニ知悉セシメ輿論ノ力ニ依テ前記「ヨーローピール氏」原案ヲシテ議會ニ通過セシメントセリ然レトモ今同モ亦議會ニ於テ否決セラレタ」
「ハルデン氏」議案 同氏モ亦一千八百九十六年ヲ以テ幼者飲酒禁止法案ヲ議會ニ提出シタレトモ是亦成功セサリキ
其後ノ形況 是レヨリ先キ禁酒ヲ主張スル各種團體ニ慈善社之類ノ運動、希望協會禁酒同盟會幼者飲酒禁止同盟會等ノ諸團體ハ一千八百九十二年十月更ニ二百萬部ノ禁酒意見書ヲ印

刷シテ之ヲ全國ニ配布シ酒類ノ弊害ヲ國民ニ知悉セシメ輿論ノ力ニ依テ前記「ヨーローピール氏」原案ヲシテ議會ニ通過セシメントセリ然レトモ今同モ亦議會ニ於テ否決セラレタ」
「ハルデン氏」議案 同氏モ亦一千八百九十六年ヲ以テ幼者飲酒禁止法案ヲ議會ニ提出シタレトモ是亦成功セサリキ

等ハ一方ニ於テ政府及議會ニ於テ禁酒運動ヲナスト同時ニ他方ニ於テハ「酒屋運動」ヲ開始シ全國ノ酒類販賣營業免許ヲ有スル者ヲ訓戒シテ幼者ニ酒類ヲ賣ルヘカラサル理由ヲ説示セリトヲ得ルナリ斯ル不完全ノ修正案ニテハ固ヨリ有志家ノ目的ヲ達スルコトヲ得サル以テ禁酒同盟會希望協會其他ノ同志者ハ一致シテ貴衆兩院各議員ニ意見書ヲ送リ「ヨーローピール氏」原案ヲ復活セシメントヲ請求シテアリ斯ル不完全ノ修正案通り可決セリ即チ左ノ如シ
酒類取締法(修正案)一千八百八十六年可決

酒類販賣營業免許ヲ有スル者情ヲ知テ満十三年以下ノ幼者ニ各團體ノ運動、希望協會禁酒同盟會幼者飲酒禁止同盟會等ノ諸團體ハ一千八百九十二年十月更ニ二百萬部ノ禁酒意見書ヲ印

刷シテ之ヲ全國ニ配布シ酒類ノ弊害ヲ國民ニ知悉セシメ輿論ノ力ニ依テ前記「ヨーローピール氏」原案ヲシテ議會ニ通過セシメントセリ然レトモ今同モ亦議會ニ於テ否決セラレタ」
「ハルデン氏」議案 同氏モ亦一千八百九十六年ヲ以テ幼者飲酒禁止法案ヲ議會ニ提出シタレトモ是亦成功セサリキ
其後ノ形況 是レヨリ先キ禁酒ヲ主張スル各種團體ニ慈善社之類ノ運動、希望協會禁酒同盟會幼者飲酒禁止同盟會等ノ諸團體ハ一千八百九十二年十月更ニ二百萬部ノ禁酒意見書ヲ印

刷シテ之ヲ全國ニ配布シ酒類ノ弊害ヲ國民ニ知悉セシメ輿論ノ力ニ依テ前記「ヨーローピール氏」原案ヲシテ議會ニ通過セシメントセリ然レトモ今同モ亦議會ニ於テ否決セラレタ」
「ハルデン氏」議案 同氏モ亦一千八百九十六年ヲ以テ幼者飲酒禁止法案ヲ議會ニ提出シタレトモ是亦成功セサリキ

罰金ヲ納付シ得サル場合ニ於テハ一箇月ノ禁錮ニ處ス再犯用
於テハ五十弗ノ罰金ニ處シ之ヲ納付シ得サル場合ニ於テハ二
箇月ノ禁錮ニ處シ酒類販賣ノ免許ヲ沒收ス

何人タルノ間ハス滿十五年以下ノ幼者ニ酒類ヲ賣り之ヲ飲用
セシメタルモノハ十留ノ罰金ニ處シ再犯以上ニ於テハ二十留
ノ罰金ニ處ス

「ナタル」ノ法律(千八百九十六年制定)

酒類小賣營業免許ヲ有スル者滿十五年以下ノ幼者ニ酒類ヲ賣
ルトキハ二十磅以下ノ罰金ニ處ス

罰金ヲ納付シ得サル場合ニ於テハ三箇月以内ノ禁錮ニ處ス

「ニュー、ブランズウヰック」ノ法律(千八百九十六年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者未成年者ニ酒類ヲ賣
給與スルトキハ十弗以下ノ罰金ニ處シ再犯以上ハ二十弗以下
ノ罰金ニ處ス(他ノ命ヲ受ケテ酒類ヲ實地販賣シ若クハ給與セ
ル者モ亦同罰ニ處ス)

「ニュー、フーリンドランド」ノ法律(千八百九十五年
制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十八年以下ノ少年ニ酒類ヲ販賣
シ若クハ交付スルトキハ五十弗以下ノ罰金ニ處ス

「ニュー、ザウス、ヴェーレス」ノ法律(千八百九十八年
制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十六年以下ノ幼者ニ酒類ヲ販賣
シ若クハ交付シテ之ヲ飲用セシムルトキハ十磅以下ノ罰金ニ
處シ再犯以上ハ四十磅以下ノ罰金ニ處ス(他ノ命ヲ受ケテ酒類ヲ
實地販賣シ若クハ交付セル者モ亦同罰ニ處ス)

初犯ニ於テハ酒類販賣免許ヲ六箇月間停止再犯以上ニ於テハ
該免許ヲ沒收ス

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者滿十六年以下ノ幼者ニ酒類ヲ販賣
シ若クハ交付シテ之ヲ飲用セシムルトキハ十磅以下ノ罰金ニ
處シ再犯以上ハ四十磅以下ノ罰金ニ處ス(他ノ命ヲ受ケテ酒類ヲ
實地販賣シ若クハ交付セル者モ亦同罰ニ處ス)

「ニュー、ゼーランド」ノ法律(千八百八十年制定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者溝十五年以下ノ兒女ニ酒類ヲ賣リ
之ヲ飲用セシムルトキハ二十磅以下ノ罰金ニ處ス

「クイーンズランド」ノ法律(千八百八十五年制
定)

酒類販賣ノ免許ヲ有スル者溝十五年以下ノ兒女ニ酒類ヲ賣リ

之ヲ飲用セシムルトキハ二十五磅以上五磅以下ノ罰金ニ處ス

ノ罰金ニ處シ再犯以上ハ三磅以上十磅以下ノ罰金ニ處シ且ツ

罪犯告發ノ費用ヲ納付セシム

参考

未成年者喫煙禁止法(千八百八十年制定)

飲食店ノ店主又ハ酒類小賣營業人タル者溝十四年以下ノ兒女
ニ酒類ヲ販賣供給シタルトキ又ハ溝十八年以下ノ兒女ニ酒類
ヲ販賣供給シテ之ヲ飲用セシムルトキハ一磅以上五磅以下
ノ罰金ニ處シ再犯以上ハ三磅以上十磅以下ノ罰金ニ處シ且ツ
罪犯告發ノ費用ヲ納付セシム

三十三年ヨリ大正七年未日マテ十九年間ニ實八十四萬七千四
十五ノ多キニ達セラル見ル以テ本法未成年者飲酒取締法ノ施行
セラル場合ニ於テモ亦如何ニ有效ナルヤラ推知スルヲ得ヘシ

至天正七年十二月未日未成年者喫煙禁止法違反者數調

府道廳縣及	喫煙器具ヲ沒收シ料ニ處シタル人員ル八員	喫煙器具ヲ沒收シ料ニ處シタル人員ル八員	計
高愛香德和山廣岡島鳥富石福秋山青巖福宮長岐滋山靜愛三奈栄英千群崎新長兵神大京東北府道奈海縣及	三、四三	一、〇四	三、四三
歌	一、九四	一、九三	二、八一
知媛川島山口島山根取山川井田形森手島城野阜賀梨岡知重良木城葉馬玉鴻崎庫川阪都京道	二、一九	一、九五	三、〇四
年制定	二、一九	一、九六	三、一〇二
三十一年ヨリ大正七年未日マテ十九年間ニ實八十四萬七千四 十五ノ多キニ達セラル見ル以テ本法未成年者飲酒取締法ノ施行 セラル場合ニ於テモ亦如何ニ有效ナルヤラ推知スルヲ得ヘシ	二、一九	一、九七	三、一六八
至天正七年十二月未日未成年者喫煙禁止法違反者數調	二、一九	一、九八	三、一七五
セラル場合ニ於テモ亦如何ニ有效ナルヤラ推知スルヲ得ヘシ	二、一九	一、九九	三、一七六

(内務省警保局)

福佐熊宮沖鹿兒崎本賀分岡	合計	合計	合計
明治三十三年法律第三十三號未成年者喫煙禁止法ハ同年四 月一日ヨリノ施行ニ係レリ	二、〇五	一、〇五	二、〇八
大正七年中未成年者喫煙禁止法違反者數調	二、三一	一、九五〇	八二一、九六四
（内務省警保局）	二、三一	一、九五〇	八二七、〇四五
合計	二、三一	一、九五〇	八二七、〇四五
参考	二、三一	一、九五〇	八二七、〇四五
三十一年ヨリ大正七年未日マテ十九年間ニ實八十四萬七千四 十五ノ多キニ達セラル見ル以テ本法未成年者飲酒取締法ノ施行 セラル場合ニ於テモ亦如何ニ有效ナルヤラ推知スルヲ得ヘシ	二、三一	一、九五〇	八二七、〇四五
至天正七年十二月未日未成年者喫煙禁止法違反者數調	二、三一	一、九五〇	八二七、〇四五
セラル場合ニ於テモ亦如何ニ有效ナルヤラ推知スルヲ得ヘシ	二、三一	一、九五〇	八二七、〇四五

(内務省警保局)

福佐熊宮沖鹿兒崎本賀分岡	合計	合計	合計
明治三十三年法律第三十三號未成年者喫煙禁止法ハ同年四 月一日ヨリノ施行ニ係レリ	二、三一	一、九五〇	八二一、九六四
大正七年中未成年者喫煙禁止法違反者數調	二、三一	一、九五〇	八二七、〇四五
（内務省警保局）	二、三一	一、九五〇	八二七、〇四五
合計	二、三一	一、九五〇	八二七、〇四五
参考	二、三一	一、九五〇	八二七、〇四五
三十一年ヨリ大正七年未日マテ十九年間ニ實八十四萬七千四 十五ノ多キニ達セラル見ル以テ本法未成年者飲酒取締法ノ施行 セラル場合ニ於テモ亦如何ニ有效ナルヤラ推知スルヲ得ヘシ	二、三一	一、九五〇	八二七、〇四五
至天正七年十二月未日未成年者喫煙禁止法違反者數調	二、三一	一、九五〇	八二七、〇四五
セラル場合ニ於テモ亦如何ニ有效ナルヤラ推知スルヲ得ヘシ	二、三一	一、九五〇	八二七、〇四五

(内務省警保局)

第二十二條 辨理士會ハ法入トス

第二十三條 辨理士會ハ辨理士ノ風紀ヲ保持シ共同ノ利益ヲ増進スルヲ以テ目的トス

二十四條 辨理士會ハ左ノ役員ヲ置クヘシ

一 理事 二十名

二 常議員 二十名

役員ハ會員中ヨリ之ヲ互選スヘシ

届出ツヘシ

二十五條 理事ハ共同シテ辨理士會ヲ代表ス

二十六條 辨理士會ハ主務大臣又ハ特許局長ノ諮問アルトキニ答申スヘシ

二十七條 辨理士會ハ特許局ノ主管事務又ハ辨理士ノ職務上ノ利害ニ關シ主務大臣又ハ特許局長ニ建議スルコトヲ得

二十八條 辨理士會ハ會則ヲ定メ特許局長ヲ經テ

主務大臣ニ届出テ其ノ認可ヲ受クヘシ

二十九條 辨理士ハ辨理士會會則ヲ遵守スヘシ

第五章 懲戒

三十條 辨理士ニシテ本法又ハ辨理士會會則ニ違反シタル行爲アリタルトキハ理事ハ常議員會又ハ總會ノ決議ニ依リ懲戒ヲ求ムル爲特許局長ヲ經テ主務大臣ニ申告スヘシ

三十一條 主務大臣ハ辨理士會理事ノ申告ニ依リ又ハ職權ヲ以テ辨理士懲戒委員會ノ裁決ヲ請求スベシ但シ職權ヲ以テスルトキハ辨理士會ニ通知スヘシ

三十二條 辨理士懲戒委員會ニ關スル規則ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

三十三條 辨理士ノ懲戒處分ハ左ノ四種トス

一 謙責 二 百圓以下ノ過料

三 一年以内ノ停職

四 登錄ノ取消

第六章 附則

三十五條 第十條第五號ハ特許辨理士及特許代理業者ニ準用ス

三十六條 本法施行ノ際現ニ特許辨理士タル者ハ本法ニ依リ辨理士ノ登錄ヲ受ケタルモノト看做ス

三十七條 特許辨理士令ニ依ル特許辨理士登錄簿ハ本法ニ依ル辨理士名簿ト看做ス

第三十八條 特許辨理士令、特許辨理士試験規則及

特許辨理士組合規則ハ之ヲ廢止ス

三十九條 辨理士カ辨理士會設立前委任ヲ受ケタル事件ニ付テハ第四條ヲ適用セス

四十條 主務大臣ハ本法施行後十日以内ニ辨理士中ヨリ辨理士會設立委員三十名ヲ選任スヘシ

辨理士會設立事務ノ執行ハ委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

辨理士會設立委員ハ選任ノ日ヨリ三十日以内ニ辨

理士會設立總會ヲ招集スヘシ

辨理士會設立總會ハ會則ヲ作成シ役員ノ選舉ヲ爲スヘシ

設立總會ノ決議ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第四十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四 司法代書人法案鈴木富士彌君外一名

提出)

第一 読會

司法代書人法

判所又ハ檢事局ニ提出スル文書ノ作成ヲ業トスル者ヲ謂フ

第二條 司法代書人ハ左ノ要件ヲ具フルコトヲ要ス

一 帝國臣民ニシテ成年以上ノ男子タルコト

二 司法代書人試験ニ合格シタルコト又ハ司法代書人試験委員ノ銓衡ヲ經タルコト

三 司法代書人試験及銓衡ニ關スル規則ハ司法

第四條 左ニ掲タル者ハ試験又ハ銓衡ヲ要セスシテ司法代書人タルコトヲ得

一 三年以上裁判所書記ノ職ニ在リタル者又バ之ト同等以上ノ職ニ在リタル者

二 司法大臣ノ指定シタル法律學校又ハ之ト同等以上ト認ムル學校ニ於テ定規ノ課業ヲ卒ヘタル者

第五條 左ニ掲タル者ハ司法代書人タルコトヲ得ス

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ若ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

二 懲戒處分ニ依リ免官、免職又ハ除名セラレタル者ニシテ免官、免職又ハ除名後二年シ經過セサル者

三 禁治產者又ハ準禁治產者

四 破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者

六條 司法代書人ハ其ノ作成シタル文書ニ付釋明

ノ義務ヲ負フ

七條 司法代書人ハ訴訟事件ニ關與シ又ハ報酬ヲ

得テ鑑定ヲ爲シ若ハ辯護士ノ紹介ヲ爲スコトヲ得ス

八條 司法代書人ハ其ノ作成シタル文書ヲ囑託者ニ讀聞カセタル後其ノ末尾ニ署名捺印スヘシ

第九條 司法代書人ハ正當ノ理由ナクシテ裁判所若ハ檢事局ノ命シタル文書ノ作成ヲ拒ムコトヲ得ス當事者ノ囑託ニ依ル場合亦同シ

第十條 司法代書人ハ報酬アル公務ヲ兼ヌルコトヲ得ス但シ議員若ハ委員トナリ又ハ公務所ヨリ特ニ命セラレタル職務ヲ行フハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 司法代書人ハ自己若ハ第三者ノ名義ヲ以テ商業ヲ營ムコトヲ得ス但シ司法代書人會ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 司法代書人ニ非サレハ司法代書業ヲ營ムコトヲ得ス

第十三條 司法代書人ハ司法代書人名簿ニ登録ヲ受クヘシ

第十四條 各地方裁判所ニ司法代書人名簿ヲ備フ司法代書人ハ其ノ氏名ヲ登錄シタル地方裁判所ノ所屬トス

第十五條 司法代書人ノ定員及登錄ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム

第十六條 司法代書人ハ所屬地方裁判所ノ管轄地内ニ事務所ヲ定メ之ヲ所屬地方裁判所檢事局ニ届出ツヘシ

第十七條 司法代書人ハ其ノ所屬地方裁判所每ニ司法代書人會ヲ設立スヘシ

第十八條 司法代書人會ハ所屬地方裁判所檢事正ノ監督ヲ受ク

第十九條 司法代書人會ハ其ノ會則ヲ定メ所屬地方裁判所檢事正ヲ經テ司法大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十條 司法代書人ニシテ本法又ハ司法代書人會會則ニ違反シタル所爲アルトキハ司法代書人會ハ

懲戒ヲ求ムル爲所屬地方裁判所檢事正ニ申告スヘシ

第二十三條 地方裁判所檢事正ハ司法代書人會ハ告ニ依リ又ハ職權ヲ以テ懲戒委員會ノ審査ヲ要求ス

ヘシ但シ職權ヲ以テスルトキハ司法代書人會ニ通知
スヘシ

第二十四條 司法代書人ニ對スル懲戒事件ニ付テハ
管轄地方裁判所ニ於テ懲戒委員會ヲ開クヘシ

第二十五條 司法代書人ノ懲戒處分ハ左ノ四種トス
一 講責

二 百圓以下ノ過料

三 一年以下ノ停職

四 除名

第二十六條 懲戒處分ニ付テハ文官懲戒令中判任官
ニ關スル規定ヲ準用ス

現在ノ代書人ニシテ裁判所ノ認可ヲ經タル者ハ本法施行ノ日ヨリ六十日以内ニ司法代書人名簿ニ登録ヲ請フトキハ試験又ハ銓衡ヲ要セスシテ司法代書人タルコトヲ得
〔鈴木富士彌君登壇〕

〔拍手起立〕

○鈴木富士彌君 簡單ニ辨理士法案提出ノ理由ヲ申述ベテ見タイト思ヒマス、辨理士ト申スノハ、特許辨理士ノ事デゴザイマス、十數年前マテ、世上俗ニ特許代理業者トシテ知ラレテ居リマシタ者ガ、其後特許辨理士ト云フ名ニ改メラレマシタガ、今回更ニ其名前ヲ辨理士ト切り縮メマシテ、尙ホ現行特許辨理士令ノ内容ニ改正ヲ加ヘマシテ、一面辨理士ノ風紀ヲ一層嚴重ニ取締ルト同時ニ、一面其地位ノ發展向上ヲ圖ル爲メニ、其職務、其資格、其登錄、監督、懲戒等ノ諸事項ニ就キマシテ、更ニ完全ナル規定ヲ設ケタイト云フノガ、本案提出ノ理由ノ要領デゴザイマス、御承知ノ如ク、發明ナル者ハ一國產業ノ發達ノ先駆ヲ爲スモノデアル、發明ヲ伴ハナイ産業ハ、早晚衰微スベキ運命ニ陥ルノデゴザイマス、衰微シナイマデモ、他ノ國ノ産業が發達ガ如ク、發明ナル者ハ一國産業ノ發達ノ先駆ヲ爲スモ所謂進マザレハ退クノ道理デアリマシテ、之ヲ實例ニ徴シマスルニ日本ノ藍ノ製造業ハ、獨逸ノ人造藍ノ發明アッテ以來著シク影響ヲ受ケマシテ、今日ハ昔日ノ盛觀ヲ見ルコト勃興スルノ結果、矢張落伍者ノ地位ニ落チルノデアリマス、此種ノ實例ハ到ル處枚舉ニ遑アラズト云フ有様デアリマス、ドウシテモ一國産業ノ發達ヲ圖ルニハ、發明ヲ獎勵尊重スルト同時ニ、發明及發明家ヲ保護スル爲メニ、最善ノ努力ヲ費スノ必要ガアルノデアリマス、保護ト申シマシテモ、積極ノ保護モアレバ消極ノ保護モアリマ

ス、積極的ニ發明及發明家ヲ保護スルノハ、即チ政治家及資本家ノ任務デアリマス、消極的ニ發明及發明家ヲ保護スルノガ、茲ニ辨理士ノ任務トナツテ居ルノデアリマス、今更事新シク申スマデモアリマセヌガ、此辨理士ナル者ハ、發明事新シク申スマデモアリマセヌガ、此辨理士ナル者ハ、發明スルノデアリマス、茲ニ辨理士ノ任務トナツテ居ルノデアリマス、是デハ逆モ辨理對シ登録ノ申請ヲ爲スト同時ニ、其發明ガ他ヨリ侵害ヲ受ケヌヤウニ之ヲ保護スルノガ職務デゴザイマシテ、一國ノ産業政策ノ上カラ見マスト、極メテ重要な職業ト云フテモ宜シイノデアリマス、辨護士、醫師ト相並ンデ、世ノ尊敬ヲ受クベキ高貴ナル「プロフェッショナル」ニニ數ヘテ然ルベキモノト思フノデアリマス、然ルニ從來政府ガ特許辨理士ヲ視ルコトハ極メテ輕ク、明治三十二年ニ初メテ特許代理業者登録規則ナルモノガ出來マシテ、稍其地位ヲ認メラレマシタケレドモ、是トテモ極メテ不十分デ、謂ハシ從來商賣往來ニ無カツタ特許代理業者ト云フ名前ガ一つ、御上ノ書キ物ニ其名ヲ謠ハレタト云フ位ニ過ギナカタノデアリマス、越エテ明治三十四年特許法ノ改正ト同時ニ、前申シマシタ如ク、特別代理業者ト云フ名前ガ特許辨理士ト改シテ、特別辨理士令ナルモノガ設ケラレマシタ、其資格職務ニ就キ稍メテ知ラレマシタガ、今回更ニ其名前ヲ辨理士ト云フ名前ガ、併ナガラ之ヲ辨護士法ト比較シマスルト、其間ノ逕庭ガ著シイノデアリマス、尙ホ不十分タルヲ免レヌノデアリス、試ミニ其一二ヲ舉ダマスルト、第一ニ辨護士法ハ御承知ノ如ク法律デアリマス、特許辨理士令ハ勅令デアリマス、勅令ハ主務大臣ガ何時デモ勝手ニ變更スルコトガ出來アス、法律ハ議會ノ協賛ヲ經ナケレバ、之ヲ改正變更廢止スルコトハ出來マセヌ、何レガ強ク何レガ弱キヤハ、殆ド贅言ヲ費スノ必要ガアリマセヌ、私ハ法律ヲ要求シテ居ル、勅令ヲ要求シテ居ナイ、是ガ第一ニ異ナル點デアリマス、第二ニ辨護士法ニ於キマシテ層力強キ且ソ品位アル職業ト爲シテ、一國產業革新ノ急先鋒デアル發明家ヲ保護スルニ、遺憾ナキヤウ配慮ヲ致シタル積ニ就キ特ニ意ヲ用キテゴザイマス、辨護士法ヲ模範ト致シマシテ、其長ヲ採テ短ヲ補ヒ、辨理士ナル職業ヲソレカラ代書人法ハ御承知ノ如ク、第三十七議會ニ急當衆議院ヲ大多數ヲ通過ヲ致シテ居リマス、貴族院ニ於テ會期切迫ノ爲メニ、遂ニ握濱トナリマシタガ、此司法代書人法制定ニ關スル請願ハ、第三十議會以來、毎年數百通全國カラ請願ガ貴衆兩院へ提出セラレマシテ、其都度選擇ノ光榮ニ浴シテ居ルモノデアリマス、本年モ多數ノ請願ガアリマシタガ、當衆議院ニ於テハ採擇セラレテ居リマス、故ニ其提出ノ理由ハ別ニ詳シク申述ブル必要ハアルマイト存ジマス、御承知ノ如ク代書人ニハ、行政代書人ト司法代書人ノ二種類アリマシテ、行政代書人ハ町村役場へ提出スル文書ノ作製ヲ業トスルモノデアリマシテ、是ハ格別專門ノ智識ヲ要セズ、又其文書ニ誤謬遺脱等ガアリマシテモ、之ヲ訂正スルコトハ極メテ容易デアリ、又斯様ナ事ガアッテモ、決シテ之ガ爲メニ當事者ガ非常ナ損害ヲ被ルト云フコトハ無イ

ノデアリマスガ、司法代書人ハ是ト異リマシテ、之ヲ作製スルニ、法律上ノ専門ノ智識が多少要スルノミナラズ一度生ジタル誤謬遺脱ハ、後日回復スペカラザル損害ヲ当事者三與フルガ常デアリマス、此點ニ於キマシテハ、行政代書人ト一列ニ律スルコトハ出來マヌ、然ルニ現在司法代書人ハ、下ウ云フ資格ノ者ガ、如何ナル手續デナッテ居ルカト申シマスルト、今日何等ノ法規ノ無イ爲メニ、無智無學ノ者、或ハ品性ノ劣等ナル輩ガ、單ニ届書一枚ヲ以テ直チニ司法代書人ニナシテ、其職ニ當テ居ルト云フ有様ナ、弊害百出殆ド今之ヲ取締ラザレバ、甚ダ容易ナラヌ弊害ヲ將來ニ貽スモノハナイカト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ在野法曹界ニ於テモ、先年來屢々、司法代書人法制定ノ建議ヲ當局ニ致シタコトガアリマス、是ハ是非共資格職務ニ就テ、今少シ徹底的ナ取締ラシテ、又一面之ヲ保護シテ、司法代書人ナルモノヲ司法部ノ補助機關トシテ、其機能ヲ完ウセシムルコトニスルコトガ、刻下ノ急務デナハイカト信ズルニ依リマシテ、此度再ビ司法代書人法ヲ提出スルニ至リマシタ次第アリマス、是亦宣シク諸君ノ御協賛ヲ仰ギタイト信ブルノデアリマス（拍手起ル）

○岩崎勳君　日程第三及第四ノ兩案ヲ一括シ、議長指名ヲ以テ、特ニ十八名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス
○議長（大岡育造君）　岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセスカ
〔異議ナシ下呼フ者アリ〕
○議長（大岡育造君）　御異議ガナケレバ、本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、日程第五、水産業統一機關設立ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者唐端清太郎君

第五　水産業統一機關設置ニ關スル建議案

（唐端清太郎君外二名提出）
水産業統一機關設置ニ關スル建議案
農業、蠶絲業、畜産業等我國重要ノ產業ニハ皆全國同業者ヲ統一シ益斯業ノ改良發達ヲ計畫スル機關アルニ拘ラス獨リ水產業ハ未タ統一機關ヲ設置スルニ至ラス我國水產業中製鹽ヲ除キ漁業ノ獲ル所毎年二三億圓ノ間ニ在リ水產製造品ノ海外ニ輸出スルモノ年額約四千萬圓トス其ノ内地消費額亦決シテ鮮少ニ非ス特ニ四面環海世界第一流ノ水產國タル我國ニ於テ同業者ヲ統一スルノ機關ナク各地孤立ノ狀態ニ委スル

右建議ス

〔唐端清太郎君登壇〕

〔拍手起ル〕

○唐端清太郎君　本案ニ就テ説明ヲ致シマス、我國ノ重業等、皆ナソレ一統一機關ヲ設置致シマシテ、當業者ヲ指導誘掖シテ其改良發達ヲ圖シテ居リマス、所テ同ジ重要な産業デアル水產業ニハ、マダ其機關ガアリマセス、水產ノ一箇年ノ產額ハ、製造ヲ除キマシテ漁撈ニ依テ得ル所ハ二三億圓デゴザイマス、尤モ此統計ガ甚ダ杜撰ナモノア、政府ガ施政ノ参考ニセラレテ居ル所ハ、二億圓未滿アリマス、當業者ガ算盤ヲ持テ居ル所ハ、三億圓ヲ超過致シテ居ル、故ニ二億圓以上三億圓ト見レバ先ゾ大差ナイコト、思ヒマス、ソレデ水產製造ノ海外貿易ニ供セラレテ居リマスモノハ、一箇年約四千万圓デゴザイマス、其外ニ内地ニ消費シテ居リマスモノモ亦尠カラヌコト、存ジマス、殊ニ四面環海デアル、水產業トシテ世界第一流ノ國ダト云ハレテ居ル我國ガ、今ニ當業者ヲ統一スルノ機關モ無ク、斯クノ如ク孤立ノ狀態ニ陥シテ居リマス、即チ互ニ氣脈ヲ通ジテ、各地ノ狀況ヲ知ルコトガ出來ナイ爲メニ、漁具、漁法ノ改良及之ヲ發明スルト云フコトニ至ルハ、殆ド聞ク所ハアリマセス、又遠ク他邦ニ出テ、漁業ヲ爲スト云フ勇氣モアリマセス、ソレガ爲メニ豐漁不漁等ノ差ハ甚シクナシテ居リマス、其又製造品ニ付キマシテモ、各地相應シテ同種ノ物ヲ多ク產出スルコトヲ圖ラナイ、各自由勝手ノ製造ヲヤシテ居ル爲メニ、同種ノ產額ガ少ナクナシテ、偶ニ外國カラ注文ガアリマシテニ拘ラス獨リ水產業ハ未タ統一機關ヲ設置スルニ至ラス我國水產業中製鹽ヲ除キ漁業ノ獲ル所毎年二三億圓ノ間ニ在リ水產製造品ノ海外ニ輸出スルモノ年額約四千萬圓トス其ノ内地消費額亦決シテ鮮少ニ非ス特ニ四面環海世界第一流ノ水產國タル我國ニ於テ同業者ヲ統一スルノ機關ナク各地孤立ノ狀態ニ委スル

ハ甚タ遺憾トスル所ナリ惟フニ將來益水產上ノ智識ヲ啓發シ各地ノ狀況ヲ疎通シ共同以テ事ニ當シメ内ハ海洋ニ遺利ナク外ハ貿易ノ増進ヲ計ルニ於テ此ノ機關ノ活動ニ待ツモノ蓋玆シテセス即チ當業者ハ自ラ進ムテ之ヲ組織スヘクシテ而シテ現状未タ之ヲ望ムヘカラス故ニ政府ハ速ニ關係各郡市島ヲ基礎トシ系統的組織ヲ以テ此ノ機關ヲ設置スルノ方法ヲ設ケラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔唐端清太郎君登壇〕

〔拍手起ル〕

○唐端清太郎君　本案ニ就テ説明ヲ致シマス、我國ノ重業等、皆ナソレ一統一機關ヲ設置致シマシテ、當業者ヲ指導誘掖シテ其改良發達ヲ圖シテ居リマス、是ハ有志ノ會代ヘヨト云フコトニアリマシタ、其全國水產大會ハ、本年一月ヲ以テ第四回目ヲ開イタノデゴザイマス、是ハ有志ノ會合デアリマス、即チ各府縣ガ之ニ出席スルト否ハ、其府縣ノ自由デアル、從來缺席ノ府縣モ澤山ゴザイマシケレドモ之ヲ責ムルコトガ出來ナイ、又其出席ナシマス者ニモ、團體ヲ代表シテ來ル者モアリ、個人資格デ來ル者モアリ、協議シタル事項ヲ、歸シテ當業者ニ報告スル義務ヲ有シテ居ル者モ有レバ、無イ者モアル、決議事項ニ至リテハ、殆ド何等ノ責任ガ無イノデアリマス、即チ大會一夕ヒ散ゼバ殘ル所何物モ無シ、一言ニシテ言ヘバ烏合ノ衆ト評スベキモノデアラウト思ヒマス、之ヲ以テ此統一機關ニ代ヘロト云フコトハ、洵ニ思ハザルノ甚シキモノト思フノデアリマス、所ガ近頃ハ漁業法案實施以來、舊キ頭ヲ持シテ人ガ漸ク退イテ、新シキ頭腦、新シキ抱負經繪ヲ懷ク人ガ政府ノ局ニ當ラレシ、アル模様デゴザイマス、又戰後ノ今日產業ノ振興ヲ圖ルニ就テモ、水產業モ其中ニ在ルコト、存ジマス、此際ニ於テ統一機關ノ設置ヲ促スノハ、最モ時機ヲ得タルモノナリト考ヘマシテ、今日提案ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、尤モ此機關ヲ作ルニ就キマシテハ、漁業權ヲ有シテ居リマスル漁業組合トハ、此組合ヲ普及シ、之ヲ擴張シマシテ、中央ニ統一機關ヲ置キマスルカ、又ハ農會ノ例ニ倣ヒマシテ、別ニ水產會法ヲ設クルカノ二途ニ出ズルノ外ハ無カラウト考ヘテ居リマス、斯様子事ハ當業者ガ自ラ進ンデヤベキ事デゴザイマスルガ、今日ノ實況當業者ニ之ヲ望シテモ、到底得ザルコトガ明カ

デゴザイマス、故ニ政府ハ此機關ヲ設置セシムベク、適當ノ方法ヲ設ケラレントヲ希望スル次第デゴザイマス、幸ニ御賛成ヲ願ヒマス（拍手スル者アリ）

○岩崎勳君 本案ハ曩ニ委員付託トナリタル、西川太治郎君外五名提出ノ水產講習所内ニ淡水科特設ニ關スル建議案ノ委員ニ併セテ付託セラレントヲ希望ミマス

○議長（大岡育造君） 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ナケレバ動議ノ如ク決シマシタ

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ特第一號大正七年度各特別會計歲入歲出總豫算追加案ヲ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレントヲ希望ミマス

○議長（大岡育造君） 議事日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ガナケレバ日程變更ニ決シマシタ——委員長齊藤君

（特第一號）大正七年度各特別會計歲入歲出

豫算追加（委員長報告）

〔齊藤珪次君登壇〕

○齊藤珪次君 特第一號大正七年度各特別會計歲入歲出追加豫算、豫算委員會ニ於ケル經過及結果ヲ御報告致シマス、本案ハ表題ノ元スガ如ク、特別會計デゴザイマシテ、大藏省所管ニ於ケル造幣局、印刷局、專賣局、帝國鐵道、朝鮮總督府、朝鮮醫院及濟生院、臺灣總督府、關東都督府、樺太廳、海軍採炭所、文部省所管帝國大學、

九州帝國大學、農商務省所管製鐵所ノ各歲入歲出ノ追加額デアリマス、其合計ヲ致シマスレバ二千五百七十一萬餘圓ニナリマス、併ナガラ製鐵所及帝國鐵道デ、各一千萬圓近キ金ヲ要スルノデアリマシテ、他ハ總テ小額ノモノデアリマス、而シテ其支出ヲ要スル主タル理由ハ、事業ノ進捗ニ伴フ增加、及物價騰貴ニ基ク經費ノ増加ニ要スルモノデゴザイマシテ、何レモ目下ノ場合、必要缺クベカラガル費用目、又已ムヲ得ザルノ費用目ト存ジマス、殊ニ職工ノ賃銀ノ増加、若クハ官吏ノ手當ノ如キ、是等ハ何レモ七年度ニ要スルモ

ノデゴザイマシテ、即チ本月モ之ヲ以テ支出ヲ致サナケレバナラヌ急ニ迫テ居ルモノトノ事デゴザイマス、故ニ是等ノ事情ニ照シ、委員會ハ各委員ヨリ質問等モゴザイマシタガ、結局スルニ何等修正ノ事項ナク、全會一致ヲ以テ本案ヲ決定致シマシタ次第デゴザイマスカラ、此段御報告申シマス（拍手起ル）

○岩崎勳君 本案ハ委員長報告通り可決セラレントヲ希望ミマス

○議長（大岡育造君） 委員長報告通り御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ガナケレバ、本案ハ委員長報告ノ通り決シマシタ、日程第六、國立榮養研究所設立ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、河野徹志君

第六 國立榮養研究所設立ニ關スル建議案

〔河野徹志君外十四名提出〕

國立榮養研究所設立ニ關スル建議

國民生活ノ安定ヲ得セシメムカ爲政府ハ須ラク國立榮養研究所ヲ設立シ大要左ノ項目ニ付研究ヲ爲スヘシ

一食料品ノ化學的分析

一食料品ノ消化吸收試驗

一溫量計ヲ以テスル人體榮養ノ研究

一經濟的榮養法（安價榮養料理）及代用食料品ニ關スル研究

一邦人ノ標準食（保健食）ニ關スル研究

一育兒並療病上ノ榮養ニ關スル研究及調查

一食料品ノ貯藏及運搬ニ關スル研究

附帶事業

一榮養學及料理法ノ講習
一公開常設食料品及之ニ關スル材料ノ展覽
右建議ス

〔河野徹志君登壇〕

〔拍手起ル〕

○河野徹志君 私ハ國立榮養研究所設立ニ關スル建議案ヲ提出致シマシテ、其提出ノ理由ヲ申述ベタイノデゴザイマスガ、御承知ノ通りニ榮養學ト申シマスノハ、比較的新しい學問デゴザイマスが故ニ、之ヲ御説明申上げマスニハ、勢

上學術語ノ専門ニ涉ル術話ヲ用キマスコトハ、避々難い事デアルヤウニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ之ヲ細カニ此議場デ申述ベマスコトハ、賢明ナル諸君ノ御倦怠ヲ招キハシマイカト云フ心配ガゴザイマスガ故ニ、私ハ此所ニハ唯、結論ヲ申ゲテ、其結論ニ對シテ大體ノ説明ヲ申上ゲマシテ、其說明ニ不徹底ナ事モアラウカトハ存ジマスガ、若シ幸ニシテ此議場ノ諸君が此建議案ヲ御採用下サルコトニナリマシテ、委員ニデモ御付託ニナリマスコトガアリマス際ニハ、其際ニ於テ尙ホ詳細ニ申述ベタイト考ヘマス、此點ハ豫メ御宥恕ヲ願ッテ置キマス、其結論ヲ先ニ朗讀ヲ致シマス、第二朝野協力米ノ生產增收ニ努力スルモ遂ニ人口增加及他ノ原因ニ由ル米ノ消費量ヲ補フニ足ラス故ニ米穀ヲ主食トスル我國家ハ永久其自給自足ヲ完フルコト能ハズ是ガ第一ノ結論、第二ノ結論ハ「第一ノ理由ニ依リ食米ヲ節約シ米穀ヲ主食トスル習慣ヲ打破シ米ニ混スルニ他ノ穀類及副食物ノ種類ヲ増加セル新シキ獻立ヲ作り我國民ニ必適スヘキ標準食卽チ保健食ヲ定ムルコトハ目下ノ急務ナリ」是ガ第二ノ結論、第二ノ結論ハ「標準食ハ現今進歩セル榮養學上ノ調査研究ヲ基礎トシ衛生ニ合ヒ經濟的ニシテ國民ノ嗜好ニ適シ且ツ其生產額豊富ニシテ一般國民ノ普遍的ニ食用シ得ヘキ各種食糧品ノ混成ヨリ成ラサルヘカラス」第四ノ結論ハ「確固タル學術上ノ基礎ヲ有スル標準食ハ最モ文明的ニシテ數千年來米ヲ主食トセル國民習慣上ノ信念ヲ打破スヘキ唯一ノ武器ナリ故ニ榮養學上ノ研究調査ハ目下緊急解決ヲ要スル食糧政策上ノ第一要義ナリ」是ダケガ結論デゴザイマス、第一ノ結論ニ就キマシテハ、第四十議會及本議會ニ於キマシテモ、政府當局者ハ勿論、賢明ナル議員諸君が討議ニ討議ヲ重ネラレマシテ、茲ニ私が辯ヲ弄シテ之ヲ論ズルノ必要ハナイト信ジマス、唯、此第一ノ結論ハ私ノ建議ヲ致シマシタル所ノ根本ノ原因デアリマス為メニ、一事諸君ニ御記憶ヲ願ヒタイト信ジマス、其事ハ米ノ產額ニ於キマシテ、今年ノ如キ平年作ニ於キマシテモ、當局者タル農商務大臣ノ御辯明ニ依リマスレバ、約五六百万石ノ外米ヲ輸入シナケレバ、食糧ノ不足ヲ訴ヘルト云フコトデゴザイマス、我國ノ米作ノ歴史ニ依リマスレバ、三十年若クハ五十年ニハ、必ず凶作ガアルト云フコトデゴザイマス、此凶作ノ際ニハ少クトモ一千万、或ハソレ以上ノ外米ヲ輸入シナケレバ、我食糧ハ不足ヲ告ゲルデアラウト信ズル、又一朝外國ガ武力ニ依リ、或ハ此頃唱ヘラレテ居リマ

ス所ノ所謂經濟聯盟ニ依リマシテ、米ノ輸出ヲ禁ズルト云
フヤウナ場合ガアリマシタナラバ、第一ノ場合ニ於テハ、我國
ノ正貨準備ノ基礎ヲ成ス所ノ正貨ノ巨額ノ流出ヲ促シ、
第二ノ例ニ於テハ、國民ガ常ニ飢餓ニ陥ルト云フヤウナ、非
常ニ寒心スベキ事實ヲ生ズルト云フコトガ、諸君カ既ニ十
分御認ニナシテ居ルコト、存ジマス、唯、曩ニ申上ゲマスヤウ
ニ、私ハ此點ヲ御記憶ニ留メラレンコトヲ望ムノデアリマス、
ソレカラ第一カラ第四ハ一括シテ申上ダタイト思ヒマス、國
家經濟ノ上カラ正貨ノ流出ヲ防ギ、又食糧政策ノ上カラ
米ノ消費ヲ節約スルト云フコトハ、是ハ何人モ異議ガ無イ、
又何人モ議論ノ無イコトデアリマシテ、今日朝野ノ憂國ノ
士ガ、此節約方法ニ就テ種々ノ良案名策ヲ唱ヘラレテ居ル
ノデアリマス、其例ハ或ハ半搗米論トナリ、或ハ玄米食論ト
ナリ、或ハ麥飯獎勵論トナルト云フ如キ種々ノ方法ガ憂國
ノ士ニ依リテ絶叫サレマシテ、成ベク國民一般ガ是等ノ提議
ニ就キマシテ穀物ノ節約ヲ爲シ、穀物即チ米ノ節約ヲ爲ス
ト云フコトヲ希望スルト云フコトハ、吾々モ同感デアルノデゴ
ザイマス、併ナガラ此數千年來歴史的ニ慣習致シテ來タ所
ノ米、或ハ白米ノ食料、又其口舌ニ駆レマシタ所ノ米食ヲ、
斯ノ如キ絶叫ノミニ依リテ其習慣ヲ打破スルコトハ、甚ダ困
難ナ事デハアルマイカト私ハ信ズルノデザイマス、國民ニ向
ヒマシテ、單ニ米ノ食用ヲ節セヨ、副食物ヲ多ク增加シテ、
斯ノ食スルコトヲ節セヨ、又雜穀ヲ食セヨ、外米ヲ食セヨ、斯
ノ如ク叫ンデ見マシテモ、國民ハ之ニ對シテ必シモ信任ヲセ
ナイト思フノデアリマス、其所以如何ト申シマスレバ、國民ガ
數千年歴史上ノ習慣ニ依リ、又父祖カラ傳々タ所ノ經驗ニ
依リマシテ、雜穀ノ如キ物ヲ食シタナラバ、其健康ヲ害スル
ト云フコトハ自然ニ知リテ居ル、又サウ云フモノハ不味イ、即
チ嗜好ニ適シナイコトヲ知リテ居ル、而シテ副食物ノ如キハ、
我國ノ古來ノ習慣上寧ロ不經濟ナル物ガ多イノデアル、故
ニ國民ノ一部ノ頭ニハ、所謂副食物ナルモノハ、恰モ贅澤
云フコトハ、私共カラ考ヘラレテ居ル傾モアルダラウト存ジマ
ト考ヘル、然ラバ此米ヲ節約スルト云フコトハ到底不可能
デアルカ、斯様ニ考ヘテ見マスレバ、是ハ必シモ不可能ノ事
デハナイト私ハ信ズルノデアリマス、其理由ハ、若シ茲ニ我
國內ニ產シマス所ノ各種ノ食料品ニ就テ、其精細ナル學術

的検査ヲ施シ、サウシテ新シイ獻立ヲ作リ、新シイ調理法
ヲ施シマシテ、サウシテ新調理法ヲ施シタ所ノ新獻立ニ依
ル食物ハ、決シテ國民ノ健康ヲ害スルモノデナイ、又不味イ
モノデナイ、即チ嗜好ニ適スル、又不經濟ノモノデナイ、斯ウ
ソレカラ第二カラ第四ハ一括シテ申上ダタイト思ヒマス、國
家經濟ノ上カラ正貨ノ流出ヲ防ギ、又食糧政策ノ上カラ
米ノ消費ヲ節約スルト云フコトハ、是ハ何人モ異議ガ無イ、
又何人モ議論ノ無イコトデアリマシテ、今日朝野ノ憂國ノ
士ガ、此節約方法ニ就テ種々ノ良案名策ヲ唱ヘラレテ居ル
ノデアリマス、其例ハ或ハ半搗米論トナリ、或ハ玄米食論ト
ナリ、或ハ麥飯獎勵論トナルト云フ如キ種々ノ方法ガ憂國
ノ士ニ依リテ絶叫サレマシテ、成ベク國民一般ガ是等ノ提議
ニ就キマシテ穀物ノ節約ヲ爲シ、穀物即チ米ノ節約ヲ爲ス
ト云フコトヲ希望スルト云フコトハ、吾々モ同感デアルノデゴ
ザイマス、併ナガラ此數千年來歴史的ニ慣習致シテ來タ所
ノ米、或ハ白米ノ食料、又其口舌ニ駆レマシタ所ノ米食ヲ、
斯ノ如キ絶叫ノミニ依リテ其習慣ヲ打破スルコトハ、甚ダ困
難ナ事デハアルマイカト私ハ信ズルノデザイマス、國民ニ向
ヒマシテ、單ニ米ノ食用ヲ節セヨ、副食物ヲ多ク增加シテ、
斯ノ食スルコトヲ節セヨ、又雜穀ヲ食セヨ、外米ヲ食セヨ、斯
ノ如ク叫ンデ見マシテモ、國民ハ之ニ對シテ必シモ信任ヲセ
ナイト思フノデアリマス、其所以如何ト申シマスレバ、國民ガ
數千年歴史上ノ習慣ニ依リ、又父祖カラ傳々タ所ノ經驗ニ
依リマシテ、雜穀ノ如キ物ヲ食シタナラバ、其健康ヲ害スル
ト云フコトハ自然ニ知リテ居ル、又サウ云フモノハ不味イ、即
チ嗜好ニ適シナイコトヲ知リテ居ル、而シテ副食物ノ如キハ、
我國ノ古來ノ習慣上寧ロ不經濟ナル物ガ多イノデアル、故
ニ國民ノ一部ノ頭ニハ、所謂副食物ナルモノハ、恰モ贅澤
云フコトハ、私共カラ考ヘラレテ居ル傾モアルダラウト存ジマ
ト考ヘル、然ラバ此米ヲ節約スルト云フコトハ到底不可能
デアルカ、斯様ニ考ヘテ見マスレバ、是ハ必シモ不可能ノ事
デハナイト私ハ信ズルノデアリマス、其理由ハ、若シ茲ニ我
國內ニ產シマス所ノ各種ノ食料品ニ就テ、其精細ナル學術

ヲ施シマシテ、サウシテ國民ノ食糧トシテ顧ミラレナイト物ガ多々アル
ト信ズル、是ハ所謂食糧經濟ノ上カラ見マシテ、寔ニ遺憾
モノデナイ、即チ嗜好ニ適スル、又不經濟ノモノデナイ、斯ウ
云フヤウナ事ヲ學問ノ上カラ研究致シテ、國民ニ提議ヲ致
シタナラバ、私共ハ今日ノ理智アル國民一般ハ、必ズ之ニ
モノデナイ、即チ嗜好ニ適スル、又不經濟ノモノデナイ、斯ウ
耳ヲ傾ケルデアラウ、之ニ共鳴スルデアラウ、此提言ヲ歡迎
スルデアラウト信ズルノデアリマス、之ニ就キマシテハ極メテ
手近イ例ガアリマス、諸君、此維新前ニ於ケル所ノ我食物
ノ獻立ハ、今日ニ於ケル所ノ食物ノ獻立トヲ御比較ニナリ
マスレバ、直グニ此疑點ハ諒解スルト有ジマス維新前ニ於
ケル所ノ牛肉ニ對スル國民ノ感想ハ如何デゴザイマシタカ、斯ノ如ク
又今日新聞ニ傳フル所ニ依リマスレバ、一斤ニ圓五十錢
ニ值スル所ノ彼ノ鮪ニ對スル國民ノ觀念ハ如何デゴザイ
マシタカ、又牛乳ニ對シテハ如何デゴザイマシタカ、斯ノ如ク
算ヘ來レバ、其食品が例ヘハ新シイ物ニモセヨ、或ハ新シク
調べラレタ物ニモセヨ、其提言セラレタコトガ合理的デアラ
サウシテ國民ノ嗜好ニ適スル物デアルナラバ、國民ハ決シテ斯
ノ如キ提言ニ從フト云フコトヲ躊躇スルモノデナイト私ハ信
ズル、又一方ノ例ヲ考ヘテ見マスト、御承知ノ通リ米ノ榮
養ノ價値ヲ考ヘマスト、若シ米ノミヲ單純ニ食シテ居リマシ
タ場合ニハ、毎日精米六合ヲ要スル、然ルニ此米ノ六合ノ
中ニ存スル所ノ榮養價値ヲ他ノ物ト較ベマスレバ、是ハ僅
ニ乾鍊二本ニシカ值シナカ、米ノ六合ヲ毎日食シタナラバ、
吾ニノ健康ヲ害スルト云フコトハ分り切タ話デ、又此乾鍊
ナル物ノ營養價値ヲ牛肉ニ較ベタラドウデアルカ、牛肉ニ較
ベタナラ殆ド牛肉ノ五十目ニ相當スル、斯ノ如クニシテ若シ
此乾鍊ナル物ガ、果シテ能ク消化サレル物デアリ、能ク之ヲ
調理致シマシタナラ、風味ヲ佳クシテ、國民ノ食膳ニ上リ得
ベキ物デアリトスルナラバ、國民ハ此點ニ向シテ、決シテ之ヲ
以テ不經濟ナリトシ、之ヲ以テ健康ニ害アリトシ、之ヲ以テ
嗜好ニ適シナイト云フコトハ、言フマイト思フノデアリマス
（ヒヤ～）ト呼フ者アリ尙ホ之ニ附帶致シマシテハ、當業者
産業ノ事ノ話ガアリマシタガ、我ガ水產ノ主ナル物ハ、其收
獲高ニ於テハ鯨ト鮭デアリマス、此ニシノ物ガ我國民ノ食膳
ニ上ルト云フモノハ甚ダ少ナニ、鯨ニ於キマシテハ、當業者
ノ話ニ依リマスト海外へ輸出スル物ノ總テヲ合シテ約二割
シカ食料ニナラヌ、而モ是等ノ物ハ、其榮養價ニ於テ牛肉ノデ
ニ劣ラズ、鯛ノ身ニ劣ラズ、又鮪ニ劣ラヌノデアリマス、サウ云
ニ劣ラズ、鯛ノ身ニ劣ラズ、又鮪ニ劣ラヌノデアリマス、サウ云

理學上ノ三ツノ要素ヲ含ンデ居ル所ノ物ヲ適當ニ按排ヲ致シマシテモ、身體ニ吸收サル、ニ當テハ、其要素ノ中デ役ニ立タヌ物ガ出來ルノデアリマス、此役ニ立ツ役ニ立タナイト云フコトヲ細カニ研究ヲ致シテ、サウシテ此研究シタ所ノ成績ニ依テ、更ニ新シイ獻立ヲ組立テ、新シイ調理法ヲ施シテ、サウシテ健康ニ適スルヤウニスルノガ即チ此榮養學上ノ研究ノ目的デアルノデゴザイマス、之ヲ爲シマシテ、身體中ニ於テ幾何ノ「エネルギー」ヲ發スルカ、即チ生活力ヲ發揮スルカト云フコトヲ實驗上ニ検査ヲ致シマシテ、始メテ其榮養價ノ全部ガ分ルノデアリマス、斯ノ如キ食物ヲ指シテ、保健食料或ハ標準食ト唱ヘル物ハ、國民一般ノ食生活ノ標準食或ハ保健食ト唱ヘル物ハ、國民一般ノ食料ニナルヤウニ組立テナケレバナラヌノデアリマスルカラ、唯今要件ノ外ニ尚ホ其嗜好ニ適スル事、經濟的ナル事、其產額ノ豐富ナル事ヲ要スルコトハ勿論デゴザイマス、保健食料ノ選定ヲ致シ、是ガ調査研究ヲ致シマスルコトハ、國民ノ食料政策上、又保健衛生ノ上カラ考ヘマシテモ、國家ノ根柢ヲ成スモノデアルガ爲メニ、歐米ニ於ケル先進諸國ニ於キマシテハ、夙ニ營養學上ノ研究ノ見地カラ、今マテ存在シテ居ル所ノ食物ヲ改良スルコトハ、勿論新シイ食物ノ選擇、之ニ依テ生ズル所ノ新シイ保健食料ノ研究、是等ノ研究ヲ始終怠ラズニ續ケテ居ルノデアリマス、一例ヲ申上ダマスルト、例へバ華盛頓ニ於ケル中央試驗所、又「エール」大學ニ於ケル營養研究所、「カーネギー」研究所ニ於ケル研究室、劍橋ノ研究室、「ニューヘン」ニ於ケル研究室、「ウキン」大學ニ於ケル研究室、皆ナ國民ノ爲メニ此食品ノ改良、食品ノ選擇其他ニ就テ銳意研究ヲ續ケテ、其研究シタ所ノ結果ヲ國民ニ報告シテ、國民ノ共鳴ヲ得テ、食料品ニ改良進歩ヲ施シシ、アルノアリマス、如何ニ文明諸國ガ此食料品ニ就テ學術上ノ基礎ヲ應用シテ居ルクト云フコトハ、今回ノ歐洲ノ戰役ニ於キマシテ、榮養學ノ最も泰斗トシテ崇敬サレル所ノ、彼ノ「エール」大學ニ於ケル「チテンデン」ト云フ人ヲ聯合軍ノ軍需主官ニ任命シタル如キモ、即チ各國ノ政府ハ亞米利加ニ於キマシテモ、皆ナ之ヲ實施スル所ノ基礎ニト思ヒマス、又彼ノ戰時「パン」或ハ食料制限ノ事、皆ナ是等ノ研究所ニ於ケル成績ヲ以テ基礎トシテ、歐洲列國若ク

ツノ是等ノ研究ニ關スル所ノ機關モ無ク、設備モ無イ、若シ我帝國ニ於テ食料ノ調査ヲスル新シイ獻立ヲ作ルト云フコトヲ企テマシタナラバ、唯、古キ化學ノ分析表ニ依リマスル所ノ、內務省ノ衛生試驗所ノ分析表ヲ基礎トスルノミデアリマス、斯ノ如キ有様デアリマスカラ、我國ニ於キマシテ、若シ此保健食料、又ハ一朝事變ニ際シマシテ、食料ノ制限令ヲ施カウト云フヤウナ場合ガ出來マシタ時分ニハ、白米何合ヲ大人一人ニ給シタナラバ、其最低限ノ分量ハ幾ラデアルカト云フコトサヘモマダ不明デアリマス、茲ニ一例トシテ此研究ガ殆ド出來テ居ナイト云フコトヲ申上げテ見タイト思ス、ソレハ國民ガ唯今主食ト致シ、又唯一ノ生活上ノ資料ト致シマスル所ノ米デアリマス、此米ニ於キマシテ化學ノ分析ハ既ニ成リソレカラシテ又之ガ消化ヲサレル割合モ分ッテ居リマス、分シテ居リマスカ、是ガ身體中ニ八リマシテ、血液ノ中ニ八リマシテ、是ガ幾何ノ生活力ヲ發揮スルカ、即チ生活ノドレダケノ補助ヲスルト云フ事ハ、マダ實驗上誰モ證明シタ人ハ無イノデアリマス、邦人ノ身體、即チ日本人ノ身體ニ就テ、何人モ證明シタ人ガ無イノデアリマス、何ガ故ニ證明ヲシナイカ、斯ウ申シマスルト、此建議案ノ研究條項ノ第三項ニ舉ゲマシタ溫量計ヲ以テ活力ヲ計ルト云フ設備ガ、我日本國ニ於キマシテハ、殘念ナガラマタ無イノデアリマス、此結論カラ言ヒマスルト、彼ノ玄米若クハ半搗米、若クハ麥飯、是等ノ物ガ化學的ノ分析ノ上ニ於テハ、白米ニ優ルコトガ萬々デアルノデアリマスカ、是ガ身體中ニ八リマシテ真正ノ活力ヲ發スル段ニナリマシタナラバ、即チ最後ノ場合ニ於キマシテ、果シテ白米ガ玄米ニ劣ルカ、又麥飯ニ劣ルカト云フコトハ、マダ未知數デゴザイマスソレ故ニ先日此席上ニ於キマシテ荒川代議士ガ、白米ガ玄米ノ去勢シタル物デアルト云フ御説明ガアリマシタガ、其去勢ト云フ事ニ就テハ、マダ學問上ノ證明ハゴザイマセヌ、斯ノ如クデアリマスルカ、我食料品ノ真正ノ學術上ノ研究ハ米ニ就テ、サヘモ無イ、斯ウ云フヤウナ憫レナル有様、遺憾ナル有様デアルノデアリマス「ヒヤー」ト呼フ者アリデ斯ノ如ク研究ノ不足ナル時ニ當リマシテ、國民ニ向ヒマシテ、米ヲ節セヨ、雜穀ヲ食セヨ、他ノ食品ヲ以テ之ニ代ヘヨト云フヤウナ、學問上ノ根據ナキ提言ヲ爲シテ、國民ガ果シテ之ヲ用キ、之ニ共鳴

ナラバ、我帝國ニハ是等ノ研究ヲ爲ス所ノ能力、又ソレヲ有スル所ノ學者無ク、又學者ハ有シテモ其研究ヲ等閑ニシテ居ル、即チ熱心ナイト云フ所ノ疑問ハ、必ズ何人モ起ルコトデアラウト信ズル、然レドモ是ハ我國ニ於テ之ヲ研究スリマス、斯ノ如キ有様デアリマスカラ、我國ニ於キマシテ、若シ此保健食料、又ハ一朝事變ニ際シマシテ、食料ノ制限令ヲ施カウト云フヤウナ場合ガ出來マシタ時分ニハ、白米何合ヲ大人一人ニ給シタナラバ、其最低限ノ分量ハ幾ラデアルカト云フコトサヘモマダ不明デアリマス、茲ニ一例トシテ此研究ガ殆ド出來テ居ナイト云フコトヲ申上げテ見タイト思ス、ソレハ國民ガ唯今主食ト致シ、又唯一ノ生活上ノ資料ト致シマスル所ノ米デアリマス、此米ニ於キマシテ化學ノ分析ハ既ニ成リソレカラシテ又之ガ消化ヲサレル割合モ分ッテ居リマス、分シテ居リマスカ、是ガ身體中ニ八リマシテ、血液ノ中ニ八リマシテ、是ガ幾何ノ生活力ヲ發揮スルカ、即チ生活ノドレダケノ補助ヲスルト云フ事ハ、マダ實驗上誰モ證明シタ人ハ無イノデアリマス、邦人ノ身體、即チ日本人ノ身體ニ就テ、何人モ證明シタ人ガ無イノデアリマス、何ガ故ニ證明ヲシナイカ、斯ウ申シマスルト、此建議案ノ研究條項ノ第三項ニ舉ゲマシタ溫量計ヲ以テ活力ヲ計ルト云フ設備ガ、我日本國ニ於キマシテハ、殘念ナガラマタ無イノデアリマス、此結論カラ言ヒマスルト、彼ノ玄米若クハ半搗米、若クハ麥飯、是等ノ物ガ化學的ノ分析ノ上ニ於テハ、白米ニ優ルコトガ萬々デアルノデアリマスカ、是ガ身體中ニ八リマシテ真正ノ活力ヲ發スル段ニナリマシタナラバ、即チ最後ノ場合ニ於キマシテ、果シテ白米ガ玄米ニ劣ルカ、又麥飯ニ劣ルカト云フコトハ、マダ未知數デゴザイマスソレ故ニ先日此席上ニ於キマシテ荒川代議士ガ、白米ガ玄米ノ去勢シタル物デアルト云フ御説明ガアリマシタガ、其去勢ト云フ事ニ就テハ、マダ學問上ノ證明ハゴザイマセヌ、斯ノ如クデアリマスルカ、我食料品ノ真正ノ學術上ノ研究ハ米ニ就テ、サヘモ無イ、斯ウ云フヤウナ憫レナル有様、遺憾ナル有様デアルノデアリマス「ヒヤー」ト呼フ者アリデ斯ノ如ク研究ノ不足ナル時ニ當リマシテ、國民ニ向ヒマシテ、米ヲ節セヨ、雜穀ヲ食セヨ、他ノ食品ヲ以テ之ニ代ヘヨト云フヤウナ、學問上ノ根據ナキ提言ヲ爲シテ、國民ガ果シテ之ヲ用キ、之ニ共鳴

○議長(大岡育造君) 静肅ニ願ヒマス

○河野徹志君 内務省ニ於ケル保健衛生調査會カラ、當局大臣ニ向シテ此趣意ノ建議書ヲ出サレタト云フコトデアル、當局者モ多分此研究所ノ設立ガ、必要デアル緊要デアルト云フコトヲ御認ニシテ居ルコト、信ズルノデアリマス、ソレ故ニ賢明ナル滿場ノ諸君モ、冀クバ此案ヲ御贊成下サレシコトヲ御願致シマス(拍手起立)

○岩崎動君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌ名、九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ

○岩崎勲君　此場合議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ大正七年勅令第三百七十三號ノ承諾ヲ求ムル件、穀類收用令承諾ヲ求ムル件、大麥、小麥及小米粉ノ輸入稅減免ニ關スル法律案第一讀會ノ續、大正七年法律第三十七號中改正法律案第一讀會ノ續ヲ一括シテ議題トシ、委員長ノ報告ヲ求メ、且ソ其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（大岡育造君）　岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ下呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君）　御異議ナケレバ以上列擧セラレタル諸問題ヲ一括シテ議題ト致シ、委員長ノ報告ヲ求メマス
鶴澤總明君

大正七年勅令第三百七十三號（承諾ヲ求ムル件）（委員長報告）

大正七年勅令第三百二十四號穀類收用令（承諾ヲ求ムル件）（委員長報告）

第一讀會ノ續（委員長報告）（確定議）
大正七年法律第三十七號中改正法律案（漆昌巖君外一名提出）

（法學博士鶴澤總明君登壇）

〔拍手起ル〕

○法學博士鶴澤總明君　大正七年勅令三百七十三號、米及籼ノ輸入稅ノ低減又ハ免除ニ關スル件、此勅令ノ承諾ヲ求メル件、ソレカラ大正七年勅令第三百二十四號、穀類收用令ノ承諾ヲ求ムル件、大麥、小麥及小米粉ノ輸入稅減免ニ關スル法律案、大正七年法律第三十七號中改正法律案、此案ノ委員會ニ於ケル報告ヲ致シマス、委員會ハ數回開キマシテ、政府ノ説明、委員諸君ノ質問及ビ政府トノ應答等ガアリマシテ、大體ニ於テ最モ問題トナリマシタノハ穀類收用令デアリマス、ソレデ大正七年勅令第三百七十三號及他ノ法律案二件ニ就キマシテハ、非常ニ簡略ナ質問應答ニ依テ質問ヲ終了シタノデアリマス先づ此大正七年勅令第三百七十三號中改正法律案、此案ノ委員會ニ於ケル報告ヲ致シマス、委員會ニ就キマシテ、政府ノ意圖ヲ致シマシテハ、小麥ト小麦粉ノ輸入ニ付キマシテハ、成ベク小麥ヲ多クスルコトニシ、小麥粉ニ就キマシテハ、成ベク内地ノ製粉業者ニ壓迫ヲ加ヘナシテハ、此勅令ヲ果シテ政府ニ於テ實際ニ適用シタモノデトガ相當アラウト云フヤウナ、サウ云フ答辯ガアリマシテ、ソレカラ尚ホ此勅令ニ就キマシテハ、法律上ノ問題ト致シテハ、此勅令ヲ果シテ政府ニ於テ實際ニ適用シタモノデアルカドウカト云フ質問ガアリマシテ、政府ハ此勅令ハ出ダガ、此勅令第三百七十三號ハ「政府ハ當分ノ内勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米及籼ノ輸入稅ヲ低減又ハ免除スルコト以

テ得」斯ウ云フ勅令ノ本文デアリマス、之ヲ提出スルノ理由及説明等ハ、既ニ本會議ニ於テ當局ヨリ盡チレテ居リマス、委員會ニ於キマシテモ、此點ニ付キマシテハ別ニ深イ質問答等ハ無クタ次第アリマス、ソレカラ次ニ穀類收用令デアリマスガ、此穀類收用令ニ就キマシテハ、是ハ少シク詳シ御報告ヲ致シタイト思ヒマスガ、此穀類收用令ハ大正七年勅令第三百二十四號トシテ公布セラレタノデアリマシテ、其第一條ハ「農商務大臣ハ國民ノ生活上緊要ナル場合ニ於テハ補償金額ヲ定メ米雜穀ヲ收用シ又ハ其ノ指定シタル者ヲシテ之ヲ收用セシムルコトヲ得」是ガ第一條ニアリマス、ソレカラ第二條ガ「前條ノ規定ニ依リ收用シ又ハ收用セシメタル米雜穀ハ農商務大臣價格ヲ定メシ賣却シ又ハ賣却セシムルコトヲ得農商務大臣ノ買入又ハ買入レシメタルモノニ付亦同ジ」斯ウ云フノデアリマシテ、是ト共ニ農商務省令ノ第三十二號ニ依リマシテ、穀類收用令施行規則ト云フモノガ出テ居ルノデアリマス、テ此施行規則ノ第一條ニ於キマシテ「穀類收用令ニ依ル收用ハ收用セムトスル米雜穀ノ占有者又ハ所有者ニ收用決定書ヲ交付シタル時ニ其ノ效力ヲ生ス」斯ウ云フコトニ致シマシテ、收用ノ實際ノ運用ヲ圖ア居ルノデアリマス、ソレカラ是ト同時ニ大正七年ノ農商務省告示第二百七十一號ニ依リマシテ、其第一ニ「麥類收用令第一條ノ規定ニ依ル補償金額ハ東京又ハ大阪ノ正米市場ニ於ケル中米ニ付左ノ如ク定ム」、大正七年九月五日ヨリ九月二十日迄一石ニ付金三十三圓以内、二、同年九月二十日以後追テ改定ヘル迄一石ニ付金三十圓以内、斯ウ云フ農商務省告示ガ出テ居リマス、ソレデ之ニ就キマシテ質問ガ起シテアリマス、先づ此三十圓又ハ三十三圓ト云フヤウニ、補償價額ヲ定期メタト云フ事ニ就テノ數字上ノ根據ハ、如何ナルモノニアラウカト云フヤウナ事ニ就キマシテ、委員ノ中カラ質問ガ起リマシテ、之ニ對シマシテ政府ハ、數字上ノ根據ト云フ確定的ノ説明ハ出來ナイケレドモ、國民ノ生活狀態、農民ノ經濟狀態、或ハ此生活上ノ不安定ヲ來サムル程度ニ於テ見地ニ於テ充實スルヤウナ方法ヲ執ル積リデアリ、又其見込ハ大體アル積リデアルガ、併ナカラ安心ハ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ應答ガアリマシタ、段々詳シイ應答モゴザイマシタガ其詳細ニ就キマシテハ、委員會ノ速記録ニ譲リマシテ、大體特別ノ點ダケノ御報告ニ止メテ置キタイト思フノデアリマス、ソレカラ大麥小麥及小麦粉ノ輸入稅減免ニ關スル法律案ニ就キマシテ、政府ノ意圖ヲ致シマシテハ、小麦ト小麦粉ノ輸入ニ付キマシテハ、成ベク小麦ヲ多クスルコトニシ、小麦粉ニ就キマシテハ、成ベク内地ノ製粉業者ニ壓迫ヲ加ヘナシテハ、此勅令ヲ果シテ政府ニ於テ實際ニ適用シタモノデアルカドウカト云フ質問ガアリマシテ、政府ハ此勅令ハ出ダガ、此勅令ヲ果シテ政府ニ於テ實際ニ適用シタモノデアルカドウカト云フ質問ガアリマシテ、政府ハ此勅令ハ出ダガ、此勅令第三百七十三號ハ「政府ハ當分ノ内勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米及籼ノ輸入稅ヲ低減又ハ免除スルコト以

生産者ニ於テ得セシメルト云フ意味アハアリマセヌケレドモ、

トシテ發布セラレタノハ、不當デアルト云フ意見ヲ以テ反對致スニアリマス。

需給ノ關係物價ノ高低ノアルコトハ争ハレナイ、而モ高カルベキ時ニ於テ生産費以内ニ於テ米ヲ賣レト云フコトハ、實ニ無法ト言ハナケレバナラスト思フ、是ガ即チ私が收用法ヲ置クベカラザルモノト思ヒ、寧口是ハ實刀デナクシテ、或ハ拳銃デハナカラウカト思フノデアリマス、是ガ第一ノ理由、第三ニ至リマシテハ、此收用令ト云フモノハ、頗ル不備ナモノト吾ミハ信スルノデアリマス、收用ノ場合ニ於テハ、或條件ヲドウシテモナケレバナラナイ、例ヘバ土地ニ致シマスナラバ、鐵道ノ敷地ニナル、公共ノ道路ノ敷地ニナル、或ハ公共ノ建物ガアツテ其一部ヲ擴張スル、或ハ公共ノ事業ニ買收スベキ所ノ土地ニ就テ、殆ド全部ガ承知シテ、一ノ者ガ是ニ對シテ不服ヲ唱ヘルト云フ場合ハ、其場所ニ限テ指定サレテアルノデアリマシテ、是ニ對シテ收用令ヲ適用スルコトハ無論已ムヲ得ヌノデアル、此穀類ノ如キ、殊ニ米ノ如キ物ハ、生産スル地方ニ依テ多少ノ差ハアルケレドモ、大體ニ於テ曰本人ノ食料品デ、之ヲ甲ガ持チ乙ガ持チ丙ガ持チマスルコトニ對シテ格別ノ差ハナイ、又是ナケレバナラスト云フ必要條件ハナイノデアル、誰ノヲ取テモ宜シイノデアル、誰ニ指定商人ヲシテ收用サセルト云フコト杯ニナリマシタナラバ、如何ニシテ之ヲスルコトガ出來マスカ、各自ノ持米ヲ彼ハ一千、彼ハ五百、彼ハ百、一々調べテ之ヲ按分シテ收用スルコトガ出來レバ、結構デアル、不公平ハナインデアル、併シ斯ノ始キ事ハ事實ニ於テ迎モ出來ナイ事デアリマス、或ハ甲ナリ乙ナリ丙ナリ丁ナリト云フモノガ、ソコニ目ヲ著ケラレテ、オ前ノ米ヲ收用スルゾヨト言ハナケレバナラヌコトニナル、サウスルト其被收用者ノ不幸ト云フモノハ如何デアリマセウ、實ニ迷惑千萬ノ話ト言ハナケレバナラヌノデアリマス、又同法ノ第四條ニ、此收用ニ應ジナイ者ハ相當ナ處分ヲスル、隨分嚴罰ニ處セラレルコトニナツテ居ルノデアリマス、成程收用ニ應ジナイ所ノ者ニ對シテハ、法律デ相当ノ處分ガ出來マセウガ、此品物ニ就テ之ヲ取ルト云フコトハ非常ニ困難デアル、殊ニ收用ノ場合ニ於テ、商人ガ行シテ其所有者が拒ム場合デアダナラバ、必ス其附近ノ者モ是ニ同情シテ居ル、其場合ニ於テ商人ガ無理ニシレヲ引取ルト云フコトハ、事實ニ於テ迎モ出來ナイ、或ハ斯ウ云フ場合ニ於テ、警察權モ用半ナケレバナラスト云フヤウナ非常ナ困難が出來、場合ニ依テハ兵隊ヲ出サナケレバナラスト云フヤウナコトモ出來ハシマイカト思フ、マダ其外ニモ少々申上ゲル理由モアリマスカ、大體ニ於テ此法ガ不備デアルト云フコトハ、吾ミハ認メテ居ルノデアリマス、此三點ニ於テ吾ミハ此收用令ト云フモノハ存置スヘカラズ、又緊急勅令

○議長(大岡育造君) 是ヨリ通告順ニ從テ討論ヲ許可致シマス——熊谷直太君

〔熊谷直太君登壇〕

〔拍手起立〕

○熊谷直太君 唯今議題ニナシテ居リマスル穀類收用令ニ對シマシテハ、委員長ノ報告ニ贊意ヲ表シマシテ、遺憾ナガラ井原君ノ論ニハ不賛成ナ者デアリマス、穀類收用令ハ、其命令ガ市ス通りデアリマシテ、國民ノ生活上緊急ニシテ已ムベカラザル場合ニ於テ、必要アル所ノ法規デアリマス、諸君、御承知ノ如ク昨年ノ八月下旬頃ニ於テハ、帝國ノ臣民が食糧問題ニ關シマシテ、如何ナル狀態ニ在リシカト云人心怖々、米穀ノ價格ト云フモノガ段々ト暴騰ヲ示シテ居トハ、是ハ萬已ムヲ得ザル策ニ出タルモノト思料セラレ、方リマシテ、穀物收用令ヲ布キマシテ萬一二備フルト云フコトヲ回顧スレバ、思半ニ過グルモノデアリマス、即チ當時ノアリマス、幸ニモ當時ハ勅令第九十二號ノ行政ノ運用ニ依リマシテ、僅ニ此法令ヲ適用スルコトガ出來ナカタノハ、吾ミ大ニ今日ニ於テ諸君ト共ニ祝福スル所デアリマス、現内閣ニ於キマシテモ此食糧問題——最モ我國民ニ直接ニシテ且ツ重大ナル所ノ食糧問題ニ關シマシテハ、深甚ナル所ノ注意ヲ拂ヒマシテ、茲ニ議題トナツテ居リマスル所ノ勅令三百七十三號ノ如キ、即チ外米ヲ圓滑ニ輸入スル所ノ法令ノ如キ、又大麥、小麥及小麦粉ニ關スル法令ノ如キ、外米ヲシテ圓滑ニ内地ニ輸入スル所ノ方法ヲ執ニ居ラレマス、現ニ昨年十一月十二日、並ニ本年正月ニ於ケル外米ノ輸入高ハ、臺灣朝鮮米ヲ除キマシテ、實ニ百七十四万八千石ノ多キニ上ツテ居ルノアリマス、近來稀ナル所ノ輸入アリマス、成程收用ニ應ジナイ所ノ者ニ對シテハ、法律デ相当ノ處分ガ出來マセウガ、此品物ニ就テ之ヲ取ルト云フコトハ非常ニ困難デアル、殊ニ收用ノ場合ニ於テ、商人ガ行シテ其所有者が拒ム場合デアダナラバ、必ス其附近ノ者モ是ニ同情シテ居ル、其場合ニ於テ商人ガ無理ニシレヲ引取ルト云フコトハ、事實ニ於テ迎モ出來ナイ、或ハ斯ウ云フ場合ニ於テ、警察權モ用半ナケレバナラスト云フヤウナ非常ナ困難が出來、場合ニ依テハ兵隊ヲ出サナケレバナラスト云フヤウナコトモ出來ハシマイカト思フ、マダ其外ニモ少々申上ゲル理由モアリマスカ、大體ニ於テ此法ガ不備デアルト云フコトハ、吾ミハ認メテ居ルノデアリマス、此三點ニ於テ吾ミハ此收用令ト云フモノハ存置スヘカラズ、又緊急勅令

高値ヲ示シテ居ル、又平和克復ノ曉ニ於キマシテハ、其經濟狀態ハ如何ナル波瀾怒濤ノ波及スルヤモ圖リ難キ今日デアル、此時此際ニ於テ姑ク此法ヲ存置シ、經濟狀態ノ推移ヲ見ルト云フコトハ、吾ミノ當然履ムベキ道ニアラウト思料スルノデアリマス、況ヤ諸君御承知ノ如ク、法案ノ一旦發セラレタル以上ハ、其發セシ所ノ原因ト云フモノガ全ク消滅スルニ非ズンバ、之ヲ廢棄セザルコトガ立法上ノ原則デアル、是ハ無視スペカラザル所ノ原則デアリマシテ、今申上ダル所ノ事情ガ存在スル限りハ、俄然トシテ是ヲ廢止スベカラザルハ當然ノ理合デアリマス、朝令暮改ハ立法府ニ於テ吾ミノ最モ忌ムベキコトデアル、若シ一タビ廢シテ、不幸ニモ、萬々已ムベカラザル場合ニ於テ、必要アル所ノ法規デアリマシテ、諸君、御承知ノ如ク昨年ノ八月下旬頃ニ於テハ、帝國ノ臣民が食糧問題ニ關シマシテ、如何ナル狀態ニ在リシカト云人心怖々、米穀ノ價格ト云フモノガ段々ト暴騰ヲ示シテ居トハ、是ハ萬已ムヲ得ザル策ニ出タルモノト思料セラレ、方リマシテ、穀物收用令ヲ布キマシテ萬一二備フルト云フコトヲ回顧スレバ、思半ニ過グルモノデアリマス、即チ當時ノアリマス、幸ニモ當時ハ勅令第九十二號ノ行政ノ運用ニ依リマシテ、僅ニ此法令ヲ適用スルコトガ出來ナカタノハ、吾ミ大ニ今日ニ於テ諸君ト共ニ祝福スル所デアリマス、現内閣ニ於キマシテモ此食糧問題——最モ我國民ニ直接ニシテ且ツ重大ナル所ノ食糧問題ニ關シマシテハ、深甚ナル所ノ注意ヲ拂ヒマシテ、茲ニ議題トナツテ居リマスル所ノ勅令三百七十三號ノ如キ、即チ外米ヲ圓滑ニ輸入スル所ノ法令ノ如キ、又大麥、小麥及小麦粉ニ關スル法令ノ如キ、外米ヲシテ圓滑ニ内地ニ輸入スル所ノ方法ヲ執ニ居ラレマス、現ニ昨年十一月十二日、並ニ本年正月ニ於ケル外米ノ輸入高ハ、臺灣朝鮮米ヲ除キマシテ、實ニ百七十四万八千石ノ多キニ上ツテ居ルノアリマス、近來稀ナル所ノ輸入アリマス、成程收用ニ應ジナイ所ノ者ニ對シテハ、法律デ相当ノ處分ガ出來マセウガ、此品物ニ就テ之ヲ取ルト云フコトハ非常ニ困難デアル、殊ニ收用ノ場合ニ於テ、商人ガ行シテ其所有者が拒ム場合デアダナラバ、必ス其附近ノ者モ是ニ同情シテ居ル、其場合ニ於テ商人ガ無理ニシレヲ引取ルト云フコトハ、事實ニ於テ迎モ出來ナイ、或ハ斯ウ云フ場合ニ於テ、警察權モ用半ナケレバナラスト云フヤウナ非常ナ困難が出來、場合ニ依テハ兵隊ヲ出サナケレバナラスト云フヤウナコトモ出來ハシマイカト思フ、マダ其外ニモ少々申上ゲル理由モアリマスカ、大體ニ於テ此法ガ不備デアルト云フコトハ、吾ミハ認メテ居ルノデアリマス、此三點ニ於テ吾ミハ此收用令ト云フモノハ存置スヘカラズ、又緊急勅令

高値ヲ示シテ居ル、又平和克復ノ曉ニ於キマシテハ、其經濟狀態ハ如何ナル波瀾怒濤ノ波及スルヤモ圖リ難キ今日デアル、此時此際ニ於テ姑ク此法ヲ存置シ、經濟狀態ノ推移ヲ見ルト云フコトハ、吾ミノ當然履ムベキ道ニアラウト思料スルノデアリマス、況ヤ諸君御承知ノ如ク、法案ノ一旦發セラレタル以上ハ、其發セシ所ノ原因ト云フモノガ全ク消滅スルニ非ズンバ、之ヲ廢棄セザルコトガ立法上ノ原則デアル、是ハ無視スペカラザル所ノ原則デアリマシテ、今申上ダル所ノ事情ガ存在スル限りハ、俄然トシテ是ヲ廢止スベカラザルハ當然ノ理合デアリマス、朝令暮改ハ立法府ニ於テ吾ミノ最モ忌ムベキコトデアル、若シ一タビ廢シテ、不幸ニモ、萬々已ムベカラザル場合ニ於テ、必要アル所ノ法規デアリマシテ、諸君、御承知ノ如ク昨年ノ八月下旬頃ニ於テハ、帝國ノ臣民が食糧問題ニ關シマシテ、如何ナル狀態ニ在リシカト云人心怖々、米穀ノ價格ト云フモノガ段々ト暴騰ヲ示シテ居トハ、是ハ萬已ムヲ得ザル策ニ出タルモノト思料セラレ、方リマシテ、穀物收用令ヲ布キマシテ萬一二備フルト云フコトヲ回顧スレバ、思半ニ過グルモノデアリマス、即チ當時ノアリマス、幸ニモ當時ハ勅令第九十二號ノ行政ノ運用ニ依リマシテ、僅ニ此法令ヲ適用スルコトガ出來ナカタノハ、吾ミ大ニ今日ニ於テ諸君ト共ニ祝福スル所デアリマス、現内閣ニ於キマシテモ此食糧問題——最モ我國民ニ直接ニシテ且ツ重大ナル所ノ食糧問題ニ關シマシテハ、深甚ナル所ノ注意ヲ拂ヒマシテ、茲ニ議題トナツテ居リマスル所ノ勅令三百七十三號ノ如キ、即チ外米ヲ圓滑ニ輸入スル所ノ法令ノ如キ、又大麥、小麥及小麦粉ニ關スル法令ノ如キ、外米ヲシテ圓滑ニ内地ニ輸入スル所ノ方法ヲ執ニ居ラレマス、現ニ昨年十一月十二日、並ニ本年正月ニ於ケル外米ノ輸入高ハ、臺灣朝鮮米ヲ除キマシテ、實ニ百七十四万八千石ノ多キニ上ツテ居ルノアリマス、近來稀ナル所ノ輸入アリマス、成程收用ニ應ジナイ所ノ者ニ對シテハ、法律デ相当ノ處分ガ出來マセウガ、此品物ニ就テ之ヲ取ルト云フコトハ非常ニ困難デアル、殊ニ收用ノ場合ニ於テ、商人ガ行シテ其所有者が拒ム場合デアダナラバ、必ス其附近ノ者モ是ニ同情シテ居ル、其場合ニ於テ商人ガ無理ニシレヲ引取ルト云フコトハ、事實ニ於テ迎モ出來ナイ、或ハ斯ウ云フ場合ニ於テ、警察權モ用半ナケレバナラスト云フヤウナ非常ナ困難が出來、場合ニ依テハ兵隊ヲ出サナケレバナラスト云フヤウナコトモ出來ハシマイカト思フ、マダ其外ニモ少々申上ゲル理由モアリマスカ、大體ニ於テ此法ガ不備デアルト云フコトハ、吾ミハ認メテ居ルノデアリマス、此三點ニ於テ吾ミハ此收用令ト云フモノハ存置スヘカラズ、又緊急勅令

威嚴ヲ持ツモノデアル、直チニ之ヲ適用スルカ適用セザルカ
ニ依テ、法ノ威嚴ニ何等關係ハ有タヌモノデアリマス、刑法
ノ如キ、罪ハ成ヘク犯シテ貴ヒタクナイガ、犯シタ場合ニハ仕
方ガナイカラ、此法律ヲ適用スルト云フコト、同一精神デア
ル、故ニ適用ガナイカラ、此法ノ效果ガナイト云フ議論ハ、法
律上カラハ何等採ルコトガ出來ヌ議論デアリマス、憲政會
諸君ノ第二ノ御論ニハ、更ニ此第一ノ論點ニ一步ヲ進メマ
シテ、適用カナイ許リデナク、之ヲ存置スルコトハ有害ニシテ
無益デアル、却テ害毒ヲ流スモノデアルト云フ御議論デアリ
マス、即チ此法令ノ存置スル以上ハ、一面ニ於テハ穀類ヲ
持ツテ居ル所ノ農民ヲ害シ、賣買ノ材料ヲ持ツテ居ル所ノ商
人ヲ害スルト云フ御議論デアリマス、而シテ其論據トスル所
ノモノハ何處ニアルカト云フト、主ニ適用上ニ關スルモノデ
アル、即チ收用ノ方法、收用ノ價格、收用ノ範圍斯ウ云フヤ
ウナ點ニ付テ詳細ニ御議論ヲ爲サイマシタ、併ナガラ是等ノ
御心配ハ、實ニ或點カラ言ハバ、御尤ナル御心配デアリマ
シテ、適用ノ如何ニ依リマシテハ、諸君ト私モ感ヲ同ジウスル者
デアリマス、若シ適用ガ一步ヲ誤マルナラバ、此收用令ハ有
害無益ナル法案ト相成ルコトハ、吾ニ諸君ト共ニ感ヲ同ジ
ウスル者デアリマス、ケレドモ此點ニ付テ憂慮ノ餘リ、當局
大臣ニ就テ詳細ナル辯明ヲ求メタノデアリマス、同僚山内
君ハ特ニ此點ニ付テ深甚ナル注意ヲ拂ハレタ、質問ヲ爲サレ
タノデアリマシテ、山本農商務大臣ハ此點ニ付テ、斯ウ云フ
聲明ヲセラレタノデアル、即チ買上げノ價格、買上ノ方法、及
ビ其順序ノ如キハ、周到ノ上ニモ周到ナル注意ヲ加へ、十分
ナル考慮ヲ要スルヲ以テ、決シテ昨年ノ告示第二百七十一
號ノヤウナ方法ニ依ラズシテ、十分ナル考慮ヲ致シテヤルト
云フコトヲ聲明セラレタノデアリマス、吾ニハ誠心誠意ナル
農商務大臣ノ聲明ニ對シテハ、敬意ヲ拂フ者デアル、信任
ヲ拂フ者デアル、現ニ歐羅巴各國ガ此戰亂ニ際シマシテ、又
米國モ此戰亂ニ際シマシテ、食糧品ノ收用ニ關シ、其收用
ノ方法範圍、價格等ニ付テ色ニ研究セラレタモノカアル、
其先例ニ鑑ミシテモ、農商務當局ニハ必ず確信アルモノ
ト自分ハ考ヘルノデアリマス、故ニ井原君ノ此點ニ關スル御
心配即チ如何ナル區域カラ徵收セラレバ、カ、如何ナル價格
ヲ以テ買ハレルカ、如何ナル方法ニ依テ買上げラレルカト云
フ御心配ハ、所謂雲散霧消ニナル次第デアリマス、是等ノ
意味カラシマシテ、吾ニハ此穀物收用令ニ對シマシテハ、承
諾ヲ與フベシトノ意見ヲ有スル者デアリマスガ、現内閣ノ食
糧ニ關スル政策ハ、著々其效ヲ奏シ、此穀物收用令ハ絶對
無限ニ、即チ未來永劫全ク適用ナカラシコトヲ、吾ニハ我ガ
國民七千万人ト共ニ希望スル次第デゴザイマス、終ニ至
ミマシテ憲政會諸君モ少シク襟度ヲ大ニセラレマシテ、經濟

界ニ十分安心ヲ與フベキ此法案ヲ保存セラレルコトヲ希望
ニ堪ヘマセヌ(拍手起ル)
○議長(大岡育造君) 横山勝太郎君

(横山勝太郎君登壇)
〔拍手起ル〕

○横山勝太郎君 問題ノ筋ハ委員長ニ依テ詳細ニ御報
告ニナリマシタ、私ハ成ベク簡単ニ少數意見ニ賛成ノ理由
ヲ申上ゲマス、此緊急勅令ノ事後承諾ニ付キマシテハ、多
年憲法上ノ爭議が解決セラレテ居ラヌノデアリマス、私ハ幸
ニ今回政友會諸賢ノ内閣ニ依テ、多年ノ争議ヲ決定セラ
レルコトヲ希望シ、且ツ決定セラル、モノト考ヘテ居リマシタ
ガ、遺憾ナガラ此點ニ於テ其解決ヲ見ルヲ得ザリシコトヲ甚
シテハ、此發令當時果シテ憲法第八條ノ條件ヲ充シテ居
タカドウカト云フ、此事情ノ認定ニ付テノ責任デアリマス、
所謂緊急勅令ヲ發布スルニ付テ、當時其條件ハ完全ニ充
セレタモノデアリマシタ、私ハ此責任上ノ問題ニ付テ、ドウ云フ
觀念ヲ現政府ハ有シテ居ラレルカ、此點ニ付テハ法制局長
官ヨリ詳細ニ御説明ガアリマシタガ、要スルニ現内閣ハ其
成立以前ノ憲法問題ニ付テ、溯及シテ責任ヲ負ハナイト
サレタモノデアリマシタ、此責任上ノ問題ニ付テ、ドウ云フ
云フコトヲアリマス、事固ヨリ一應當然ノ論結ト考ヘマス
然ラバ現内閣ニハ此緊急勅令ヲ發布スル當時ノ國務大臣
ノ一人タル海軍大臣ガ居ラレル、其海軍大臣ト現内閣ノ
諸公ハ、連帶責任ノ義ヲ取ラレル事ト考ヘマス、即チ緊急
勅令ヲ發布スル當時、責任ヲ有シ海軍大臣ガ現内閣ニ
存在スルナラバ、是ト連帶シテ責任ヲ負フノ觀念アリヤ否ヤ
ト云フコトヲ質問シマシタガ之ニ付テモ責任ヲ負ハナイ、斯
様ナ意味デアリマス、サウナリマスルト第四十議會ニ於テ問
題トナリマシタ如ク、緊急勅令ノ問題ニ付テ内閣が變遷ス
ル場合ニ於テ、何時デモ緊急勅令ヲ發布ニ付テハ、責任ヲ
負フ者が無イト云フコトニナルノデアリマス、如何ニ亂暴ナ
ル緊急勅令ヲ出シテモ、如何ニ不都合ナル非常命令ヲ出シ
テモ、其點ニ付テハ内閣が變遷スレバ毫モ責任者ハ無イ、ド
ンナ不都合ナ緊急勅令ヲ出シテモ宜イト云フ結論ニナルデ
テ、十六日夜遅ク發令セラレタルモノデアリマス、非常ニ是
ハ、必要ナル法令デアルト、斯ウ考ヘルノハ當リ前ノコトデア
リマス、而シテ越テ十八日、十九日、二十日頃ニ於テ、御承
知ノ如ク東京市並三神戸、大阪、京都ノ四大都市ニ於テ、
十六日ノ夜ニ發令セラレタモノデアリマス、同日ノ午後五
時頃ニ樞密院ニ諮詢セラレマシテ、樞密院ノ議ヲ經テ、恰
モ日光ニ御避暑ニ相成シテ居ラレタ至尊ノ御裁可ヲ得ラレ
テ、アリマス、御承知ノ如ク穀類收用令ナル緊急勅令ハ、八月
十六日ノ夜ニ發令セラレタルモノデアリマス、非常ニ是
ハ、必要ナル法令デアルト、斯ウ考ヘルノハ當リ前ノコトデア
リマス、而シテ越テ十八日、十九日、二十日頃ニ於テ、御承
知ノ如ク東京市並三神戸、大阪、京都ノ四大都市ニ於テ、
指定商人ナルモノガ現ハレテ參リマシタ、此指定商人ナルモ
ノハ、穀類收用令ニ依ル指定商人デアルト、吾ニハ斯ウ考
ヘテ居リマシタ、又新聞紙ノ或モノモ左様ニ傳ヘテ居ラ
デアリマス、神戸、大阪、京都ノ事ハ委シク知リマセヌガ、我
東京市ニ於ケル指定商人中村富三郎外七名ノ者ハ、御承
知ノ如ク二十五日カラ買付ニ著手シタ、其資金トシテハ約
三百万圓ノ金ヲ銀行カラ借入レテ、サウシテ北陸地方ニ此
買付ノ爲メニ行ナト云フ話デアリマス、其當時ニ於テ吾ニ
國民ハ十六日ノ夜ニ此穀類收用令ガ發布セラレテ、十一
九日、二十日頃、所謂指定商人ナルモノガ出來タノデアリ

マスカラシテ、新聞紙モ、國民モ共ニ穀類收用令ニ依ル指定商人ナルモノガ出來タノデアルトスウ思テ居タノデアリマス、故ニ米ノ原產地ニ於テハ非常ナル恐慌ヲ起シテ、愈、政府ハ正宗ノ銘刀ノ如キ恐シキ穀類收用令ヲ出シテ、而シテ指定商人ガ約三百万圓ノ金ヲ持テ米ヲ買ヒニ來ルト云フ事ア、吾人共ニ非常ナル恐怖ヲ感ジタノデアリマス、所ガ今回此收用令ヲ御提出ニナリマシテ、委員會ニ於テ此點ヲ詳細ニ質問ヲ致シ、又政府ノ答辯ヲ承ハッテ見ルト云フ、事ガナイ、ソレハ大正七年ノ勅令九十二號ニ依ル指定商デアルト、斯ウ云フ話ニアリマス、試ミニ大正七年勅令第十九十二號ハ如何ナルモノデアルカト云フコトヲ申上ゲテ見マスルト云フト、極メテ簡單ナモノニアリマスカラ、一讀ヲ致シマスガ、第一條ニ「農商務大臣ハ時局ニ依ル米價ノ變動ヲ調節スル爲左ノ事項ヲ爲スコトヲ得、一、外國米、朝鮮米又ハ臺灣米ノ輸入、移入、貿入又ハ賣渡ヲ爲スモノニ對シ補給ヲ爲スコト」此二箇條ヲ規定サヒテアル、即チ大正七年勅令第九十二號ナルモノハ「外國米、朝鮮米又ハ臺灣米」輸入スル規則ニアリ、此規則ハ大正七年四月二十五日ニ發布セラレテアル、然ルニ先列申上ダマシタ如ク、穀類收用令ナルモノハ八月十六日夜遲ク之ヲ發布スルト同時ニ、此大正七年勅令第九十二號ノ改正ヲ致シテ居ルノデアリマス、其改正ニ依リマスト云フト、八月十六日付デ先刻朗讀致シマシタ「外國米、朝鮮米又ハ臺灣米」トアリマス所ヨリ米雜穀」ト訂正シ、其第二項ノ「外國米、朝鮮米又ハ臺灣米」トアルノヲ矢張「米雜穀」ト訂正致シマシタ、即チ農商務大臣ハ緊急勅令が無クテモ、大正七年勅令第九十二號依テ、米雜穀ノ買入ハ出來ルト云フ一種ノ行政命令ヲ作ダ、而シテ一面ニ於テ恐ルベキ所謂正宗ノ銘刀ト稱セラル、穀類收用令ヲ發布シタノデアリマス、所ガ當時國民ハ先刻申上ダマシタヤウナ次第デ、此大正七年ノ勅令第九十二號ノ改正上云フモノハ、目ニモ耳ニモ入ラカタノデアリマス、日官報ニ目ヲ通シテ居ル國民ニハ、或ハ分ダカタノカモ知レマセヌガ、普通ノ國民ニハ是ハ分ラナカタノデアリマス、ソレハ其苦アリマス、十六日ノ午後五時頃ニ樞密院ニ諮詢セラレチ、而シテ其夜緊急勅令ガ出ルト云フノデアリマスカラ、其他ニ殆ド同一ナ内容ヲ有スル行政命令ガ出ルト云フコトヌガ普通ノ國民ニハ是ハ分ラナカタノデアリマス、ソレハ其苦アリマス、十六日ノ午後五時頃ニ樞密院ニ諮詢セラレチ、而シテ其夜緊急勅令ガ出ルト云フノデアリマスカラ、其日官報ニ目ヲ通シテ居ル國民ニハ、或ハ分ダカタノカモ知レマセヌガ、普通ノ國民ニハ是ハ分ラナカタノデアリマス、ソレハ其苦アリマス、十六日ノ午後五時頃ニ樞密院ニ諮詢セラレチ、而シテ其夜緊急勅令ガ出ルト云フノデアリマスカラ、其

居ダヘ政府ガ詐欺ヲヤッカ、國民ヲ欺罔シタクソレハ問題デアリマスケレドモ、國民ハ確ニ錯認ニ陥タノデアリマス、此故ニ今日ニナツテ之ヲ委シク質問致シマスルト云フト、穀類收用令ニ依ル指定商人デハナイ、勅令九十二號ニ依ル指定期間内に付シテ、外ダヘアリマセヌ、ソレデ此事項ニ付シテ然ラバドウ云フ方法ヲヤッタカト云フト、全ク政府ノヤリ方ハ矛盾千萬デアル、即チ指定商人ノ或者ニ就ア調査致シテ見マスルト、御承知ノ如ク政府ハ穀類收用令ニ基イテ、八月二十六日ノ官報ヲ以チマシテ「大正七年九月五日ヨリ九月二十日迄一石ニ付金三十三圓以内同年九月二十一日以後追テ改定スル迄一石ニ付金三十圓以内、大正七年九月四日迄ニ收用スル場合ノ補償金額ハ其ノ都度之ヲ定ム」斯ウ云フ一ツシマスガ、第一條ニ「農商務大臣ハ時局ニ依ル米價ノ變動ヲ調節スル爲左ノ事項ヲ爲スコトヲ得、一、外國米、朝鮮米又ハ臺灣米ノ輸入、移入、貿入又ハ賣渡ヲ爲スモノニ對シ補給ヲ爲スコト」此二箇條ヲ規定サヒテアル、即チ大正七年勅令第九十二號ナルモノハ「外國米、朝鮮米又ハ臺灣米」輸入スル規則ニアリ、此規則ハ大正七年四月二十五日ニ發布セラレテアル、然ルニ先列申上ダマシタ如ク、穀類收用令ナルモノハ八月十六日夜遲ク之ヲ發布スルト同時ニ、此大正七年勅令第九十二號ノ改正ヲ致シテ居ルノデアリマス、其改正ニ依リマスト云フト、八月十六日付デ先刻朗讀致シマシタ「外國米、朝鮮米又ハ臺灣米」トアリマス所ヨリ米雜穀」ト訂正シ、其第二項ノ「外國米、朝鮮米又ハ臺灣米」トアルノヲ矢張「米雜穀」ト訂正致シマシタ、即チ農商務大臣ハ緊急勅令が無クテモ、大正七年勅令第九十二號依テ、米雜穀ノ買入ハ出來ルト云フ一種ノ行政命令ヲ作ダ、而シテ一面ニ於テ恐ルベキ所謂正宗ノ銘刀ト稱セラル、穀類收用令ヲ發布シタノデアリマス、所ガ當時國民ハ先刻申上ダマシタヤウナ次第デ、此大正七年ノ勅令第九十二號ノ改正上云フモノハ、目ニモ耳ニモ入ラカタノデアリマス、日官報ニ目ヲ通シテ居ル國民ニハ、或ハ分ダカタノカモ知レマセヌガ普通ノ國民ニハ是ハ分ラナカタノデアリマス、ソレハ其苦アリマス、十六日ノ午後五時頃ニ樞密院ニ諮詢セラレチ、而シテ其夜緊急勅令ガ出ルト云フノデアリマスカラ、其他ニ殆ド同一ナ内容ヲ有スル行政命令ガ出ルト云フコトヌガ普通ノ國民ニハ是ハ分ラナカタノデアリマス、ソレハ其苦アリマス、十六日ノ午後五時頃ニ樞密院ニ諮詢セラレチ、而シテ其夜緊急勅令ガ出ルト云フノデアリマスカラ、其

居ダヘ政府ガ詐欺ヲヤッカ、國民ヲ欺罔シタクソレハ問題デアリマスケレドモ、國民ハ確ニ錯認ニ陥タノデアリマス、此故ニ今日ニナツテ之ヲ委シク質問致シマスルト云フト、穀類收用令ニ依ル指定商人デハナイ、勅令九十二號ニ依ル指定期間内に付シテ、外ダヘアリマセヌ、ソレデ此事項ニ付シテ然ラバドウ云フ方法ヲヤッタカト云フト、全ク政府ノヤリ方ハ矛盾千萬デアル、即チ指定商人ノ或者ニ就ア調査致シテ見マスルト、御承知ノ如ク政府ハ穀類收用令ニ基イテ、八月二十六日ノ官報ヲ以チマシテ「大正七年九月五日ヨリ九月二十日迄一石ニ付金三十三圓以内同年九月二十一日以後追テ改定スル迄一石ニ付金三十圓以内、大正七年九月四日迄ニ收用スル場合ノ補償金額ハ其ノ都度之ヲ定ム」斯ウ云フ一ツシマスガ、第一條ニ「農商務大臣ハ時局ニ依ル米價ノ變動ヲ調節スル爲左ノ事項ヲ爲スコトヲ得、一、外國米、朝鮮米又ハ臺灣米ノ輸入、移入、貿入又ハ賣渡ヲ爲スモノニ對シ補給ヲ爲スコト」此二箇條ヲ規定サヒテアル、即チ大正七年勅令第九十二號ナルモノハ「外國米、朝鮮米又ハ臺灣米」輸入スル規則ニアリ、此規則ハ大正七年四月二十五日ニ發布セラレテアル、然ルニ先列申上ダマシタ如ク、穀類收用令ナルモノハ八月十六日夜遲ク之ヲ發布スルト同時ニ、此大正七年勅令第九十二號ノ改正ヲ致シテ居ルノデアリマス、其改正ニ依リマスト云フト、八月十六日付デ先刻朗讀致シマシタ「外國米、朝鮮米又ハ臺灣米」トアリマス所ヨリ米雜穀」ト訂正シ、其第二項ノ「外國米、朝鮮米又ハ臺灣米」トアルノヲ矢張「米雜穀」ト訂正致シマシタ、即チ農商務大臣ハ緊急勅令が無クテモ、大正七年勅令第九十二號依テ、米雜穀ノ買入ハ出來ルト云フ一種ノ行政命令ヲ作ダ、而シテ一面ニ於テ恐ルベキ所謂正宗ノ銘刀ト稱セラル、穀類收用令ヲ發布シタノデアリマス、所ガ當時國民ハ先刻申上ダマシタヤウナ次第デ、此大正七年ノ勅令第九十二號ノ改正上云フモノハ、目ニモ耳ニモ入ラカタノデアリマス、日官報ニ目ヲ通シテ居ル國民ニハ、或ハ分ダカタノカモ知レマセヌガ普通ノ國民ニハ是ハ分ラナカタノデアリマス、ソレハ其苦アリマス、十六日ノ午後五時頃ニ樞密院ニ諮詢セラレチ、而シテ其夜緊急勅令ガ出ルト云フノデアリマスカラ、其他ニ殆ド同一ナ内容ヲ有スル行政命令ガ出ルト云フコトヌガ普通ノ國民ニハ是ハ分ラナカタノデアリマス、ソレハ其苦アリマス、十六日ノ午後五時頃ニ樞密院ニ諮詢セラレチ、而シテ其夜緊急勅令ガ出ルト云フノデアリマスカラ、其

副島農政課長ハ面白キ言葉ヲ本案ニ付テ使ヒマシタ、本案ハ即チ此穀類收用令ハ、背後ニ持テ居ル所ノ武器デアルトスウ言ハレタ、行政官ハ穀類收用令ナルモノヲ背後ニ定商人デアルト云フ話アル(問題外下呼フ者アリ)問題外デハアリマセヌ、ソレデ此事項ニ付シテ然ラバドウ云フ方法ヲヤッタカト云フト、全ク政府ノヤリ方ハ矛盾千萬デアル、即チ指定商人ノ或者ニ就ア調査致シテ見マスルト、御承知ノ如ク政府ハ穀類收用令ニ基イテ、八月二十六日ノ官報ヲ以チマシテ「大正七年九月五日ヨリ九月二十日迄一石ニ付金三十三圓以内同年九月二十一日以後追テ改定スル迄一石ニ付金三十圓以内、大正七年九月四日迄ニ收用スル場合ノ補償金額ハ其ノ都度之ヲ定ム」斯ウ云フ一ツシマスガ、第一條ニ「農商務大臣ハ時局ニ依ル米價ノ變動ヲ調節スル爲左ノ事項ヲ爲スコトヲ得、一、外國米、朝鮮米又ハ臺灣米ノ輸入、移入、貿入又ハ賣渡ヲ爲スモノニ對シ補給ヲ爲スコト」此二箇條ヲ規定サヒテアル、即チ大正七年勅令第九十二號ナルモノハ「外國米、朝鮮米又ハ臺灣米」輸入スル規則ニアリ、此規則ハ大正七年四月二十五日ニ發布セラレテアル、然ルニ先列申上ダマシタ如ク、穀類收用令ナルモノハ八月十六日夜遲ク之ヲ發布スルト同時ニ、此大正七年勅令第九十二號ノ改正ヲ致シテ居ルノデアリマス、其改正ニ依リマスト云フト、八月十六日付デ先刻朗讀致シマシタ「外國米、朝鮮米又ハ臺灣米」トアリマス所ヨリ米雜穀」ト訂正シ、其第二項ノ「外國米、朝鮮米又ハ臺灣米」トアルノヲ矢張「米雜穀」ト訂正致シマシタ、即チ農商務大臣ハ緊急勅令が無クテモ、大正七年勅令第九十二號依テ、米雜穀ノ買入ハ出來ルト云フ一種ノ行政命令ヲ作ダ、而シテ一面ニ於テ恐ルベキ所謂正宗ノ銘刀ト稱セラル、穀類收用令ヲ發布シタノデアリマス、所ガ當時國民ハ先刻申上ダマシタヤウナ次第デ、此大正七年ノ勅令第九十二號ノ改正上云フモノハ、目ニモ耳ニモ入ラカタノデアリマス、日官報ニ目ヲ通シテ居ル國民ニハ、或ハ分ダカタノカモ知レマセヌガ普通ノ國民ニハ是ハ分ラナカタノデアリマス、ソレハ其苦アリマス、十六日ノ午後五時頃ニ樞密院ニ諮詢セラレチ、而シテ其夜緊急勅令ガ出ルト云フノデアリマスカラ、其他ニ殆ド同一ナ内容ヲ有スル行政命令ガ出ルト云フコトヌガ普通ノ國民ニハ是ハ分ラナカタノデアリマス、ソレハ其苦アリマス、十六日ノ午後五時頃ニ樞密院ニ諮詢セラレチ、而シテ其夜緊急勅令ガ出ルト云フノデアリマスカラ、其

ダマスルヤウナ次第二依リマスル上云フト、全ク此緊急勅令ト云フモノハ、アレハ行政官ノ便利ハ便利デアリマセウ、而シテ又七年ノ九十二號ノ行政命令ハ遺憾ナク行ハレルノアリマセウ、行ハレルノデアリマセウガ、ソンナ贅澤ナ、ソントナ安ボイ目的ノ爲メニ、此緊急勅令ヲ濫用スルト云フ事柄ハ全ク憲法ノ濫用デアルト、私ハ深ク信ジマス、而シテ又此法令ヲ永續セシメルニ付テ如何ナル必要ガアルカト云フコトヲ、私ハ他ノ諸君ト共ニ最モ詳細ニ質問ヲ致シタノデアリマスルガ、是亦結局要領ヲ得マセヌガ、私ハ現内閣ニ於テハ全ク此穀類收用令ナル緊急勅令ハ、私ハ不必要デアルト云フ御考ヲ持テ居ラレルノデハナイカト考ヘル節ミガアリマス、其一ツノ根據ハ、大正七年ノ十一月十二日ニ政府國民經濟調査會ト云フモノガアルサウデアリマスガ、私ハ實際ハ知リマセヌ、其處ニ於テ原總理大臣ハ此穀類收用令ノ事項ニ付テ、斯ウ云云フ御演説ヲ爲サシテ居リマス、此際米穀ノ收用令其他ノ事項ヲ中止致シマシテ、成ベク自然ノ趨勢ニ立歸ラシメ、之ニ順應スル措置ヲ執リタト思フ、此内閣成立ノ當時ニ於テ、總理大臣ハ斯様ニ御演説ニナシテ居リマス、此演説ノ當否ハ私ハ批評スル限リデゴザイマセヌガ、少クトモ穀類收用令ニ對スル總理大臣ノ御意嚮ト云フモノハ、之ニ依シテ明瞭デアリマス、即チ穀類收用令其他ノモノハ、一時之ヲ中止シテ置イテ、即チ之ヲ使ハナイデ、成ベク自然ノ趨勢ニ委セタ方ガ宜イト思フ、斯ウ云云フ御意見デアリマス、又山本農商務大臣ハ、本年第一回ノ米作ノ豫想、是ハ大正七年九月二十日ノ調査デアリマス、之ニ依レバ五千八百九十八万一千五百十二石ノ米が出來ル、前年ノ實收高ニ比シテ約四百万石ノ增收豊作デアルカラシテ、近ク新穀出廻期ニ八ラントスルヲ以テ、此場合大體ニ於テ自然的配給ニ俟ツヲ得策ナリト考フ、斯ウ云フ御演説ヲナサシテ居リマス、尤モ其後ニ於テ多少水害等モアリマシテ、此豫想ハ當シテ居リマセヌケレドモ、大體ニ於テ此收用令ニ對スル農商務大臣ノ御意見ハ、總理大臣ト同様デアリマシテ、矢張自然的配給ニ俟ツ方ガ宜シト、斯ウ云フ考デアルト云フコトヲ宣言セラレテ居ル〔簡単〕ト呼フ者アリ、此十月二日ノ農商務省ノ宣言ト云フモノモ吾ハ穀類收用令ニ依ル米ノ買付アルト考ヘテ居リマシタガ、併シ委員會ニ於ケル應答ノ結果ニ依リマスルト云フモ、一時之ヲ打切ルト云フコトヲ宣言セラレテ居ル〔簡單〕矢張大正七年勅令第九十二條ニ依ル米ノ買付アルト云フコトデアル、何レニ致シテモ宜シ、此勅令九十二號ニ

依ル米ノ買付アルト云フコトヲ申上ダヌト云フ事、之ヲ全然廢メルト云フコトアリマスレバ、尙更穀類收用令ハ要ラナイノデアリマス、吾々ハ先刻申上ダマスル如ク、穀類收用令ハ收用令自體獨立自存コトヲ、私ハ他ノ諸君ト共ニ最モ詳細ニ質問ヲ致シタノデアリマスルガ、是亦結局要領ヲ得マセヌガ、私ハ現内閣ニ於テハ全ク此穀類收用令ナル緊急勅令ハ、私ハ不必要デアルト云フ御考ヲ持テ居ラレルノデハナイカト考ヘル節ミガアリマス、其一ツノ根據ハ、大正七年ノ十一月十二日ニ政府國民經濟調査會ト云フモノガアルサウデアリマスガ、私ハ實際ハ知リマセヌ、其處ニ於テ原總理大臣ハ此穀類收用令ノ事項ニ付テ、斯ウ云云フ御演説ヲ爲サシテ居リマス、此際米穀ノ收用令其他ノ事項ヲ中止致シマシテ、成ベク自然ノ趨勢ニ立歸ラシメ、之ニ順應スル措置ヲ執リタト思フ、此内閣成立ノ當時ニ於テ、總理大臣ハ斯様ニ御演説ニナシテ居リマス、此演説ノ當否ハ私ハ批評スル限リデゴザイマセヌガ、少クトモ穀類收用令ニ對スル總理大臣ノ御意嚮ト云フモノハ、之ニ依シテ明瞭デアリマス、即チ穀類收用令其他ノモノハ、一時之ヲ中止シテ置イテ、即チ之ヲ使ハナイデ、成ベク自然ノ趨勢ニ委セタ方ガ宜イト思フ、斯ウ云云フ御意見デアリマス、又山本農商務大臣ハ、本年第一回ノ米作ノ豫想、是ハ大正七年九月二十日ノ調査デアリマス、之ニ依レバ五千八百九十八万一千五百十二石ノ米が出來ル、前年ノ實收高ニ比シテ約四百万石ノ增收豊作デアルカラシテ、近ク新穀出廻期ニ八ラントスルヲ以テ、此場合大體ニ於テ自然的配給ニ俟ツヲ得策ナリト考フ、斯ウ云フ御演説ヲナサシテ居リマス、尤モ其後ニ於テ多少水害等モアリマシテ、此豫想ハ當シテ居リマセヌケレドモ、大體ニ於テ此收用令ニ對スル農商務大臣ノ御意見ハ、總理大臣ト同様デアリマシテ、矢張自然的配給ニ俟ツ方ガ宜シト、斯ウ云フ考デアルト云フコトヲ宣言セラレテ居ル〔簡単〕ト呼フ者アリ、此十月二日ノ農商務省ノ宣言ト云フモノモ吾ハ穀類收用令ニ依ル米ノ買付アルト考ヘテ居リマシタガ、併シ委員會ニ於ケル應答ノ結果ニ依リマスルト云フモ、一時之ヲ打切ルト云フコトヲ宣言セラレテ居ル〔簡單〕矢張大正七年勅令第九十二條ニ依ル米ノ買付アルト云フコトデアル、何レニ致シテモ宜シ、此勅令九十二號ニ

依ル米ノ買付アルト云フコトヲ申上ダヌト云フ事、之ヲ全然廢メルト云フコトアリマスレバ、尙更穀類收用令ハ要ラナイノデアリマス、吾々ハ先刻申上ダマスル如ク、穀類收用令ハ收用令自體獨立自存コトヲ、私ハ他ノ諸君ト共ニ最モ詳細ニ質問ヲ致シタノデアリマスルガ、是亦結局要領ヲ得マセヌガ、私ハ現内閣ニ於テハ全ク此穀類收用令ナル緊急勅令ハ、私ハ不必要デアルト云フ御考ヲ持テ居ラレルノデハナイカト考ヘル節ミガアリマス、其一ツノ根據ハ、大正七年ノ十一月十二日ニ政府國民經濟調査會ト云フモノガアルサウデアリマスガ、私ハ實際ハ知リマセヌ、其處ニ於テ原總理大臣ハ此穀類收用令ノ事項ニ付テ、斯ウ云云フ御演説ヲ爲サシテ居リマス、此際米穀ノ收用令其他ノ事項ヲ中止致シマシテ、成ベク自然ノ趨勢ニ立歸ラシメ、之ニ順應スル措置ヲ執リタト思フ、此内閣成立ノ當時ニ於テ、總理大臣ハ斯様ニ御演説ニナシテ居リマス、此演説ノ當否ハ私ハ批評スル限リデゴザイマセヌガ、少クトモ穀類收用令ニ對スル總理大臣ノ御意嚮ト云フモノハ、之ニ依シテ明瞭デアリマス、即チ穀類收用令其他ノモノハ、一時之ヲ中止シテ置イテ、即チ之ヲ使ハナイデ、成ベク自然ノ趨勢ニ委セタ方ガ宜イト思フ、斯ウ云云フ御意見デアリマス、又山本農商務大臣ハ、本年第一回ノ米作ノ豫想、是ハ大正七年九月二十日ノ調査デアリマス、之ニ依レバ五千八百九十八万一千五百十二石ノ米が出來ル、前年ノ實收高ニ比シテ約四百万石ノ增收豊作デアルカラシテ、近ク新穀出廻期ニ八ラントスルヲ以テ、此場合大體ニ於テ自然的配給ニ俟ツヲ得策ナリト考フ、斯ウ云フ御演説ヲナサシテ居リマス、尤モ其後ニ於テ多少水害等モアリマシテ、此豫想ハ當シテ居リマセヌケレドモ、大體ニ於テ此收用令ニ對スル農商務大臣ノ御意見ハ、總理大臣ト同様デアリマシテ、矢張自然的配給ニ俟ツ方ガ宜シト、斯ウ云フ考デアルト云フコトヲ宣言セラレテ居ル〔簡単〕ト呼フ者アリ、此十月二日ノ農商務省ノ宣言ト云フモノモ吾ハ穀類收用令ニ依ル米ノ買付アルト考ヘテ居リマシタガ、併シ委員會ニ於ケル應答ノ結果ニ依リマスルト云フモ、一時之ヲ打切ルト云フコトヲ宣言セラレテ居ル〔簡單〕矢張大正七年勅令第九十二條ニ依ル米ノ買付アルト云フコトデアル、何レニ致シテモ宜シ、此勅令九十二號ニ

依ル米ノ買付アルト云フコトヲ申上ダヌト云フ事、之ヲ全然廢メルト云フコトアリマスレバ、尙更穀類收用令ハ要ラナイノデアリマス、吾々ハ先刻申上ダマスル如ク、穀類收用令ハ收用令自體獨立自存コトヲ、私ハ他ノ諸君ト共ニ最モ詳細ニ質問ヲ致シタノデアリマスルガ、是亦結局要領ヲ得マセヌガ、私ハ現内閣ニ於テハ全ク此穀類收用令ナル緊急勅令ハ、私ハ不必要デアルト云フ御考ヲ持テ居ラレルノデハナイカト考ヘル節ミガアリマス、其一ツノ根據ハ、大正七年ノ十一月十二日ニ政府國民經濟調査會ト云フモノガアルサウデアリマスガ、私ハ實際ハ知リマセヌ、其處ニ於テ原總理大臣ハ此穀類收用令ノ事項ニ付テ、斯ウ云云フ御演説ヲ爲サシテ居リマス、此際米穀ノ收用令其他ノ事項ヲ中止致シマシテ、成ベク自然ノ趨勢ニ立歸ラシメ、之ニ順應スル措置ヲ執リタト思フ、此内閣成立ノ當時ニ於テ、總理大臣ハ斯様ニ御演説ニナシテ居リマス、此演説ノ當否ハ私ハ批評スル限リデゴザイマセヌガ、少クトモ穀類收用令ニ對スル總理大臣ノ御意嚮ト云フモノハ、之ニ依シテ明瞭デアリマス、即チ穀類收用令其他ノモノハ、一時之ヲ中止シテ置イテ、即チ之ヲ使ハナイデ、成ベク自然ノ趨勢ニ委セタ方ガ宜イト思フ、斯ウ云云フ御意見デアリマス、又山本農商務大臣ハ、本年第一回ノ米作ノ豫想、是ハ大正七年九月二十日ノ調査デアリマス、之ニ依レバ五千八百九十八万一千五百十二石ノ米が出來ル、前年ノ實收高ニ比シテ約四百万石ノ增收豊作デアルカラシテ、近ク新穀出廻期ニ八ラントスルヲ以テ、此場合大體ニ於テ自然的配給ニ俟ツヲ得策ナリト考フ、斯ウ云フ御演説ヲナサシテ居リマス、尤モ其後ニ於テ多少水害等モアリマシテ、此豫想ハ當シテ居リマセヌケレドモ、大體ニ於テ此收用令ニ對スル農商務大臣ノ御意見ハ、總理大臣ト同様デアリマシテ、矢張自然的配給ニ俟ツ方ガ宜シト、斯ウ云フ考デアルト云フコトヲ宣言セラレテ居ル〔簡単〕ト呼フ者アリ、此十月二日ノ農商務省ノ宣言ト云フモノモ吾ハ穀類收用令ニ依ル米ノ買付アルト考ヘテ居リマシタガ、併シ委員會ニ於ケル應答ノ結果ニ依リマスルト云フモ、一時之ヲ打切ルト云フコトヲ宣言セラレテ居ル〔簡單〕矢張大正七年勅令第九十二條ニ依ル米ノ買付アルト云フコトデアル、何レニ致シテモ宜シ、此勅令九十二號ニ

治始テ以來、數十件ノ緊急勅令ガアリマスガ、未だ會テ本穀類收用令ノ如ク、發布以來半箇年ニ及シテ未ダ會テ一回モ之ヲ使用スルコトガ出來ナカタ、使用スルコトヲシナカタト云フヤウナ緩慢極マル緊急勅令ナルモノハ、未ダ一ツモナイト私ハ思ヒマス、而モ是ハ現政府ノコトデハナイ、前政府ノコトデアリマスガ、八月十六日ト云フ極メテ暑イ、所謂盛夏ノ交デアル、其時分ニ樞密顧問官ヲ集メテ、午後ノ五時カラ協議ヲシテ、サウシテ夜遅ク陛下ニ奉上シテ、サウシテ此緊急勅令ヲ出スト云フ非常ナ場合デアッタニ拘ラス、之ヲ半年モ——恐ラク未來永劫之ヲ使ハナイノデアラウト考ヘマス、斯ノ如キモノヲ存續セシムルト云フ前内閣ノ責任ハ勿論デアリマスガ、現内閣ニ於テ之ヲ辯護シ、之ヲ繼續セシメラル、意思ト云フモノハ、吾ニハ理解スルコトガ出来ヌノデアリマス、要スルニ私ハ少數意見ニ基キマシテ、其存續セシムルノ必要ナキコトヲ一言シタノデアリマスガ、之ニ付テ最後ニ一言タケ此緊急勅令ノ價值ニ就テ、事實ヲ以テ申上ダテ置キマス(「謹聽」ト呼フ者アリ)深川ニ於ケル正米相場ノ變動デアリマス、中米ノ三等トスウシテアリマス、之ニ付テ申上ダテマスガ、收用令ニ依ニヤシタカ、此九十二號ニ依ニテ米ヲ買收シタカ、ソレハ存ジマセヌガ、兎ニ角農商務省ガ米ノ賣出ヲヤリマシタ、指定商人ニ依ニテ買付ケラレタル米ノ賣付ヲヤリマシタ、其初メノ九月ノ十六日か三十一圓二十五錢、ソレカラ十七日ガ三十圓八十六錢、十八日ハ相場ガアリマセヌ、十九日ガ三十六圓九十錢、二十日ガ三十七圓六十錢、二十一日ガ三十八圓六十錢、ソレカラ二十三日三十九圓六十錢、二十五日ガ四十三圓十錢、二十六日ガ四十三圓八十錢、三十日ガ四十三圓五十錢(「何ニモナラヌ」ト呼フ者アリ)十月一日四十三圓五十錢、ソレカラ十月二十一日ニハ詰マリ政府ガ既ニ買付米ヲヤラナイト云フコトヲ宣告セラレタルコトハ、前申上ダタ通りアリマス、即チ斯ノ如クニシテ九月ノ十六日カラ十月一日マデ、原内閣ガ此收用米ノ買付ヲシナイト云フコトヲ宣言スルマデ、約半箇月間ニ米ノ相場ト云フモノハ、三十一圓カラ四十三圓五十錢マデノ騰貴ヲシテ居ルト云フ事實デアル、若シ眞ニ米穀收用令ノ適用ガアリシトスルナラバ、何故ニ之ヲ御適用ニナラヌカ、三十三圓以下若クハ三十三圓トカ云フ範圍デ米ヲ買付テモ、深川ノ正米相場ハ今申上ダル通り時々刻々米ノ直段ガ上ダテ居ルニ拘ラズ、毫モ米穀收用令ノ適用ヲシナ、穀類收用令ノ緊急勅令ナルモノガ、現内閣御説明ノ加ク間髪ヲ容レザル場合デアルトカ、或ハ背後ニ隠サレテアル所ノ武器デアルトカ、反射的ノ効力ガアルトカ(重複シテハイケナイ)ト呼フ者アリ)色ニナ事ヲ御説明ニナルケレドモ、論ヨリ證據デアル、事實ハ九月ノ十六

日ニ即チ收用米ノ賣出シテアル後ニ於テ、半箇月間ニ於テ、一ツモ米ハ下ダテ居ラヌ、反射的ノ效力モナケレバ正宗ノ名刀タル效力モナイ、若シモ真ニ此穀類收用令ナルモノハ、効力ガ、政府委員ノ説明ノ如ク正宗ノ名刀タル價值ノアルモノナラバ、何故十月一日、十月二日ノ交ニ於テ之ヲ使用セズシテ、否ナ寧ロ反對ニ此米ノ收用ヲヤメルト云フヤウナ事ヲ天下ニ宣言スルノデアルカ、全ク前内閣ノ遣方モ無論解リマセヌガ、現政府ノ御遣リニナル事モ私ハ分ラスト思ヒマス、要スルニ米ノ收用令ト、大正七年勅令第九十二號トノ關係ハ、冒頭ニ一言致シマシタ如ク、恐ラク政府ニ於テ國民ヲ欺罔スルト云フヤウナ特殊ノ惡意ノ無カダコトハ勿論デアリマスガ、併ナダラ其結果ニ就テ見レバ、國民ハ確ニ驚安ク買ハナケレバナラスト云フ道理ハナイト思フ、堂々ト法律ヲ適用シタラ宜シイ、其法律ヲ適用セズシテ、懷ニ納メラレタル武器デアルトカ、背後ニ隠レタル武器デアルトカ、或ハ威嚇シ、米ノ所有者米ノ占有者ヲ威嚇シテマデ、此米ヲ反射ノ效力カアルトカ云フコトヲ「同ジ事ヲ何遍モ言ハヌヤウニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)明言シテ、此法律ヲ適用シナカタト云フコトハ、全ク此米ノ收用令ト云フモノハ、暗黒的ニ出來テ、暗黒的ニ葬ラレ去タ法律デアルト私ハ考ヘマス、發布シタ時分ノ事柄ハ、前政府ノ仕事デアリマスカラ深ク論ジマセヌケレドモ、苟モ公明正大ナル憲法政治ヲヤルト云フ現内閣ニ諸公ガ、斯ノ如キ暗黒立法ヲ何故辯護スルノデアルカ、恐ラク貴族院ニ於テ其前大臣ニ威嚇セラレテ、已ムナク正宗ノ名刀デアルト云フヤウナコトヲ發言セラレタモノデアリマスカラ、仕方ナシニ私ハ斯ウ云フ案ガ出タト思ヒマヌ(「冗談ヲ言フナ」ト呼フ者アリ)要スルニ暗黒立法廢スベシ、暗黒行政廢スベシ、是ガ原内閣、即チ政友會内閣ノ私ハ標榜スル所デアッテ、國民ハ深ク其點ニ期待シテ居ルノデアリマス、何ヲ苦シデカス様ナ暗黒立法ヲ辯護シ、斯ノ如キ暗黒立法ヲ保存スルノデアリマスカ、全ク現内閣ノ標榜ニ反スルノ甚ダシキモノデアルト確信致シマス、此故ニ先刻井原君ノ述ベラレマシタ少數意見ニハ、絶對ニ賛成スル者デアリマス(拍手起ル)

○議長(大岡有造君) 森本是一郎君
〔森本是一郎君登壇〕

○政府委員(横田千之助君) 横山君ヨリ法制局ノ意見居ル意見ト異ダル感想ヲ議會ニ與ヘテハ相濟ミマセヌカラニ付キマシテ、種々辯論ノ材料ニ供セラレマシタ、或ハ横山君ノ御言葉ニ依リマシテ、法制局ガ本案ノ提出ニ付テノ憲法上ノ解釋、及ビ本案運用ニ付テノ用意ニ付テ、抱懐シテニ付キマシテ、一言其點ヲ辯明致シテ置キマス、横山君ハ此内閣ニ付キマシテ、成ベク其地方ノ時價ニ依ニテ、其公定ノ相場、斯ウ云フ事ハ矢張農民ノ生産能率ヲ壓迫スル上ニ於テ非常ナル害ノアルモノト私ハ思ヒマスカラ、此相場ト云フ事ニ付キマシテハ、成ベク其地方ノ時價ニ依ニテ、斯ルト云フコトガ當然デアリ、且シ極メテ農民ノ生産ヲ保護スル上ニ於テノ適當ナル施設ダト思ヒマスカラ、唯、是ダケノ事ヲ申上ダゲテ、此案ニ賛成スル意思ヲ表シマス、ソレ故ニ多ク言フ必要ハナイ、最早其議論ノ餘地ハ無イモノト思フ、ソレダカラ自分ハ此收用令ニ承諾ヲ與ヘルト云フノデアリマス、唯、此場合ニ於テ之ニ就テ一言政府當局ニ私ハ希望トシテ申上ダタトイト存ジマス、此補償金、或ハ其公定ノ相場、斯ウ云フ事ハ矢張農民ノ生産能率ヲ壓迫スル上ニ於テ非常ナル害ノアルモノト私ハ思ヒマスカラ、此相場ト云フ事ニ付キマシテハ、成ベク其地方ノ時價ニ依ニテ、斯ルト云フコトガ當然デアリ、且シ極メテ農民ノ生産ヲ保護スル上ニ於テノ適當ナル施設ダト思ヒマスカラ、此君ノ御言葉ニ依リマシテ、法制局ガ本案ノ提出ニ付テノ憲法第八條ノ要求スル所ノ條件ニ適合シテ居ルヤ否ヤ、及テ、政府トシテハ社會政策上、又國家ノ維持上ニ於テ、此

ビ將來ニ對シテ效力ヲ保有セシムルノ必要、此二ツノ點ニ付テ議會ノ審議表決ヲ求メルモノナリト明言シタ内閣ハ於ケル所ノ刑事的制裁ニミノデアリマス、現ニ四十議會ニ於テ——寺内内閣ニ於テ船舶管理令ノ事後承諾ヲ求メル場合ニ、花井博士ニ嚴密ナル質問ニ對シテスラ、田邊信大臣ハ憲法第八條ノ提出ノ場合ニ於ケル所ノ此要求ニ適合シタルヲ以テト云フ點ヲ、審議ヲ求メルコトノ明言ハ避ケタノアリマス、私ハ法制局長官トシテ、委員會ニ於テ再度マニ横山君ニ對シテ此意味ヲ明言シ、從來ノ内閣ノ執ツテ居ル解釋ヨリモ、議會ノ審議表決ノ權利ヲ尊重スル意味ヲ明白ニシタ積リアリマス、而シテ又屢々發令當時ノ責任ト云フモノハ前内閣ノ行為デアルガ、現内閣之ヲ負フカ、斯ウ云フ御質問ニ對シテ否ト私ハ答ヘマシタ、何トラバ國務大臣ノ責任ハ言フマデモナク輔弼ノ責任アリマス、發令ノ當時輔弼ノ衝ニ立タザル者ガ責任ノ負ヒヤウガ無イナアリマス(拍手起ル)此意味ニ於テ明確ニ私ハ否ト答ヘマス、然ラバ海軍大臣ガ——其當時ノ國務大臣タル海軍大臣ガ在任シテ居ル、此海軍大臣ト椅子ヲ列ネテ居ル現在ノ國務大臣ノ責任如何ト云フ御質問ガアシダ之ニ對シテ私ハ斯ウ考ヘテ居ル、海軍大臣ハ寺内内閣ノ國務大臣トシテ確ニ責任ヲ負ハナケレバナラヌ、若シモ此穀類收用令ノ發令ガ非立憲ノ極デアリ、政治的罪惡ナリト論定サレタラバ、無論責任ヲ負フベキモノニアル、併ナガラ此海軍大臣ト偶々原内閣ノ下ニ席ヲ同ジウシテ居ルカラト云フテ元來其場合ニ於テ輔弼ノ責任ヲ負ハナカッタ者ガ、溯及シテ負フベキコトハナイト、斯ウ云フ意味ヲ私ハ答辯シタ積リアリマス、而シテ又横山君ハ果シテ然ラバ、不法ナル發令ヲシ、憲法第八條ヲ濫用シタ内閣ト云フモノハ常ニ辭職ヲ以テ責任ヲ免カル、コトニナルデハナイカ、然ラバ憲法ノ條章ト云フモノハ空文ニ歸シハシナイカ、斯ウ云フヤウナ御質問ガアシナアリマス之ニ對シテ私ハ斯ウ答辯シタノアル、元來憲法其他ノ法律ニセヨ、憲法以下ノ法律ニセヨ、單リ此條章ノ規定ノミニ依テ效果ヲ奏スルモノナハナイ、要スルニ憲法ノ規定ハ、政治的良心ノ向上、其活力ノ増進、是等ノモント相待シテ憲法政治ノ運用ヲ全ウスルモノナアル、ソレ故ニ假リニ内閣ガ辭職ヲシテ責任ヲ遁レタシテモ、在職中ノ行爲ガ眞ニ許スベカラザル政治家ノ大罪惡アツタラバ、政治上ノ別個ノ制裁ノ爲メニ、其政治家ハ遂ニ勢力ヲ失墜スルト云フコトニラナケレバナラヌ、此意味ニ於テ帝國憲法ノ此點ニ對シテ、私ハ横山君ノ御質問ニ對シテ缺點ナキモノ思フ、斯ウ云フ點ヲ答ヘタ積リアリマス、左様アリマスカラ、先づ此點ヲ明白ニ致シテ置キマス、而シテ又法制局ノ馬場政府委員ガ、横山君ノ御説ニ依ルト、單リ此穀

類收用令ノ運用、唯背後ニ於ケル所ノ刑事的制裁ニミノ付キヲ置イテ、眞ニ穀類收用令ノ本來ノ目的トスル所ノ收用ニ付テ、何等ノ用意が無イト云フガ如キ御説ガアリマシタケレドモ、馬場政府委員ハ左様ニハ答ヘテ居リマセヌ、行政執行法トハ明言ヲ致シマセヌガ、他ノ法律ニ於テ、斯ノ如キ場合ハ十分ニ第三者ヲシテ代々之ヲ收用セシムコトガ出來ル、強制的ニ處分ガ出來ル、實際ニ穀倉ニ手ヲ入レテ之ヲ強徵スルコトガ出來ルト云フコトヲ明言致シタノデアリマス、他ノ法律ト云フノハ言フマデモナク、最セ法規ニ精通セラリ、横山君、御承知ノ通り、行政執行法第五條以下ノ規定デアリマスカラ、此點ダケシテ辯解シテ置キマス○議長(大岡育造君) 計議ノ發言通告ハ總テ終リマシタ、討論ハ終結ニシテ居リマス、此場合穀類收用令ニ承諾ヲ與フルヤ否ヤノ決ヲ採リマス、少數意見ハ與フベシト決スレバ自然ニ決スル譯ニナリマス、穀類收用令ニ承諾ヲ與フベシトル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數
○議長(大岡育造君) 多數、承諾ヲ與フルコトニ決シマシタ、仍テ他ノ三案ニ付テ決ヲ採リマス、尙ホ大正七年勅令第三百七十三號、是ハ別ニ討論モアリマセヌガ、承諾ヲ與フベシト云フ諸君ノ起立ヲ希望シマス
起立者 多數
○議長(大岡育造君) 大多數、承諾ヲ與フルニ決シマシタ、大麥小麥及小麥粉ノ輸入稅減免ニ關スル法律案ハ如何ズカ
○岩崎勤君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告ノ通リ可決確定セラレント望ミマス
○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌ
カ

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 然ラバ本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ可決確定シタルコトヲ宣言致シマス——次ハ大正七年法律第三十七號中改正法律案
○岩崎勤君 本案も亦讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告ノ通リ可決確定セラレント望ミマス
○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌ
カ

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ本案も讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定シタルコトヲ宣告致シマスカラ、岩崎勤君ノ動議ニ御異議アリマセヌ
カ

頁	段	行	誤	正	頁	段	行	誤	正
一六三	上	二七	政府ノ在ル	政府ノ意ノ在ル	一六二	上	二七	政府ノ在ル	政府ノ意ノ在ル
一七三	中	三三	憾	惑	一七三	中	三三	憾	惑
一四九	上	二一	箇題		一四九	上	二一	箇題	
衆議院議事速記録第十二號正誤	衆議院議事速記録第十三號正誤	衆議院議事速記録第十四號正誤							
一四〇	上	四一	アリヤセヌカ	アリヤセヌカ	一四〇	上	四一	アリヤセヌカ	アリヤセヌカ
一四一	上	三四	指命		一四一	上	三四	指命	
一四九	上	二二	箇題		一四九	上	二二	箇題	
ス					ス				
○岩崎勤君 日程第七以下ニ對シテハ、延會ノ動議ヲ提	出致シマス								

〔贊成ト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 延會ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ 曰程ノ第七以下ハ延會ニ決シマシタ、本日ハ是ニテ散會
午後四時三十五分散會